

ひとり親家庭等実態調査 報告書

平成31年3月
神戸市

目 次

I . 調査の概要	1
II . 調査結果	3
1. 世帯の状況	3
(1) 居住区	3
(2) 母・父の年齢	4
(3) 母・父の最終学歴	5
(4) 母・父の健康保険加入状況	7
(5) 母・父の年金加入状況	8
(6) ひとり親家庭になった理由	9
(7) ひとり親家庭になってからの年数	10
(8) ひとり親家庭になった当時の困りごと	11
(9) 子どもの状況	12
(10) 子ども以外の同居家族	13
2. 仕事について	14
(1) 現在の仕事の有無	14
(2) 現在の仕事の継続状況	15
(3) ひとり親家庭になる前の就業形態	16
(4) 現在の就業形態	17
(5) 現在の仕事の内容（職種）	20
(6) 勤続年数	21
(7) 求職方法	22
(8) 年間収入	23
(9) 勤務状況	26
(10) 通勤費の支給状況	31
(11) ひとり親家庭になってからの転職回数	32
(12) 転職の希望	32
(13) 資格・技術の習得状況	34
(14) 就業していない理由	38
(15) 仕事を探す上で重視する条件	39
3. 生活について	40
(1) 生活の満足度	40
(2) 生活上の不安や悩み	43

(3) 生活費をまかなう収入源	44
(4) 1 ヶ月に必要な生活費	45
(5) 住宅の状況	46
(6) 転居希望	47
(7) 援助の依頼先	50
(8) 困りごとの相談先	51
(9) 不在時に子どもをみてくれる人・場所	52
4. 子どもについて	53
(1) 子どもに関する悩み	53
(2) 子どもの進学に関する希望	56
(3) 子どもの朝食の摂取状況	58
(4) 子どもの放課後や長期休業中の過ごし方	60
(5) 子どもの塾や習い事の状況	62
(6) 子どもの成績	64
(7) 子どもの学費・教育費の状況	65
(8) 子どもの通学時の公共交通機関の利用状況	67
5. 施策について	68
(1) 施策の認知・利用状況	68
(2) 施策に関する情報の入手方法	74
(3) 施策に関する要望	76
(4) 民間の支援団体の認知状況	78
(5) ひとり親家庭の交流の場への参加希望	78
(6) 福祉乗車証の利用状況	79
6. 養育費の状況	81
(1) 養育費の取り決め状況	81
(2) 養育費の受け取り状況	83
(3) 養育費の月額	83
7. 面会交流の状況	84
(1) 面会交流の取り決め状況	84
(2) 面会交流の実施状況	86
資料編	89
調査票見本（母子世帯）	89
調査票見本（父子世帯）	97
調査票見本（寡婦）	105

I . 調査の概要

1 調査目的

本調査は、神戸市におけるひとり親家庭等の生活実態や生活上の悩みを把握し、今後の子育てや就業などに関する自立支援施策を策定、推進するための基礎資料とすることを目的とする。

2 実施要領

(1) 調査対象

配偶者のない女親または男親と20歳未満の子どもを含む世帯又は、かつて母子世帯の母として20歳未満の子どもを扶養していた世帯

(2) 調査方法

住民基本台帳より無作為抽出した世帯及び母子福祉団体会員に対し、郵送送付・郵送回収

(3) 調査期間

平成30年8月13日（月）～平成30年10月31日（水）

(4) 調査票の回収状況

※（ ）内は送付数に占める割合

	送付数	回収数	該当票数
母子世帯	6,919 件	2,552 件 (36.9%)	2,105 件 (30.4%)
父子世帯	1,000 件	369 件 (36.9%)	310 件 (31.0%)
寡婦	577 件	146 件 (25.3%)	146 件 (25.3%)
合計（全体）	8,496 件	3,067 件 (36.1%)	2,561 件 (30.1%)

【参考】前回調査時回収状況（平成25年度）

	送付数	回収数	該当票数
母子世帯	4,318 件	1,755 件 (40.6%)	1,476 件 (34.2%)
父子世帯	1,030 件	373 件 (36.2%)	312 件 (30.3%)
寡婦	611 件	177 件 (29.0%)	173 件 (28.3%)
合計（全体）	5,959 件	2,305 件 (38.7%)	1,961 件 (32.9%)

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。
- ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 5 LA% (5 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを5つ以内で選択する場合
 - ・ 3 LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ 2 LA% (2 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
- 上記以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問である。
- (5) 集計の際、世帯内の子ども一人ひとりについての回答の計を母数（n数）としている設問があり、この場合、表中の“調査数”を“調査数 [延べ]”と表記している。

II. 調查結果

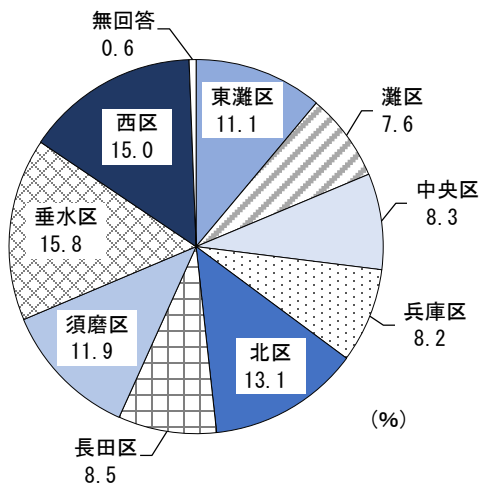
1. 世帯の状況

(1) 居住区

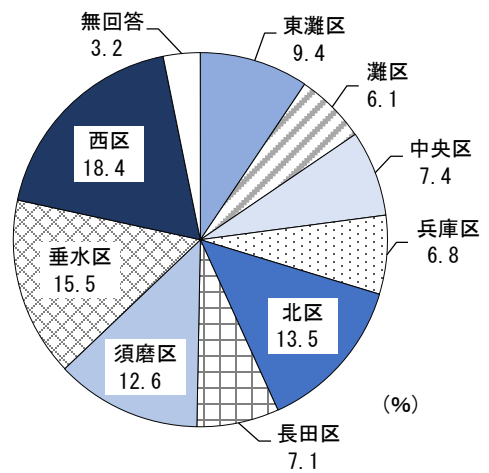
居住区は、母子世帯では「垂水区」が15.8%、父子世帯では「西区」が18.4%、寡婦では「灘区」が37.7%と、それぞれ最も高くなっている。

※母子・父子世帯の住民基本台帳からの抽出にあたっては、平成27年国勢調査における世帯数の区別割合を参考とした。

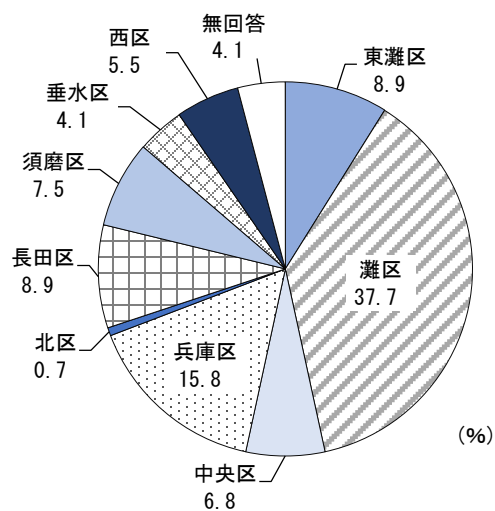
母子世帯 (n=2,105)



父子世帯 (n=310)



寡婦 (n=146)



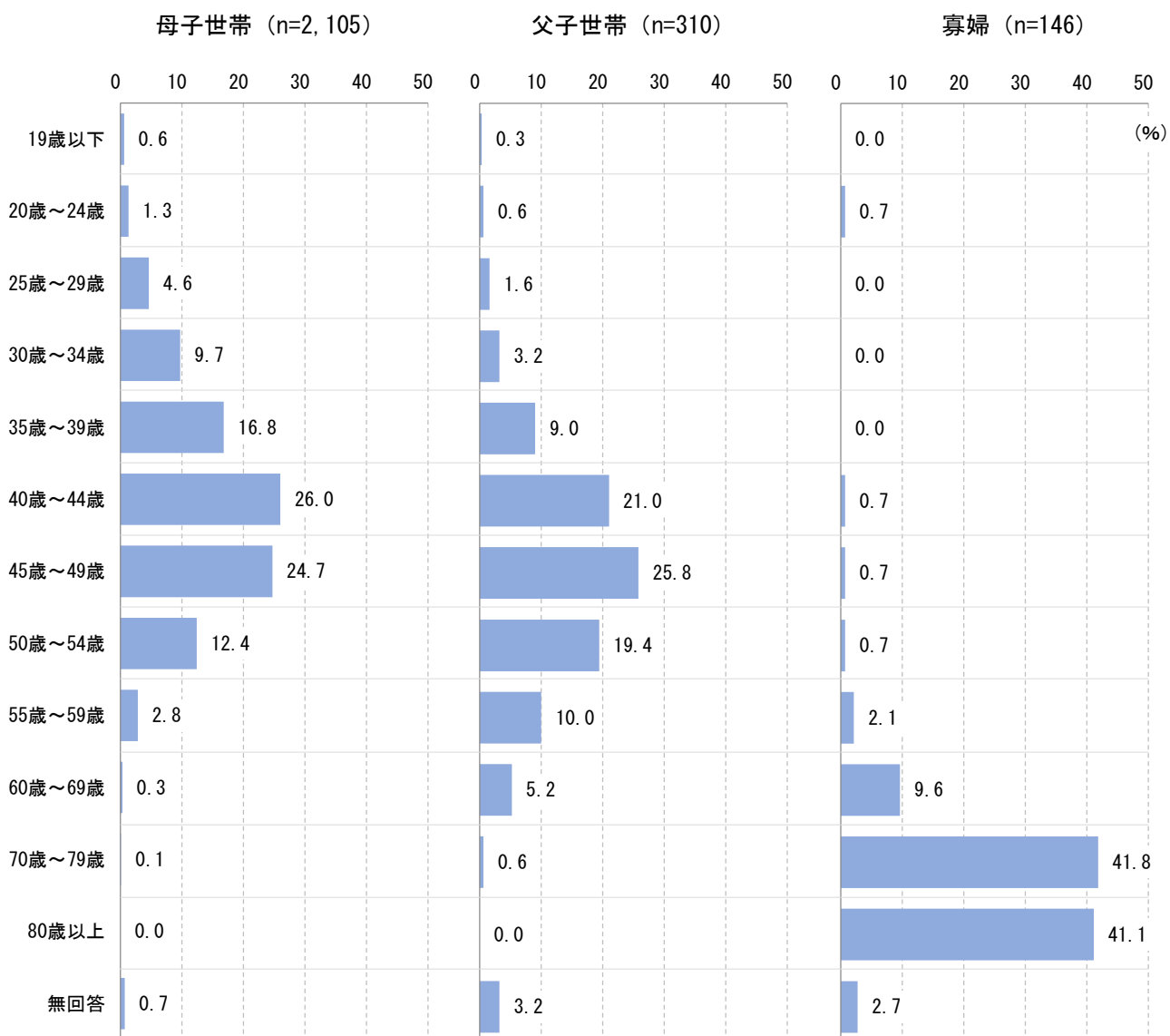
(2) 母・父の年齢

母・父の年齢は、母子世帯・父子世帯ともに40歳代が最も高く、母子世帯で50.7%、父子世帯で46.8%となっている。

	調査数(人)	19歳以下	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答
母子世帯	2,105	0.6	1.3	4.6	9.7	16.8	26.0	24.7	12.4	2.8	0.3	0.1	0.0	0.7
父子世帯	310	0.3	0.6	1.6	3.2	9.0	21.0	25.8	19.4	10.0	5.2	0.6	0.0	3.2
寡婦	146	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	2.1	9.6	41.8	41.1	2.7

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	0.7	1.4	5.7	12.4	22.2	25.5	20.9	8.9	1.8	0.3			0.1
父子(H25)	312	1.0	1.3	2.2	4.5	13.5	23.7	24.7	17.3	7.4		4.2		0.3
寡婦(H25)	173	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.7	5.2	2.9		88.4		0.6



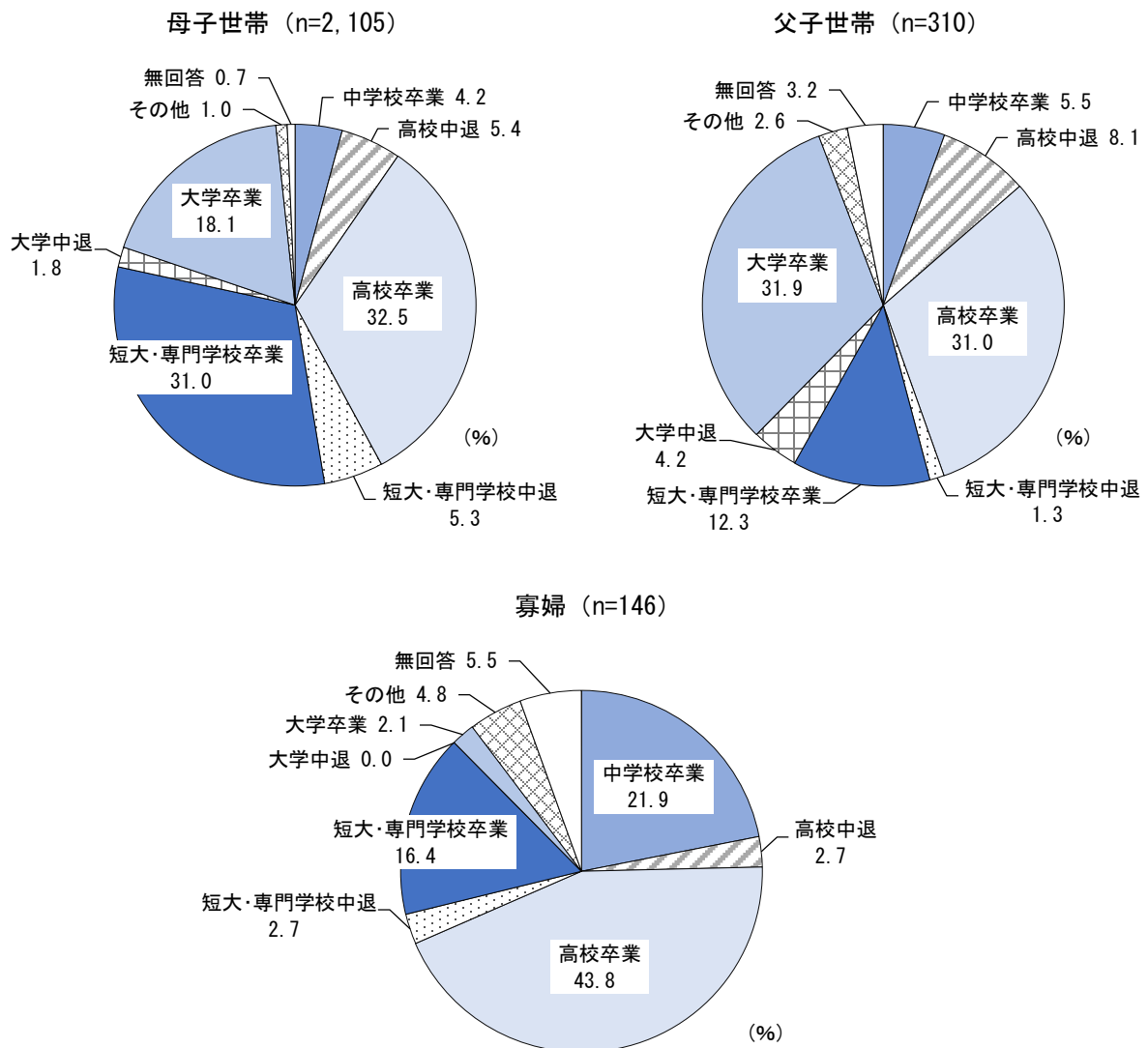
(3) 母・父の最終学歴

母・父の最終学歴は、母子世帯では「高校卒業」が32.5%と最も高く、次いで「短大・専門学校卒業」が31.0%となっている。父子世帯では「大学卒業」が31.9%と最も高く、次いで「高校卒業」が31.0%となっている。

	調査数(人)	中学校卒業	高校中退	高校卒業	短大・専門学校中退	短大・専門学校卒業	大学中退	大学卒業	その他	無回答
母子世帯	2,105	4.2	5.4	32.5	5.3	31.0	1.8	18.1	1.0	0.7
父子世帯	310	5.5	8.1	31.0	1.3	12.3	4.2	31.9	2.6	3.2
寡婦	146	21.9	2.7	43.8	2.7	16.4	0.0	2.1	4.8	5.5

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	5.9	7.7	35.8	5.8	30.1	1.3	12.9	0.4	0.0
父子(H25)	312	8.0	6.1	39.7	1.6	12.5	4.5	26.3	1.3	0.0
寡婦(H25)	173	20.8	2.3	45.7	2.9	13.9	0.6	4.0	7.5	2.3



【母・父の年齢別 最終学歴】

(%)

【母子世帯】		(調査数)	中学校卒業	高校中退	高校卒業	学短大・中退・専門	学短大・卒業・専門	大学中退	大学卒業	その他	無回答
母子全体	2,105	4.2	5.4	32.5	5.3	31.0	1.8	18.1	1.0	0.7	
19歳以下	13	23.1	15.4	30.8	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	
20歳～24歳	27	14.8	25.9	44.4	0.0	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	
25歳～29歳	96	15.6	12.5	40.6	3.1	14.6	6.3	6.3	1.0	0.0	
30歳～34歳	205	4.4	9.8	34.1	6.3	22.9	3.9	16.6	2.0	0.0	
35歳～39歳	353	2.8	6.2	28.6	6.8	29.7	1.4	23.5	0.8	0.0	
40歳～44歳	548	3.3	4.6	28.3	5.3	37.2	1.5	18.8	0.9	0.2	
45歳～49歳	520	3.8	1.9	34.8	4.6	35.2	1.0	18.1	0.6	0.0	
50歳～54歳	261	3.1	4.2	34.5	5.7	31.4	0.0	19.9	1.1	0.0	
55歳～59歳	59	1.7	1.7	49.2	5.1	16.9	3.4	16.9	3.4	1.7	
60歳～69歳	6	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
70歳～79歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	15	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	73.3	

【父子世帯】		(調査数)	中学校卒業	高校中退	高校卒業	学短大・中退・専門	学短大・卒業・専門	大学中退	大学卒業	その他	無回答
父子全体	310	5.5	8.1	31.0	1.3	12.3	4.2	31.9	2.6	3.2	
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
20歳～24歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
25歳～29歳	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30歳～34歳	10	10.0	30.0	30.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	
35歳～39歳	28	7.1	10.7	42.9	3.6	14.3	3.6	17.9	0.0	0.0	
40歳～44歳	65	7.7	3.1	44.6	1.5	15.4	3.1	21.5	3.1	0.0	
45歳～49歳	80	5.0	3.8	28.8	1.3	17.5	2.5	41.3	0.0	0.0	
50歳～54歳	60	5.0	8.3	26.7	0.0	3.3	5.0	43.3	8.3	0.0	
55歳～59歳	31	3.2	16.1	19.4	0.0	6.5	9.7	45.2	0.0	0.0	
60歳～69歳	16	0.0	12.5	18.8	0.0	12.5	12.5	37.5	6.3	0.0	
70歳～79歳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

【寡婦】		(調査数)	中学校卒業	高校中退	高校卒業	学短大・中退・専門	学短大・卒業・専門	大学中退	大学卒業	その他	無回答
寡婦全体	146	21.9	2.7	43.8	2.7	16.4	0.0	2.1	4.8	5.5	
19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
20歳～24歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
25歳～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30歳～34歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
35歳～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
40歳～44歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
45歳～49歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
50歳～54歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
55歳～59歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
60歳～69歳	14	14.3	0.0	35.7	0.0	35.7	0.0	14.3	0.0	0.0	
70歳～79歳	61	31.1	4.9	44.3	1.6	14.8	0.0	1.6	0.0	1.6	
80歳以上	60	18.3	1.7	48.3	3.3	11.7	0.0	0.0	11.7	5.0	
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

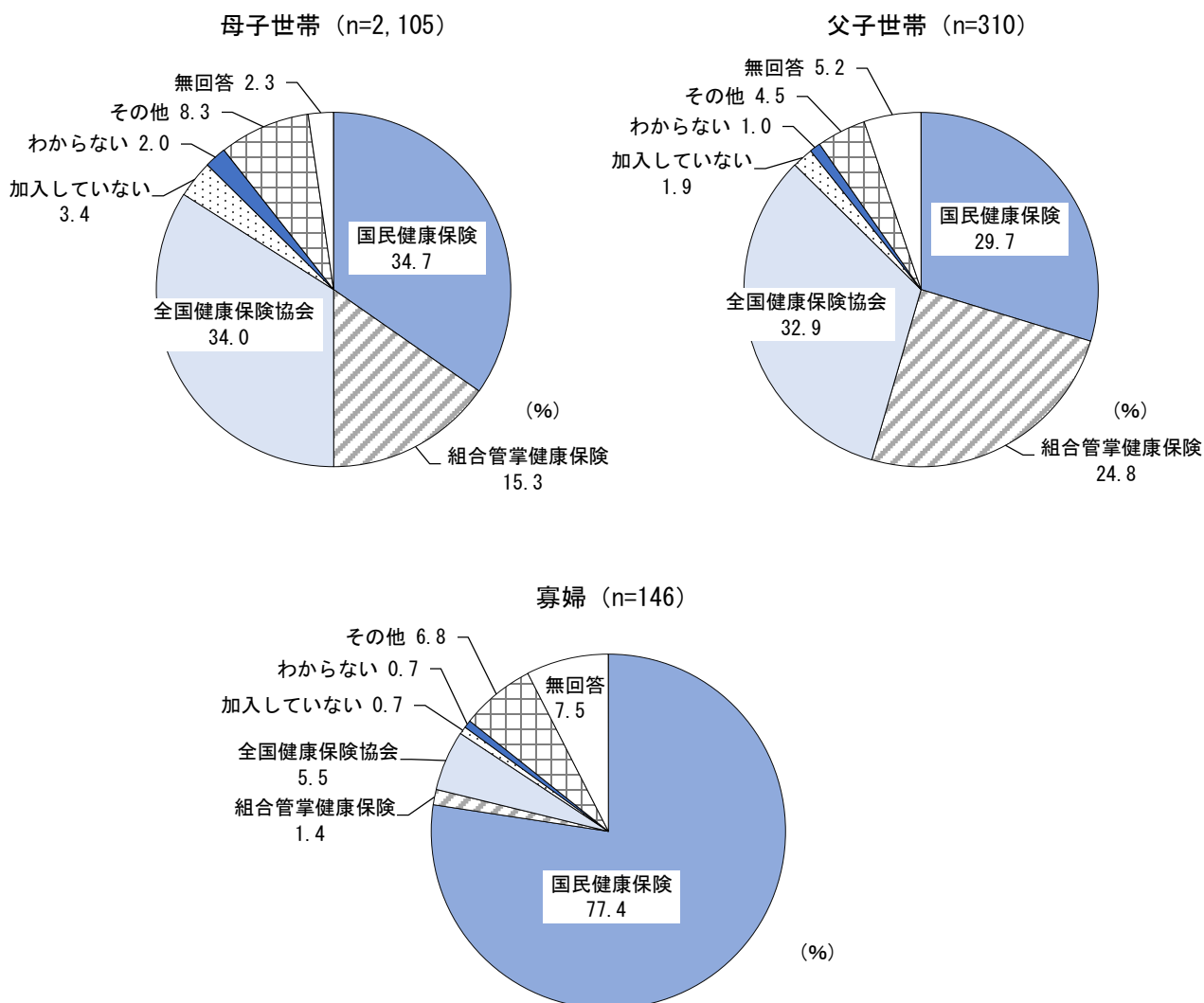
(4) 母・父の健康保険加入状況

母・父の健康保険への加入状況は、母子世帯・寡婦ともに「国民健康保険」が最も高く、母子世帯で34.7%、寡婦で77.4%となっている。父子世帯では「全国健康保険協会」が32.9%と最も高い。

	調査数 (人)	国民健康保険	組合管掌健康保険	全国健康保険協会	加入していない	わからない	その他	無回答
母子世帯	2,105	34.7	15.3	34.0	3.4	2.0	8.3	2.3
父子世帯	310	29.7	24.8	32.9	1.9	1.0	4.5	5.2
寡婦	146	77.4	1.4	5.5	0.7	0.7	6.8	7.5

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子(H25)	1,476	42.2	11.5	27.5	4.6	1.7	10.4	2.1
父子(H25)	312	38.1	21.2	27.9	1.9	0.6	7.1	3.2
寡婦(H25)	173	76.3	5.2	8.7	1.7	0.0	5.2	2.9



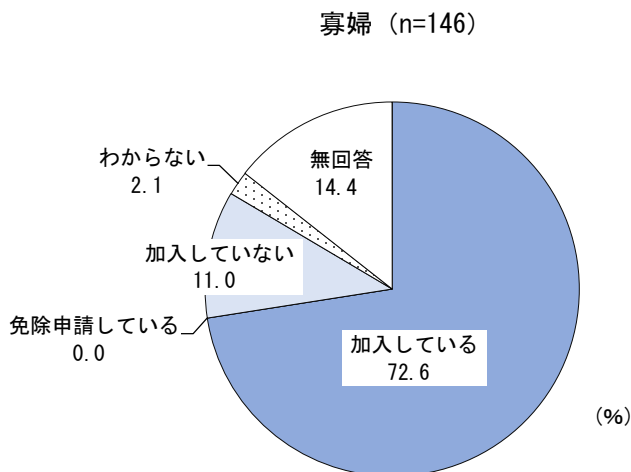
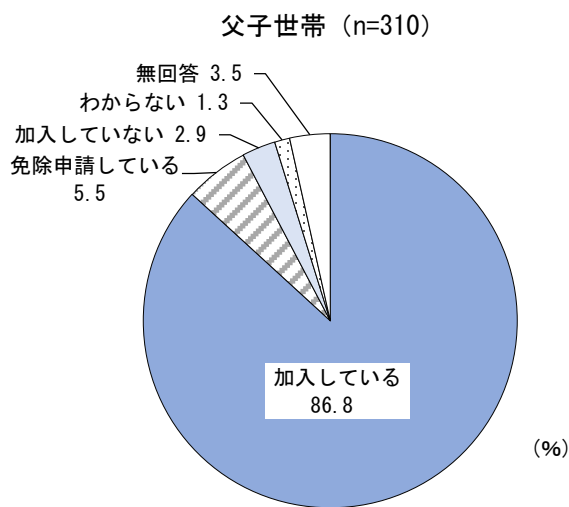
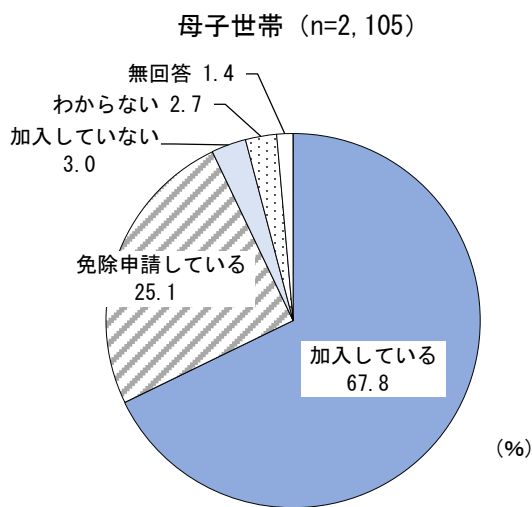
(5) 母・父の年金加入状況

母・父の年金加入状況は、いずれも「加入している」が6～8割台を占めており、父子世帯で86.8%と最も高い。一方、「免除申請している」は母子世帯で25.1%と最も高くなっている。

	調査数(人)	加入している	免除申請している	加入していない	わからない	無回答
母子世帯	2,105	67.8	25.1	3.0	2.7	1.4
父子世帯	310	86.8	5.5	2.9	1.3	3.5
寡婦	146	72.6	0.0	11.0	2.1	14.4

(%)

【参考】前回調査結果(平成25年度)						
	調査数(人)	加入している	免除申請している	加入していない	わからない	無回答
母子(H25)	1,476	58.0	33.5	4.7	2.4	1.4
父子(H25)	312	77.9	15.4	4.2	1.6	0.6
寡婦(H25)	173	59.5	2.9	19.1	1.2	17.3



(6) ひとり親家庭になった理由

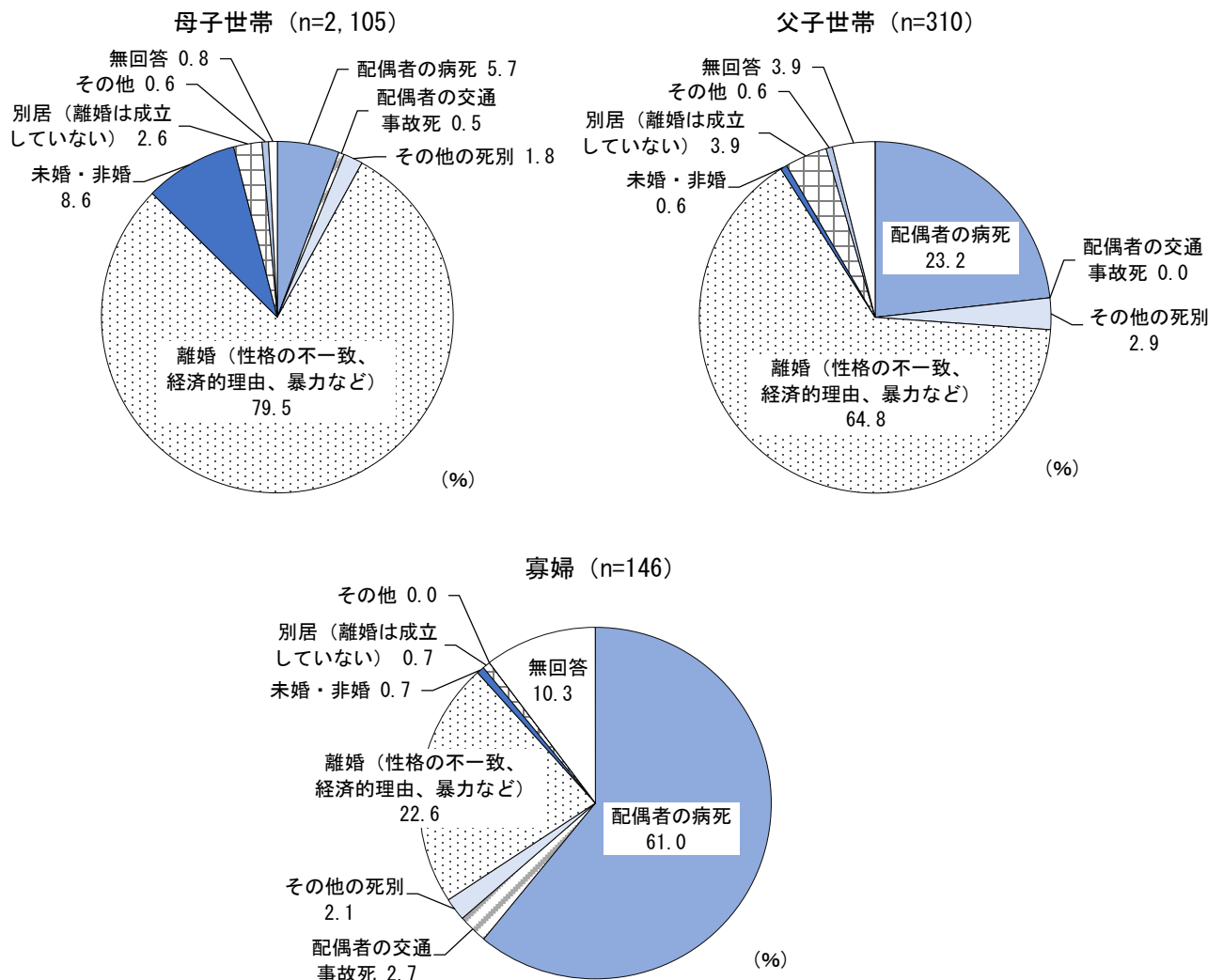
ひとり親家庭になった理由は、「離婚」が最も高く、母子世帯で79.5%、父子世帯で64.8%となっている。

	調査数(人)	配偶者の病死	配偶者の交通事故死	その他の死別	*離婚(全体)	離婚の内訳				未婚・非婚	別居(離婚は成立していない)	その他	無回答
						性格の不一致による離婚	借金など経済的理由による離婚	暴力による離婚	その他理由による離婚				
母子世帯	2,105	5.7	0.5	1.8	79.5	27.2	13.3	12.1	28.6	8.6	2.6	0.6	0.8
父子世帯	310	23.2	0.0	2.9	64.8	29.0	4.5	1.6	29.7	0.6	3.9	0.6	3.9
寡婦	146	61.0	2.7	2.1	22.6	5.5	4.1	2.7	10.3	0.7	0.7	0.0	10.3

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	5.6	0.5	1.3	83.8	29.6	24.0	17.1	29.3	7.1	—	1.4	0.3
父子(H25)	312	18.3	1.0	2.2	75.0	37.2	8.0	1.0	32.1	0.0	—	3.5	0.0
寡婦(H25)	173	63.0	1.7	4.6	22.5	4.0	6.9	4.6	8.7	2.9	—	1.2	4.0

*「離婚(全体)」の内訳(4項目)は複数回答を含む。



(7) ひとり親家庭になってからの年数

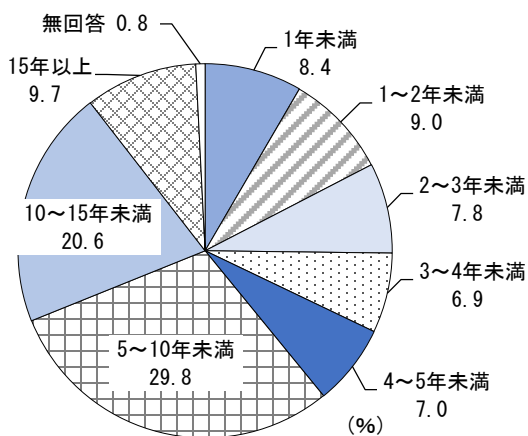
ひとり親家庭になってからの年数は、母子世帯・父子世帯ともに「5～10年未満」が最も高く、母子世帯で29.8%、父子世帯で26.1%となっている。

	調査数(人)	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	無回答
母子世帯	2,105	8.4	9.0	7.8	6.9	7.0	29.8	20.6	9.7	0.8
父子世帯	310	9.7	11.3	12.6	9.7	9.0	26.1	14.2	3.5	3.9

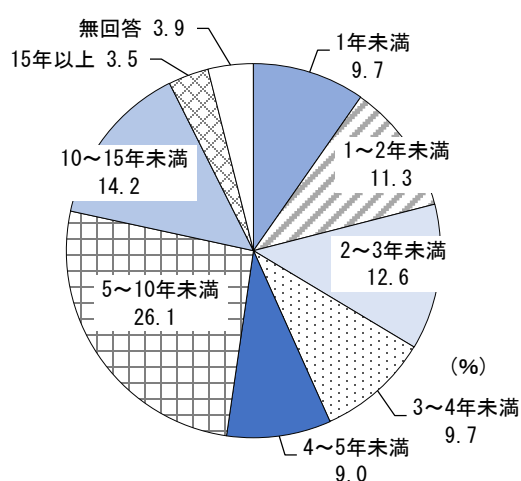
【参考】 前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	9.1	8.9	8.1	8.2	7.7	30.1	21.1	6.6	0.3
父子(H25)	312	8.7	9.3	13.8	9.0	8.0	26.3	21.2	3.2	0.6

母子世帯 (n=2,105)



父子世帯 (n=310)



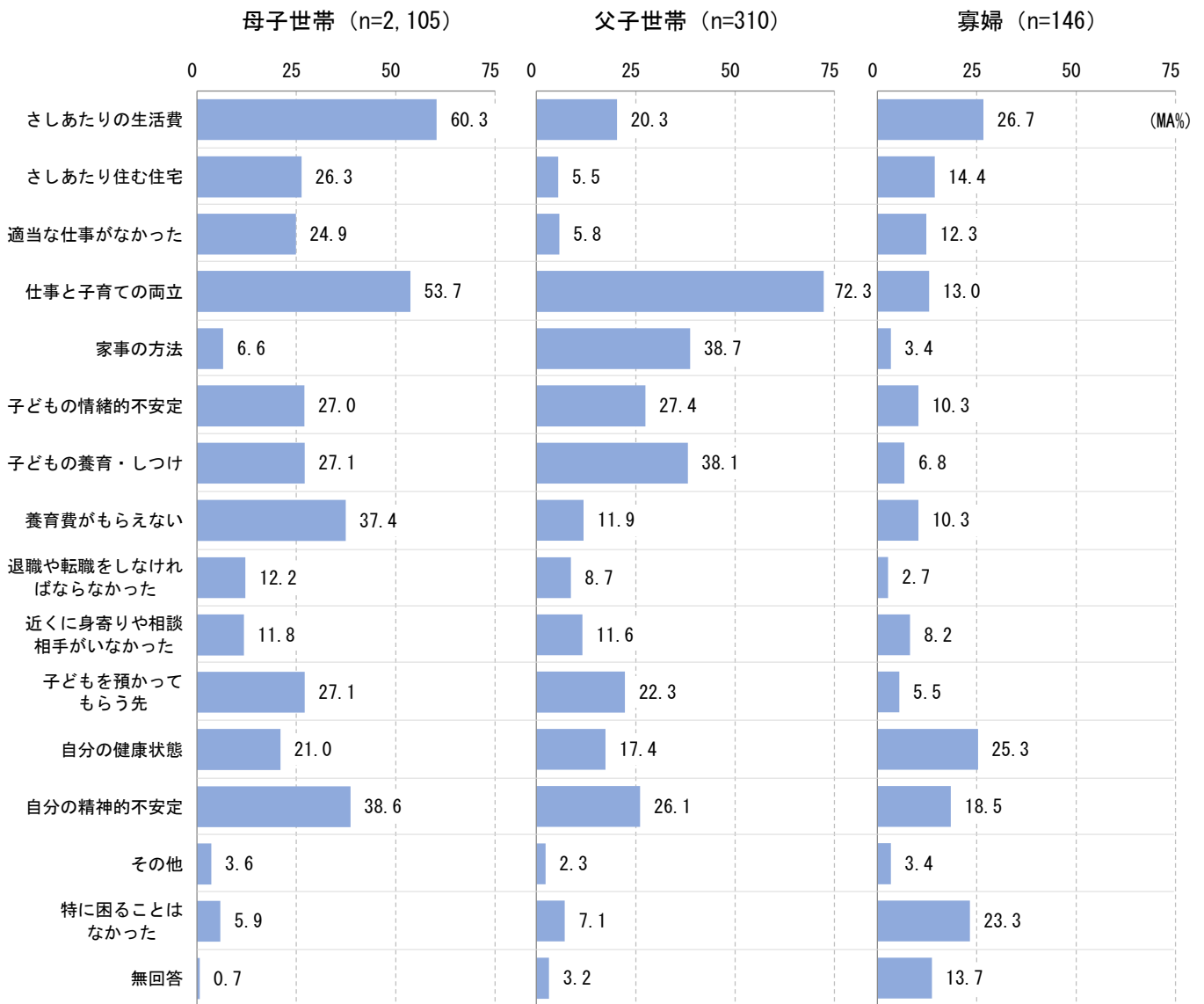
(8) ひとり親家庭になった当時の困りごと [複数回答]

ひとり親家庭になった当時の困りごとは、母子世帯、寡婦では「さしあたりの生活費」が最も高くなっている（母子世帯 60.3%、寡婦 26.7%）。父子世帯では「仕事と子育ての両立」が72.3%と最も高い。

	調査数（人）	さしあたりの生活費	さしあたり住む住宅	適当な仕事がなかった	仕事と子育ての両立	家事の方法	子どもの情緒的不安定	子どもの養育・しつけ	養育費がもらえない	退職や転職をしなければならなかった	近くに身寄りや相談相手がいなかった	子どもを預かってもらう先	自分の健康状態	自分の精神的不安定	その他	特に困ることはなかった	無回答
母子世帯	2,105	60.3	26.3	24.9	53.7	6.6	27.0	27.1	37.4	12.2	11.8	27.1	21.0	38.6	3.6	5.9	0.7
父子世帯	310	20.3	5.5	5.8	72.3	38.7	27.4	38.1	11.9	8.7	11.6	22.3	17.4	26.1	2.3	7.1	3.2
寡婦	146	26.7	14.4	12.3	13.0	3.4	10.3	6.8	10.3	2.7	8.2	5.5	25.3	18.5	3.4	23.3	13.7

【参考】 前回調査結果（平成25年度）

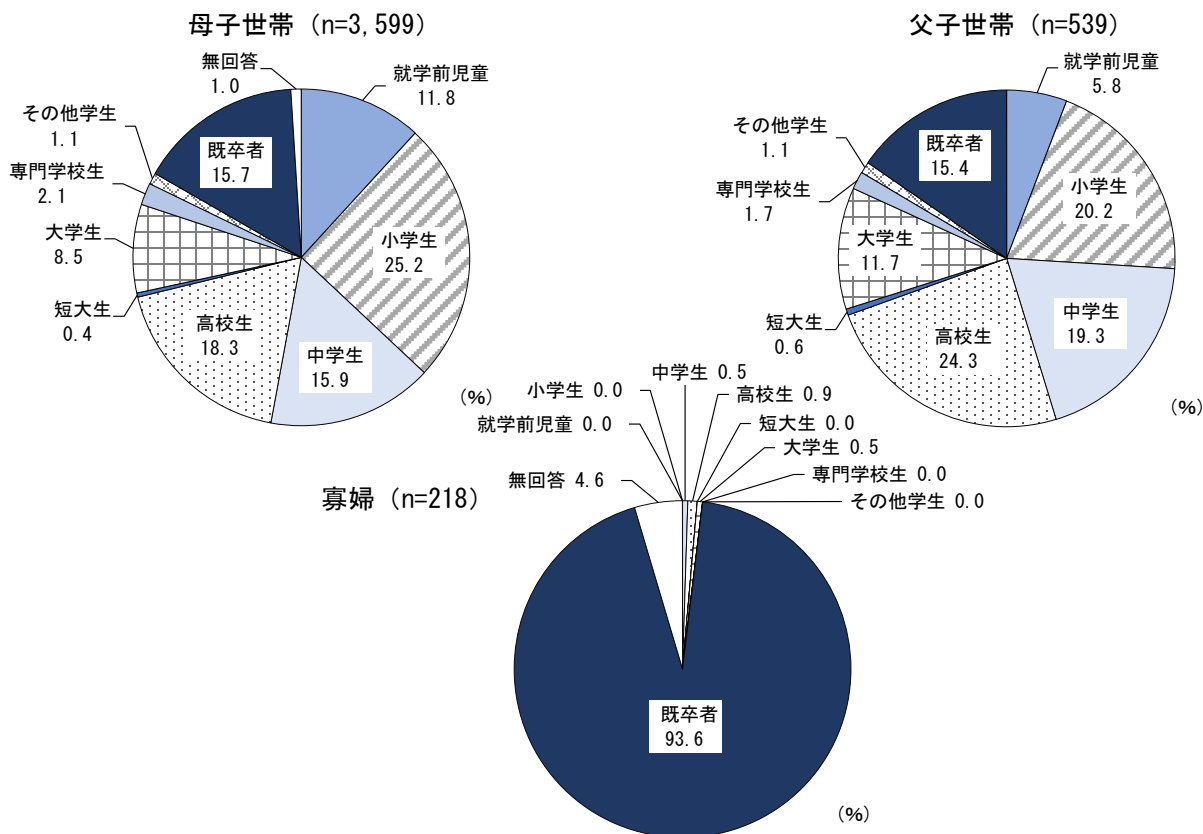
母子(H25)	1,476	64.5	31.2	31.6	50.7	6.2	29.5	30.4	—	11.3	11.3	27.5	—	42.5	4.7	4.4	0.2
父子(H25)	312	32.4	7.4	9.6	69.2	42.9	32.1	48.1	—	13.1	11.2	18.9	—	27.6	4.5	4.8	0.0
寡婦(H25)	173	27.7	11.6	12.7	17.9	1.2	7.5	13.3	—	4.0	5.2	7.5	—	19.1	3.5	30.6	9.8



(9) 子どもの状況

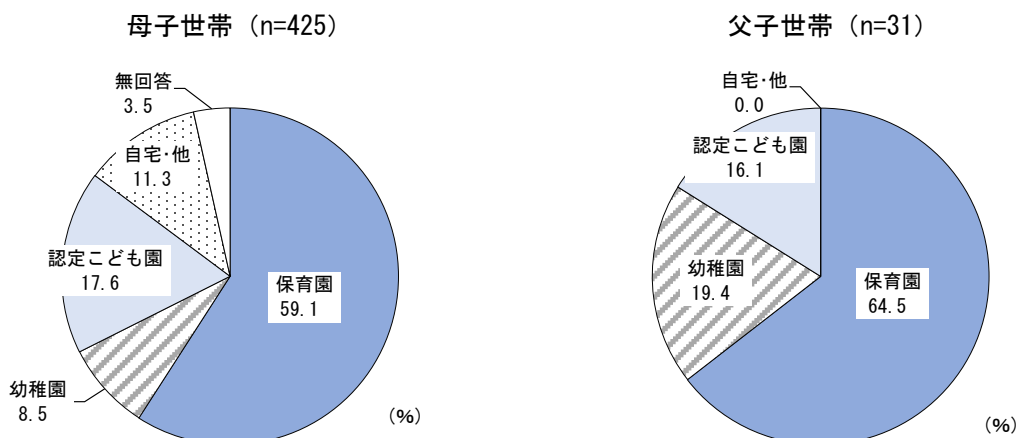
①子どもの就学状況等

子どもの就学状況は、母子世帯では「小学生」が25.2%、父子世帯では「高校生」が24.3%と、それぞれ最も高くなっている。



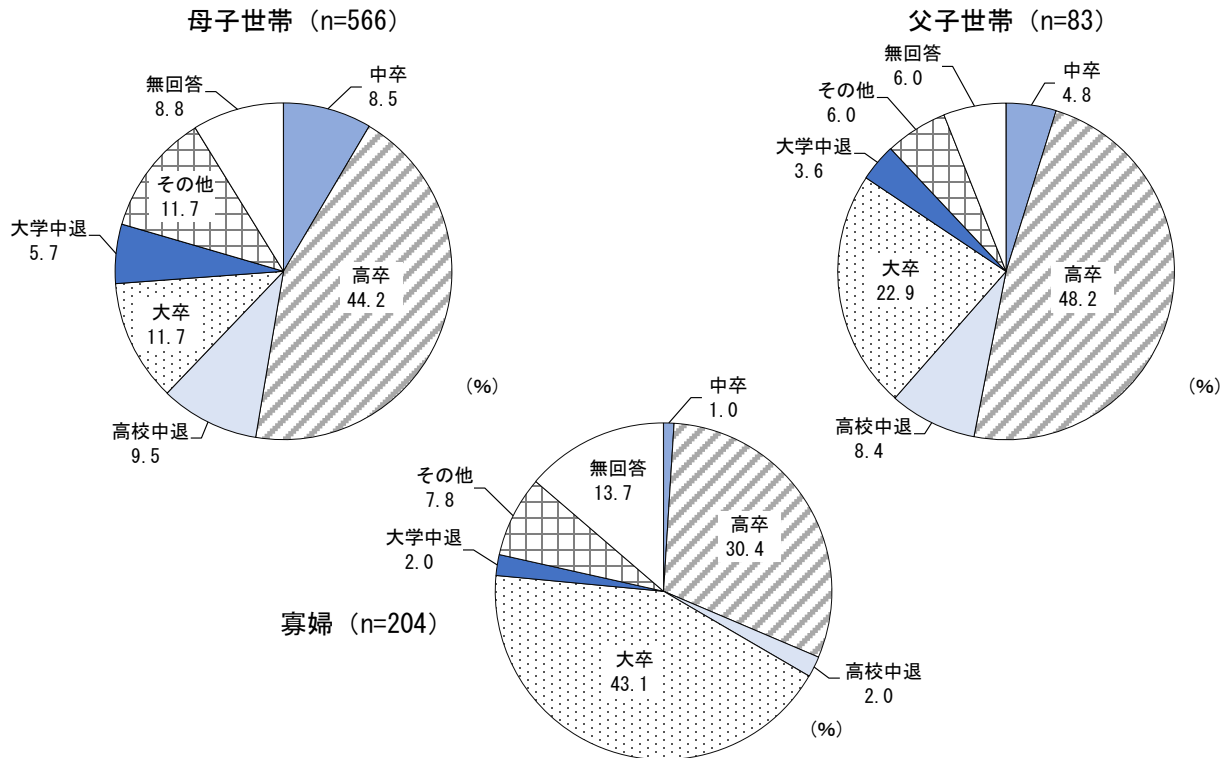
②就学前児童の保育状況

就学前児童の保育状況は、母子世帯では「保育園」が59.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が17.6%、「自宅・他」が11.3%となっている。父子世帯でも「保育園」が64.5%と最も高く、次いで「幼稚園」が19.4%となっている。



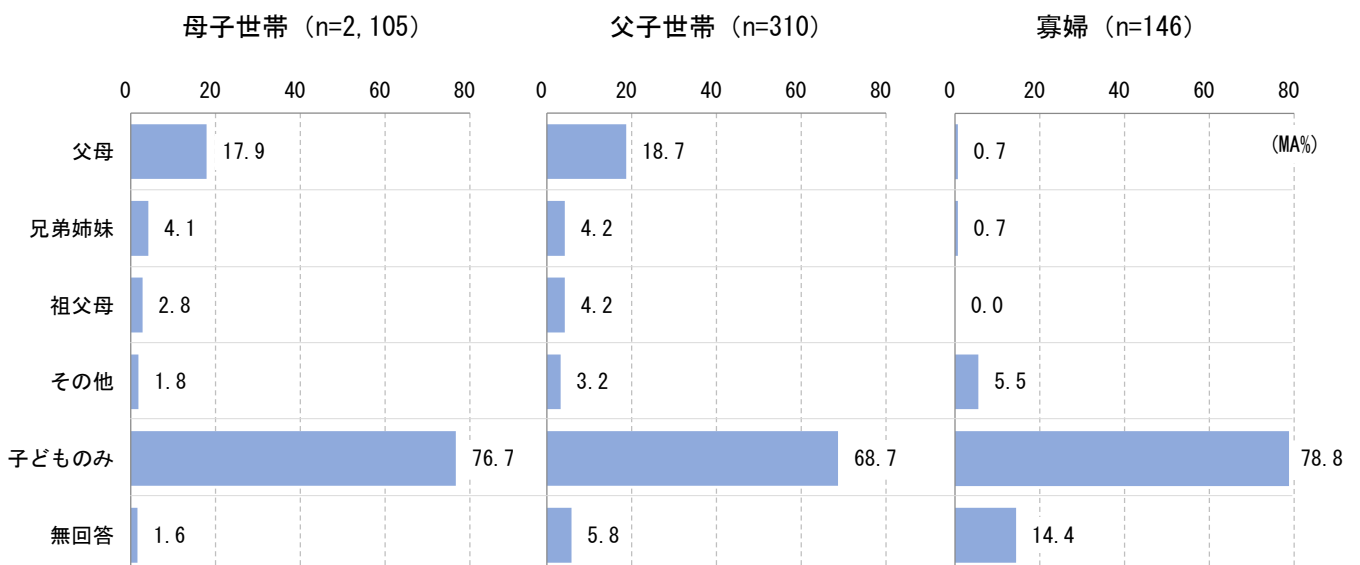
③既卒の子どもの最終学歴

既に学校を卒業している子どもの最終学歴は、母子世帯・父子世帯ともに「高卒」が最も高く、母子世帯で44.2%、父子世帯で48.2%となっている。



(10) 子ども以外の同居家族 [複数回答]

子ども以外の同居家族がいると回答した割合は、母子世帯・父子世帯ともに2割台となっている。内訳としては、「父母」が母子世帯で17.9%、父子世帯で18.7%と高い。



2. 仕事について

(1) 現在の仕事の有無

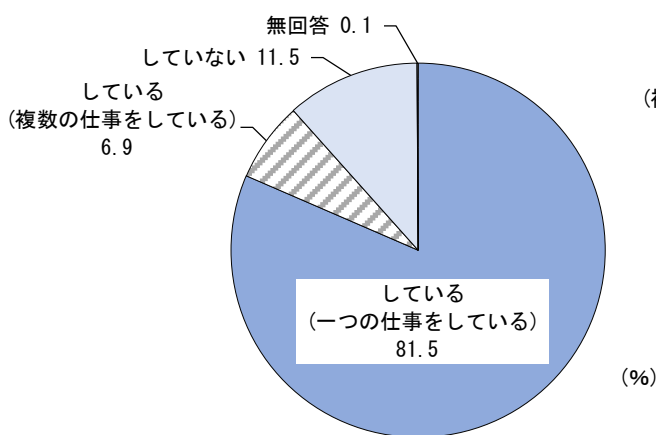
現在仕事をしている人の割合は、母子世帯で88.4%、父子世帯で93.2%となっている。

	調査数 (人)	仕事 をしている (一つの 仕事をして いる)	仕事 をしている (複数の 仕事をして いる)	して いない	無 回 答
母子世帯	2,105	81.5	6.9	11.5	0.1
父子世帯	310	90.6	2.6	6.5	0.3
寡婦	146	24.0	1.4	65.8	8.9

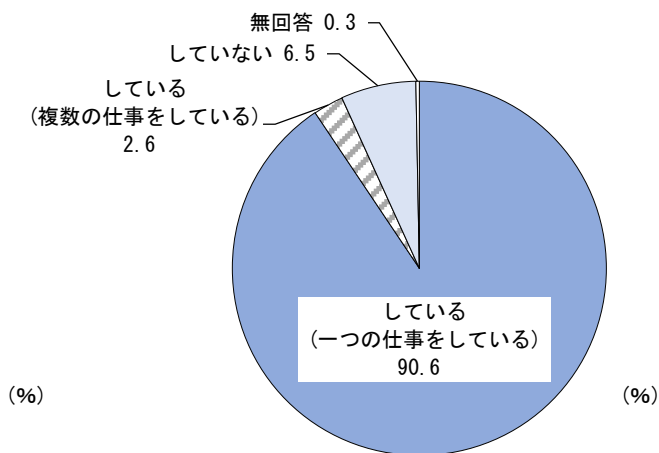
【参考】前回調査結果（平成25年度）

母子(H25)	1,476	83.7		15.1	1.2
父子(H25)	312	91.0		8.0	1.0
寡婦(H25)	173	30.1		62.4	7.5

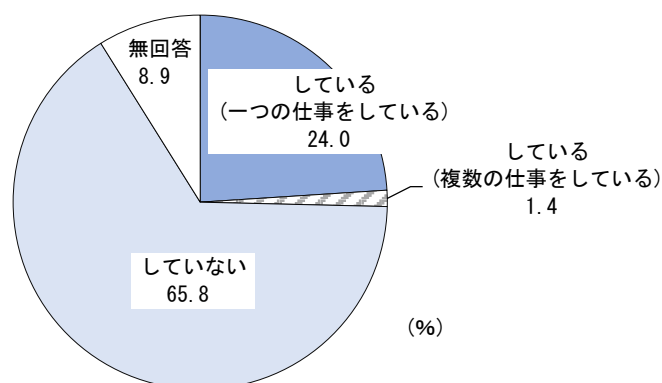
母子世帯 (n=2,105)



父子世帯 (n=310)



寡婦 (n=146)



(2) 現在の仕事の継続状況

※回答対象は、現在仕事をしていると答えた人のみ

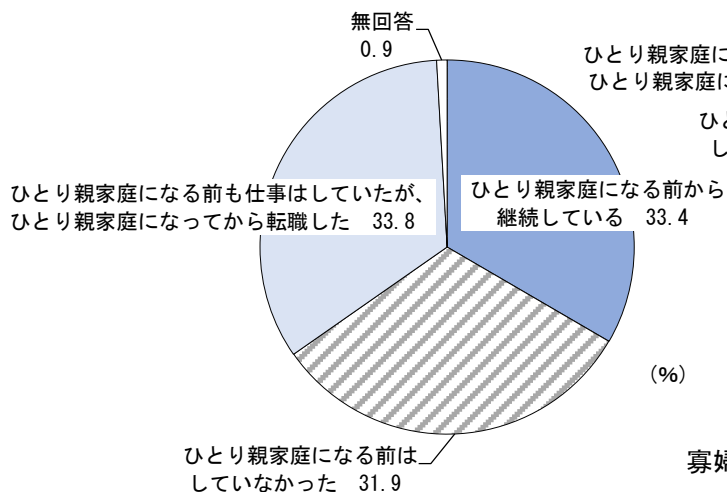
現在の仕事の継続状況は、母子世帯では「ひとり親家庭になる前はしていなかった」が31.9%、「ひとり親家庭になる前も仕事をしていたが、ひとり親家庭になってから転職した」が33.8%となっている。これに対し、父子世帯では「ひとり親家庭になる前から継続している」が83.4%を占めている。寡婦では「ひとり親家庭になる前はしていなかった」が37.8%と最も高くなっている。

	調査数(人)	ひとり親家庭になる前から継続している	ひとり親家庭になる前はしていなかった	ひとり親家庭になる前も仕事をしていたが、ひとり親家庭になってから転職した	ひとり親家庭になる前はしていません	無回答
母子世帯	1,860	33.4	31.9	33.8	0.9	0.9
父子世帯	289	83.4	2.8	13.1	0.7	0.7
寡婦	37	32.4	37.8	27.0	2.7	2.7

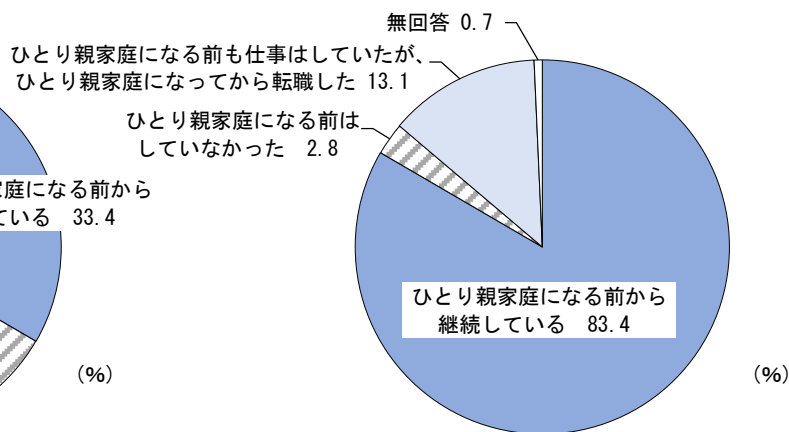
【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子(H25)	1,236	27.7	35.6	35.9	0.8
父子(H25)	284	74.3	4.2	20.8	0.7
寡婦(H25)	52	34.6	32.7	28.8	3.8

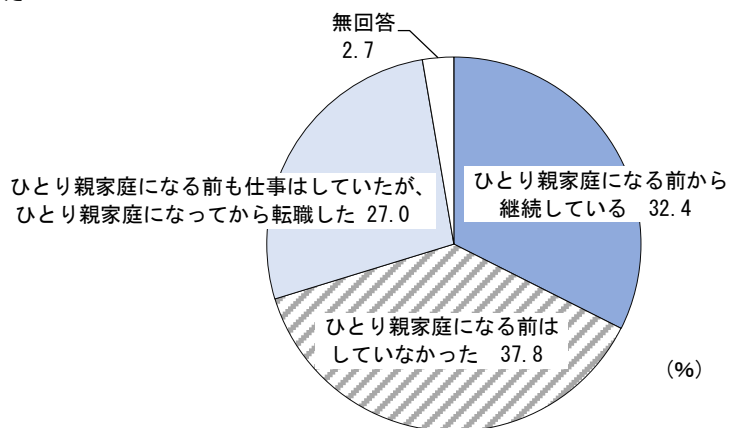
母子世帯 (n=1,860)



父子世帯 (n=289)



寡婦 (n=37)



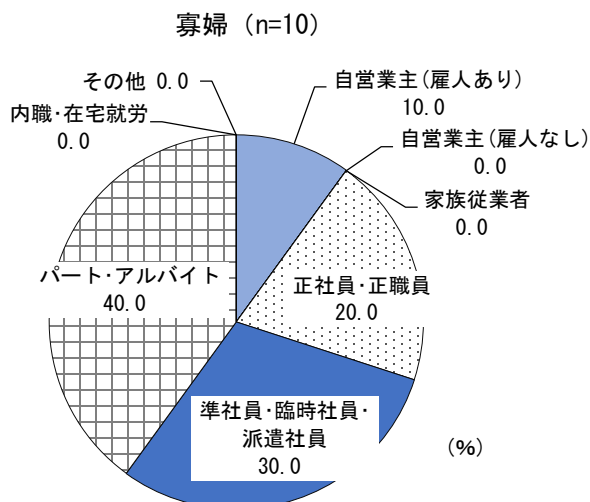
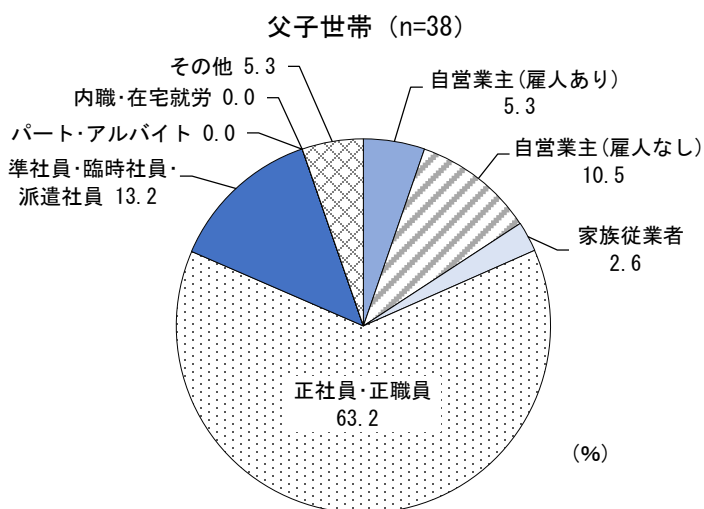
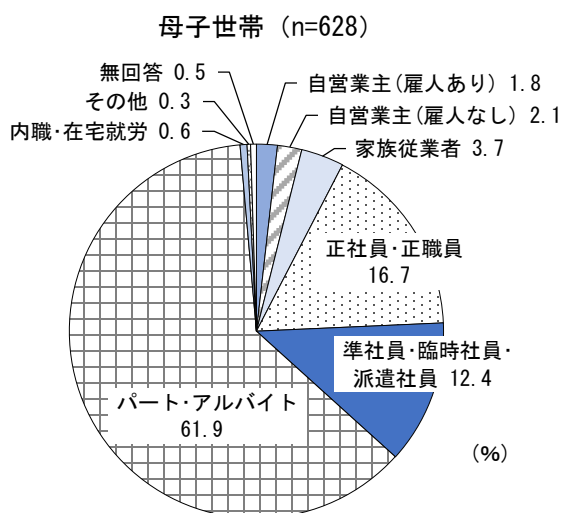
(3) ひとり親家庭になる前の就業形態

「ひとり親家庭になる前も仕事はしていたがひとり親家庭になって転職した」と回答した人のひとり親家庭になる前の就業形態は、母子世帯では「パート・アルバイト」が61.9%、父子世帯では「正社員」が63.2%と、それぞれ最も高い割合を占めている。

	調査数 (人)	あり 自営業主 (雇人)	なし 自営業主 (雇人)	家族 従業者	正社員・ 正職員	員準 ・社員 派遣 社員 臨時社 員	パート ・ パート ・ アルバ イ	内職・ 在宅就 労	その他	無回 答
母子世帯	628	1.8	2.1	3.7	16.7	12.4	61.9	0.6	0.3	0.5
父子世帯	38	5.3	10.5	2.6	63.2	13.2	0.0	0.0	5.3	0.0
寡婦	10	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子 (H25)	444	1.8	2.5	5.9	15.1	11.3	61.0	0.7	0.9	0.9
父子 (H25)	59	1.7	10.2	5.1	62.7	11.9	6.8	0.0	0.0	1.7
寡婦 (H25)	15	13.3	6.7	13.3	26.7	6.7	20.0	6.7	0.0	6.7



(4) 現在の就業形態

現在の仕事の就業形態は、母子世帯・父子世帯ともに「正社員・正職員」が最も高く、母子世帯で42.2%、父子世帯で75.1%となっている。母子世帯では、「準社員・臨時職員・派遣社員」「パート・アルバイト」「内職・在宅就労」の合計が全体の50.2%となっている。

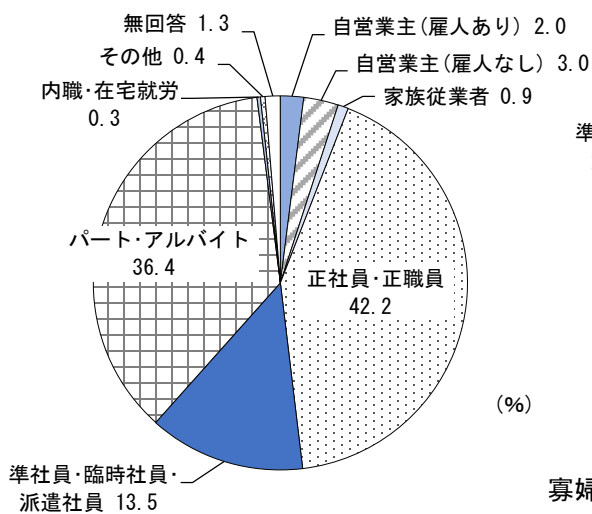
なお、母子世帯では、前回調査と比べて「正社員・正職員」が6.8%増加し、「パート・アルバイト」が9.1%減少している。

	調査数(人)	自営業主(雇人あり)	自営業主(雇人なし)	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	パート・アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
母子世帯	1,860	2.0	3.0	0.9	42.2	13.5	36.4	0.3	0.4	1.3
父子世帯	289	5.9	9.7	2.4	75.1	2.8	2.4	0.0	0.7	1.0
寡婦	37	5.4	5.4	2.7	13.5	10.8	59.5	0.0	0.0	2.7

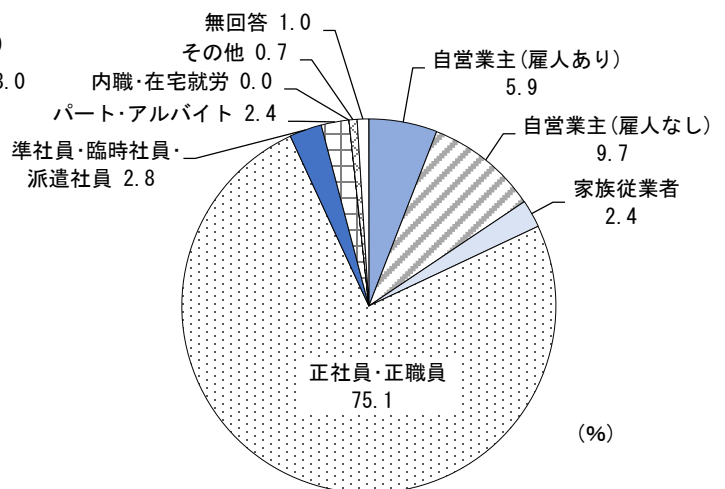
【参考】前回調査結果(平成25年度)

	調査数(人)	自営業主(雇人あり)	自営業主(雇人なし)	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	パート・アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
母子(H25)	1,236	1.1	1.8	0.9	35.4	12.5	45.5	0.4	1.5	1.0
父子(H25)	284	7.4	8.8	2.1	64.8	6.7	7.0	0.0	0.4	2.8
寡婦(H25)	52	1.9	11.5	7.7	23.1	7.7	32.7	0.0	5.8	9.6

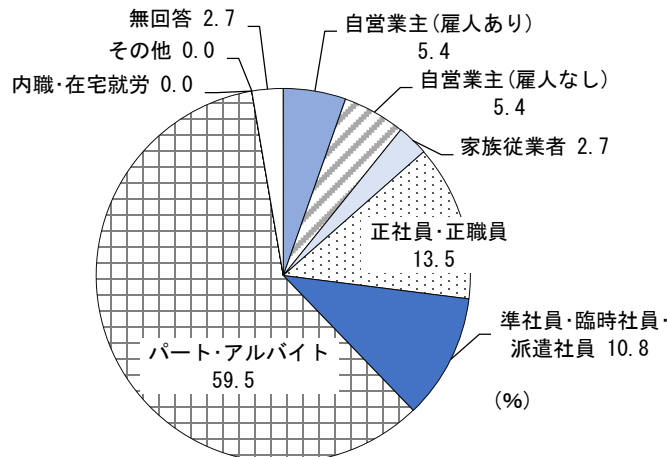
母子世帯 (n=1,860)



父子世帯 (n=289)



寡婦 (n=37)



Ⅱ 調査結果 ～2. 仕事について～

【母・父の最終学歴別 現在の就業形態】

(%)

【母子世帯】		調査数 (人)	自営業主 (雇人あり)	自営業主 (雇人なし)	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
母の最終学歴	母子全体	1,860	2.0	3.0	0.9	42.2	13.5	36.4	0.3	0.4	1.3
	中学校卒業	60	3.3	1.7	0.0	11.7	10.0	70.0	0.0	0.0	3.3
	高校中退	84	6.0	6.0	1.2	13.1	10.7	61.9	1.2	0.0	0.0
	高校卒業	601	2.2	2.3	1.0	31.9	14.5	45.9	0.0	0.3	1.8
	短大・専門学校中退	101	3.0	2.0	0.0	45.5	11.9	36.6	0.0	0.0	1.0
	短大・専門学校卒業	606	0.8	3.1	0.7	50.3	12.9	29.9	0.3	0.5	1.5
	大学中退	30	3.3	0.0	0.0	40.0	13.3	43.3	0.0	0.0	0.0
	大学卒業	350	2.6	4.0	1.7	55.7	14.9	19.4	0.9	0.6	0.3
	その他	17	0.0	0.0	0.0	58.8	17.6	23.5	0.0	0.0	0.0
	無回答	11	0.0	0.0	0.0	54.5	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0

【父子世帯】		調査数 (人)	自営業主 (雇人あり)	自営業主 (雇人なし)	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
父の最終学歴	父子全体	289	5.9	9.7	2.4	75.1	2.8	2.4	0.0	0.7	1.0
	中学校卒業	14	0.0	14.3	0.0	57.1	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0
	高校中退	22	9.1	22.7	0.0	59.1	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0
	高校卒業	90	6.7	7.8	3.3	73.3	3.3	3.3	0.0	0.0	2.2
	短大・専門学校中退	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短大・専門学校卒業	36	5.6	5.6	8.3	80.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学中退	12	0.0	41.7	0.0	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学卒業	94	6.4	5.3	0.0	84.0	2.1	1.1	0.0	0.0	1.1
	その他	8	0.0	12.5	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	9	11.1	11.1	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0

【寡婦】		調査数 (人)	自営業主 (雇人あり)	自営業主 (雇人なし)	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
母の最終学歴	寡婦全体	37	5.4	5.4	2.7	13.5	10.8	59.5	0.0	0.0	2.7
	中学校卒業	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0
	高校中退	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校卒業	15	13.3	0.0	0.0	13.3	13.3	60.0	0.0	0.0	0.0
	短大・専門学校中退	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	短大・専門学校卒業	8	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	大学中退	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学卒業	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【ひとり親になってからの年数別 現在の就業形態】

【母子世帯】		調査数（人）	（％）								
			（自営業主 （雇人あり）	（自営業主 （雇人なし）	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
ひとり親 になった からの 年数	母子全体	1,860	2.0	3.0	0.9	42.2	13.5	36.4	0.3	0.4	1.3
	1年未満	146	1.4	2.7	0.7	31.5	17.8	43.8	0.7	0.7	0.7
	1～2年未満	163	2.5	3.1	2.5	28.2	16.0	47.9	0.0	0.0	0.0
	2～3年未満	146	0.7	3.4	0.0	41.8	15.1	36.3	0.7	1.4	0.7
	3～4年未満	134	1.5	1.5	0.7	47.0	9.7	38.8	0.7	0.0	0.0
	4～5年未満	136	0.0	2.9	0.0	42.6	14.0	38.2	0.0	0.0	2.2
	5～10年未満	569	2.8	2.8	0.7	44.6	11.6	34.8	0.4	0.5	1.8
	10～15年未満	379	2.4	2.9	1.3	44.6	14.5	32.2	0.0	0.3	1.8
	15年以上	174	2.3	4.6	1.1	46.0	13.8	30.5	0.6	0.0	1.1
	無回答	13	0.0	0.0	0.0	53.8	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0

【父子世帯】		調査数（人）	（％）								
			（自営業主 （雇人あり）	（自営業主 （雇人なし）	家族従業者	正社員・正職員	準社員・派遣社員・臨時社員	アルバイト	内職・在宅就労	その他	無回答
ひとり親 になった からの 年数	父子全体	289	5.9	9.7	2.4	75.1	2.8	2.4	0.0	0.7	1.0
	1年未満	29	10.3	10.3	0.0	65.5	6.9	3.4	0.0	3.4	0.0
	1～2年未満	33	9.1	0.0	0.0	87.9	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	2～3年未満	35	0.0	5.7	0.0	91.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～4年未満	29	3.4	27.6	0.0	65.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
	4～5年未満	25	4.0	12.0	0.0	80.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	5～10年未満	73	5.5	8.2	2.7	76.7	0.0	2.7	0.0	1.4	2.7
	10～15年未満	43	2.3	4.7	9.3	76.7	4.7	2.3	0.0	0.0	0.0
	15年以上	11	18.2	18.2	0.0	45.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	11	18.2	18.2	9.1	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0

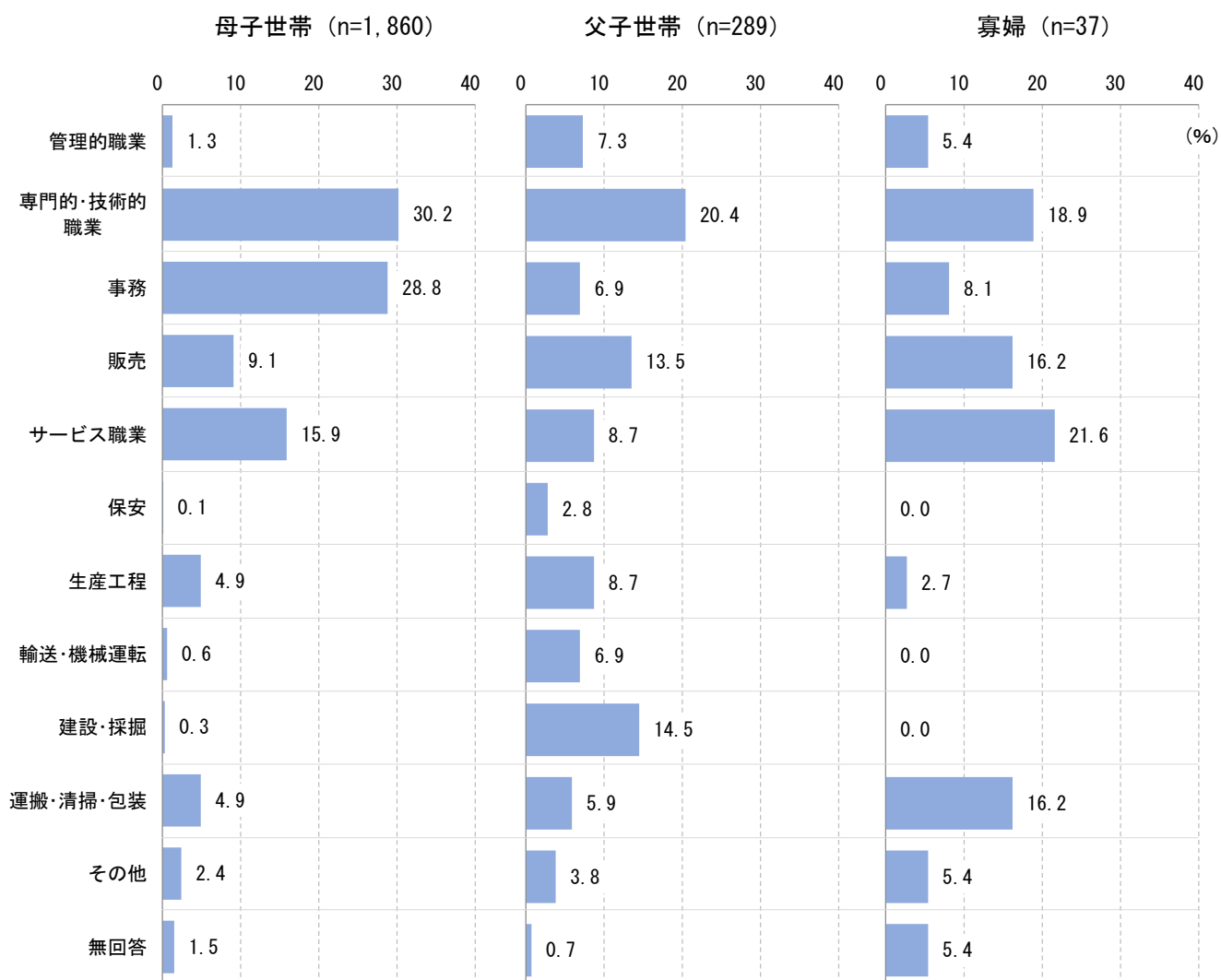
(5) 現在の仕事の内容（職種） [複数回答]

現在の仕事の内容（職種）は、「専門的・技術的職業」が母子世帯で30.2%、父子世帯で20.4%と、ともに最も高くなっており、これに続くのが、母子世帯では「事務」で28.8%、父子世帯では「建設・採掘」で14.5%となっている。

	調査数（人）	管理的職業	専門的・技術的職業	事務	販売	サービス職業	保安	生産工程	輸送・機械運転	建設・採掘	運搬・清掃・包装	その他	無回答
母子世帯	1,860	1.3	30.2	28.8	9.1	15.9	0.1	4.9	0.6	0.3	4.9	2.4	1.5
父子世帯	289	7.3	20.4	6.9	13.5	8.7	2.8	8.7	6.9	14.5	5.9	3.8	0.7
寡婦	37	5.4	18.9	8.1	16.2	21.6	0.0	2.7	0.0	0.0	16.2	5.4	5.4

【参考】 前回調査結果（平成25年度）

母子(H25)	1,236	0.6	25.0	28.1	10.0	17.7	0.2	4.9	0.2	0.0	4.4	6.2	2.8
父子(H25)	284	6.3	12.0	8.5	9.9	13.0	1.8	10.2	10.9	13.4	4.9	7.7	1.4
寡婦(H25)	52	5.8	15.4	9.6	15.4	19.2	0.0	1.9	0.0	0.0	5.8	19.2	7.7



(6) 勤続年数

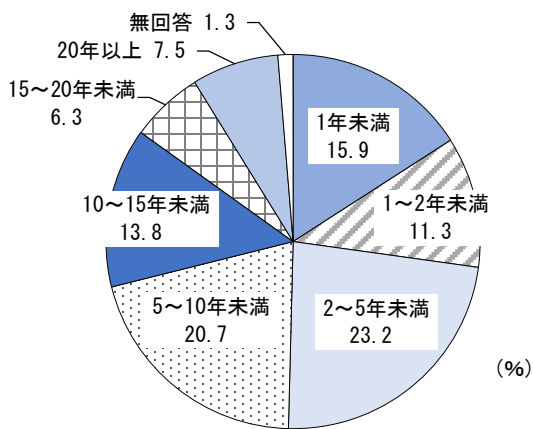
現在の仕事の勤続年数は、母子世帯では「2～5年未満」が23.2%と最も高く、次いで「5～10年未満」が20.7%となっている。父子世帯・寡婦ではともに「20年以上」が最も高く、父子世帯で42.2%、寡婦で37.8%となっている。

	調査数 (人)	1年未満	1～2年未満	2～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
母子世帯	1,860	15.9	11.3	23.2	20.7	13.8	6.3	7.5	1.3
父子世帯	289	4.2	3.5	8.7	11.8	15.2	13.5	42.2	1.0
寡婦	37	2.7	5.4	5.4	10.8	13.5	21.6	37.8	2.7

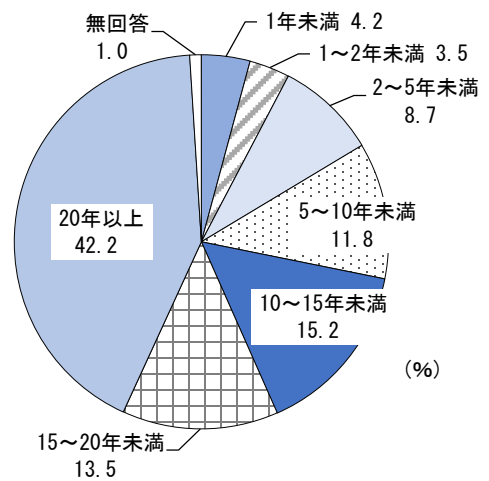
【参考】前回調査結果（平成25年度）

母子(H25)	1,236	20.7	12.5	23.7	25.5	10.0	4.2	2.9	0.5
父子(H25)	284	7.4	6.7	13.7	18.7	12.0	9.5	31.3	0.7
寡婦(H25)	52	7.7	3.8	9.6	11.5	15.4	9.6	30.8	11.5

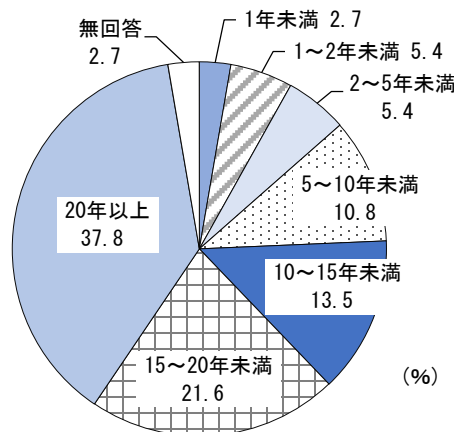
母子世帯 (n=1,860)



父子世帯 (n=289)



寡婦 (n=37)



(7) 求職方法

現在の仕事を探した方法は、母子世帯では「新聞などの求人広告」が 19.7%と最も高くなっている。これに対し、父子世帯・寡婦ではともに「友人・知人の紹介」が高く、父子世帯で 19.0%、寡婦で 35.1%となっている。

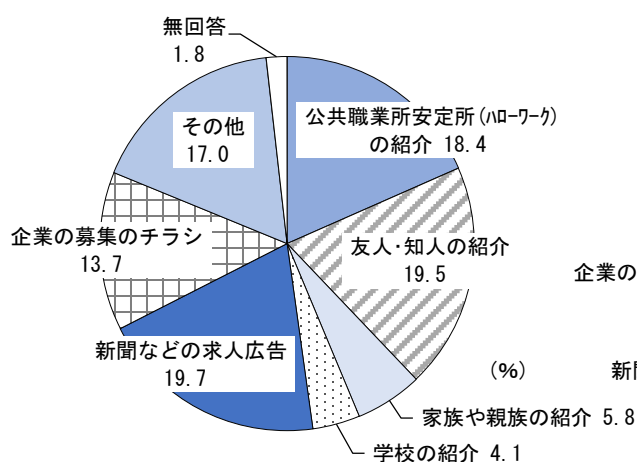
なお、「その他」の具体的内容としては、“インターネット検索”、“転職サイト”、“派遣会社登録”などの記述が多くみられた。

	調査数(人)	公共職業所安定所(ハローワーク)の紹介	友人・知人の紹介	家族や親族の紹介	学校の紹介	新聞などの求人広告	企業の募集のチラシ	その他	無回答
母子世帯	1,860	18.4	19.5	5.8	4.1	19.7	13.7	17.0	1.8
父子世帯	289	8.0	19.0	14.9	18.3	6.9	7.3	21.8	3.8
寡婦	37	8.1	35.1	2.7	0.0	18.9	5.4	24.3	5.4

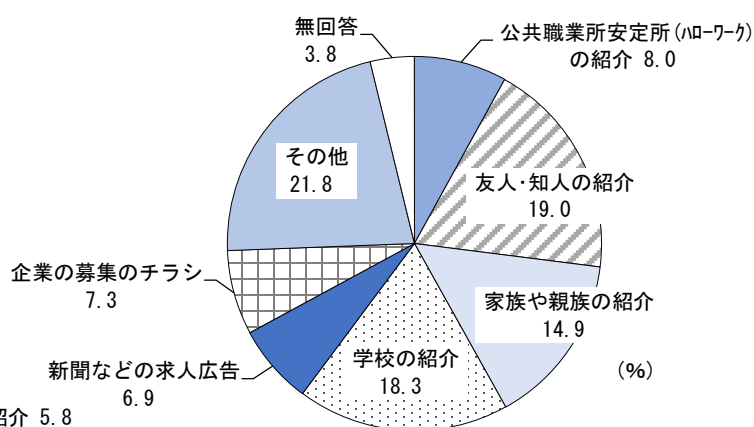
【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子(H25)	1,236	19.0	20.3	4.9	3.6	24.4	12.7	13.7	1.5
父子(H25)	284	11.3	25.7	13.0	11.6	9.5	5.6	18.3	4.9
寡婦(H25)	52	11.5	34.6	9.6	0.0	9.6	1.9	19.2	13.5

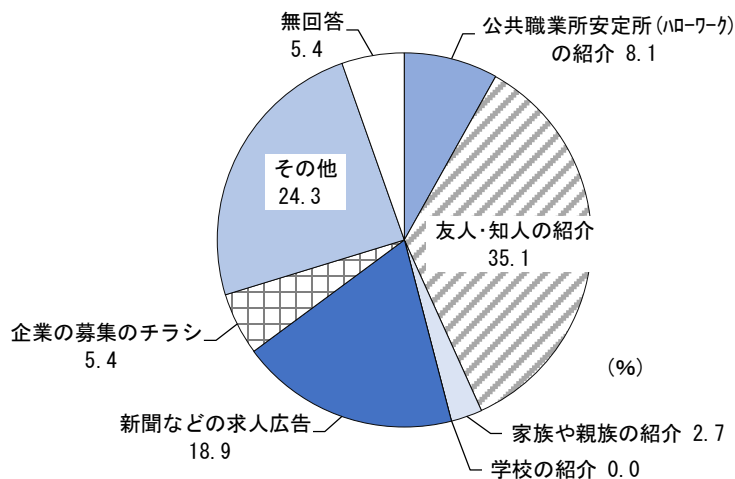
母子世帯 (n=1,860)



父子世帯 (n=289)



寡婦 (n=37)



(8) 年間収入

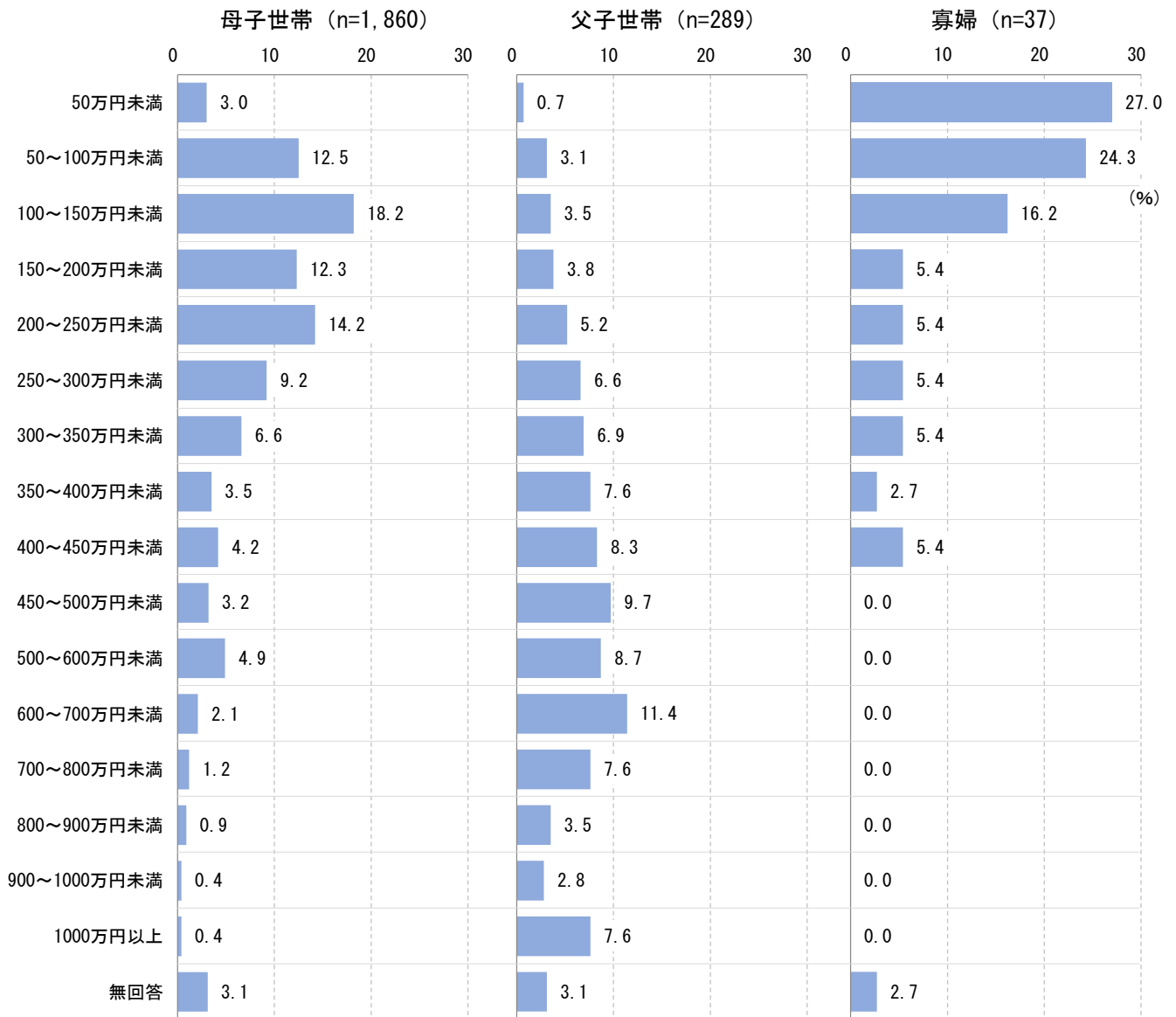
①就労収入

年間就労収入は、母子世帯では「100～150万円未満」が18.2%、父子世帯では「600～700万円未満」が11.4%とそれぞれ最も高くなっている。母子世帯では、200万円未満が全体の46.0%、250万円未満となると全体の60.2%を占めている。

	調査数(人)	(%)																
		50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000万円以上	無回答
母子世帯	1,860	3.0	12.5	18.2	12.3	14.2	9.2	6.6	3.5	4.2	3.2	4.9	2.1	1.2	0.9	0.4	0.4	3.1
父子世帯	289	0.7	3.1	3.5	3.8	5.2	6.6	6.9	7.6	8.3	9.7	8.7	11.4	7.6	3.5	2.8	7.6	3.1
寡婦	37	27.0	24.3	16.2	5.4	5.4	5.4	5.4	2.7	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,236	4.0	14.7	19.0	12.3	12.2	6.0	6.1	4.6	2.9	2.1	2.3	1.7	0.6	0.2	0.2	0.1	10.9
父子(H25)	284	1.4	3.2	4.2	3.2	7.0	5.6	8.8	8.8	10.2	5.3	6.3	6.0	2.8	4.2	1.8	4.9	16.2
寡婦(H25)	52	11.5	3.8	5.8	7.7	3.8	5.8	0.0	3.8	3.8	5.8	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	42.3



Ⅱ 調査結果 ～2. 仕事について～

【現在の就業形態別 年間就労収入】

(%)

【母子世帯】		調査数(人)	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
母子全体	1,860	3.0	12.5	18.2	12.3	14.2	9.2	6.6	3.5	4.2	3.2	4.9	5.0	3.1	
自営業主(雇人あり)	38	2.6	13.2	18.4	7.9	2.6	18.4	0.0	13.2	0.0	0.0	7.9	15.8	0.0	
自営業主(雇人なし)	55	5.5	20.0	23.6	10.9	10.9	10.9	3.6	0.0	3.6	0.0	1.8	3.6	5.5	
家族従業者	17	17.6	11.8	23.5	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	17.6	0.0	
正社員・正職員	784	0.3	0.8	2.9	6.3	17.2	15.1	12.4	6.9	9.3	7.0	10.3	10.3	1.3	
準社員・臨時社員・派遣社員	252	0.4	3.6	19.4	23.4	28.2	11.5	6.7	2.0	1.2	0.4	1.6	0.0	1.6	
パート・アルバイト	677	6.2	29.1	35.3	16.0	7.4	1.5	1.0	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	2.5	
内職・在宅就労	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	7	14.3	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	
無回答	24	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.8	

【父子世帯】		調査数(人)	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
父子全体	289	0.7	3.1	3.5	3.8	5.2	6.6	6.9	7.6	8.3	9.7	8.7	32.9	3.1	
自営業主(雇人あり)	17	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	17.6	5.9	11.8	5.9	29.4	0.0	
自営業主(雇人なし)	28	0.0	17.9	10.7	21.4	17.9	0.0	7.1	7.1	0.0	3.6	3.6	3.6	7.1	
家族従業者	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	
正社員・正職員	217	0.0	0.5	0.5	0.5	4.1	7.4	6.0	7.8	10.1	11.1	9.2	40.6	2.3	
準社員・臨時社員・派遣社員	8	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
パート・アルバイト	7	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	

【寡婦】		調査数(人)	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
寡婦全体	37	27.0	24.3	16.2	5.4	5.4	5.4	5.4	2.7	5.4	0.0	0.0	0.0	2.7	
自営業主(雇人あり)	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
自営業主(雇人なし)	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族従業者	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
正社員・正職員	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準社員・臨時社員・派遣社員	4	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
パート・アルバイト	22	45.5	31.8	18.2	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

②世帯収入

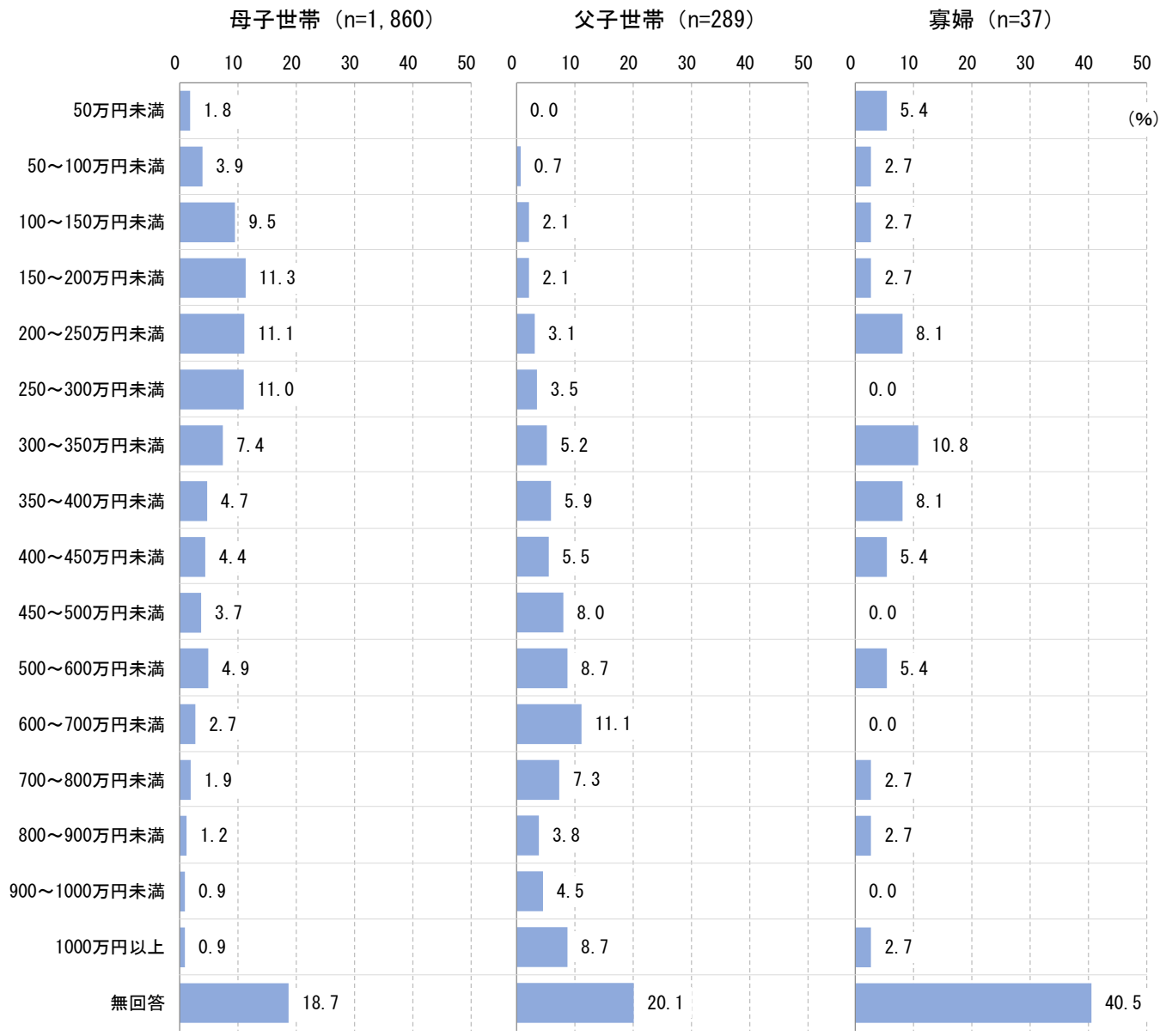
※回答対象は、母子・父子・寡婦それぞれ就労している世帯のみ

年間の世帯全体の収入（児童扶養手当、養育費、同居家族の収入などを含む）は、母子世帯では「150～200万円未満」が11.3%、父子世帯では「600～700万円未満」が11.1%、寡婦では「300～350万円未満」が10.8%と、それぞれ最も高くなっている。

	調査数（人）	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000万円以上	無回答
母子世帯	1,860	1.8	3.9	9.5	11.3	11.1	11.0	7.4	4.7	4.4	3.7	4.9	2.7	1.9	1.2	0.9	0.9	18.7
父子世帯	289	0.0	0.7	2.1	2.1	3.1	3.5	5.2	5.9	5.5	8.0	8.7	11.1	7.3	3.8	4.5	8.7	20.1
寡婦	37	5.4	2.7	2.7	2.7	8.1	0.0	10.8	8.1	5.4	0.0	5.4	0.0	2.7	2.7	0.0	2.7	40.5

【参考】前回調査結果（平成25年度）

母子(H25)	1,236	1.0	4.1	10.2	12.0	11.7	10.5	6.4	5.5	3.6	3.0	2.8	1.5	1.7	0.4	0.2	0.8	24.6
父子(H25)	284	0.4	1.8	3.2	2.8	2.8	6.7	4.2	4.2	8.1	3.5	8.8	5.3	2.5	1.8	3.9	5.3	34.9
寡婦(H25)	52	1.9	0.0	0.0	3.8	1.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	1.9	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	55.8



(9) 勤務状況

①勤務時間

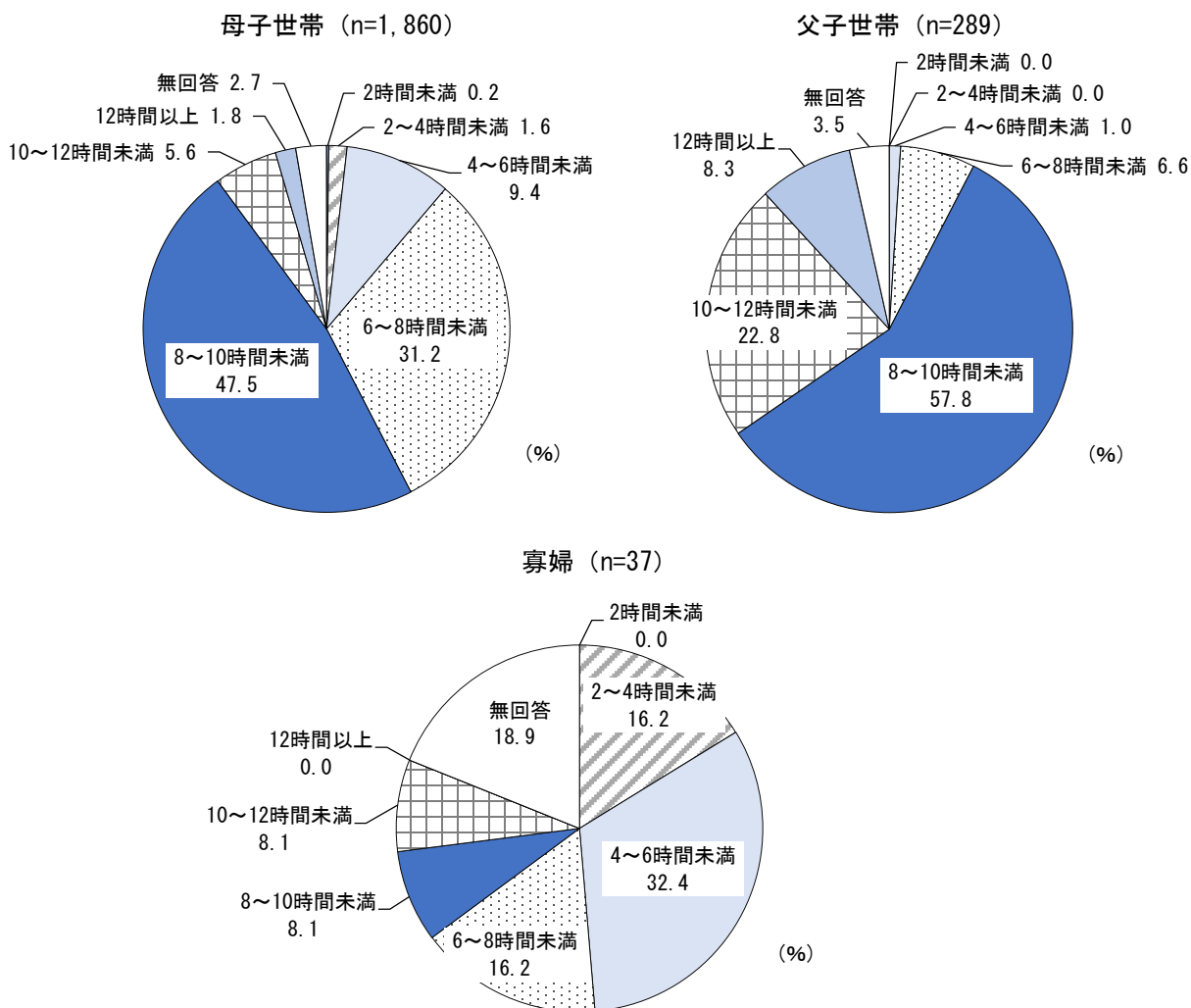
1日あたりの勤務時間は、母子世帯・父子世帯ともに「8～10 時間未満」が最も高く、母子世帯で47.5%、父子世帯で57.8%となっている。

また、勤務時間の平均でみると、母子世帯は7.5時間、父子世帯は9.1時間、寡婦は5.6時間となっている。

	調査数 (人)	2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～8時間未満	8～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	無回答	平均 (時間)
母子世帯	1,860	0.2	1.6	9.4	31.2	47.5	5.6	1.8	2.7	7.5
父子世帯	289	0.0	0.0	1.0	6.6	57.8	22.8	8.3	3.5	9.1
寡婦	37	0.0	16.2	32.4	16.2	8.1	8.1	0.0	18.9	5.6

【参考】前回調査結果 (平成25年度)

母子 (H25)	1,236	0.2	2.5	14.4	31.7	40.6	6.1	1.6	2.8
父子 (H25)	284	0.0	0.7	3.2	8.5	50.0	23.2	11.6	2.8
寡婦 (H25)	52	5.8	5.8	17.3	19.2	23.1	7.7	5.8	15.4



【現在の就業形態別 1日あたりの勤務時間】

(%)

	調査数 (人)	2 時間 未 満	2 ～ 4 時間 未 満	4 ～ 6 時間 未 満	6 ～ 8 時間 未 満	満 8 ～ 1 0 時間 未 満	未 満 1 ～ 2 時間	1 2 時間 以上	無 回 答
母子全体	1,860	0.2	1.6	9.4	31.2	47.5	5.6	1.8	2.7
自営業主(雇人あり)	38	0.0	2.6	7.9	26.3	39.5	10.5	10.5	2.6
自営業主(雇人なし)	55	1.8	5.5	18.2	30.9	23.6	7.3	5.5	7.3
家族従業者	17	0.0	0.0	17.6	29.4	29.4	23.5	0.0	0.0
正社員・正職員	784	0.0	0.1	0.9	14.8	71.0	9.6	2.6	1.0
準社員・臨時社員・派遣社員	252	0.0	0.0	2.0	42.1	50.8	3.6	0.4	1.2
パート・アルバイト	677	0.3	3.4	21.3	48.0	23.9	1.0	0.7	1.3
内職・在宅就労	6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0
その他	7	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3
無回答	24	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	91.7

	調査数 (人)	2 時間 未 満	2 ～ 4 時間 未 満	4 ～ 6 時間 未 満	6 ～ 8 時間 未 満	満 8 ～ 1 0 時間 未 満	未 満 1 ～ 2 時間	1 2 時間 以上	無 回 答
父子全体	289	0.0	0.0	1.0	6.6	57.8	22.8	8.3	3.5
自営業主(雇人あり)	17	0.0	0.0	0.0	5.9	52.9	11.8	23.5	5.9
自営業主(雇人なし)	28	0.0	0.0	0.0	17.9	46.4	17.9	3.6	14.3
家族従業者	7	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6	28.6	0.0
正社員・正職員	217	0.0	0.0	0.5	4.6	60.4	25.3	7.8	1.4
準社員・臨時社員・派遣社員	8	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	7	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0
内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7

	調査数 (人)	2 時間 未 満	2 ～ 4 時間 未 満	4 ～ 6 時間 未 満	6 ～ 8 時間 未 満	満 8 ～ 1 0 時間 未 満	未 満 1 ～ 2 時間	1 2 時間 以上	無 回 答
寡婦全体	37	0.0	16.2	32.4	16.2	8.1	8.1	0.0	18.9
自営業主(雇人あり)	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
自営業主(雇人なし)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
家族従業者	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
正社員・正職員	5	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0
準社員・臨時社員・派遣社員	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
パート・アルバイト	22	0.0	27.3	36.4	22.7	4.5	0.0	0.0	9.1
内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

②勤務日数

1週間あたりの勤務日数は、いずれも「5日」が最も高く、母子世帯で68.9%、父子世帯で61.6%、寡婦で29.7%となっている。

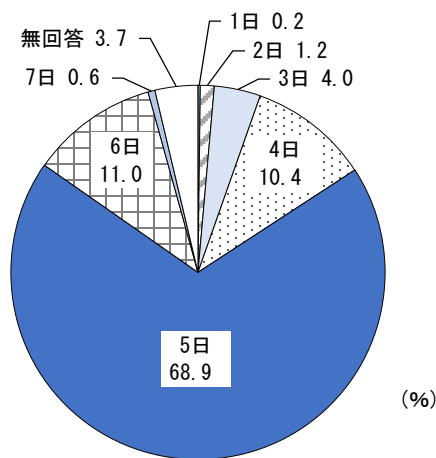
また、勤務日数の平均でみると、母子世帯は4.9日、父子世帯は5.3日、寡婦は3.8日となっている。

		(%)								平均 (日)
	調査数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
母子世帯	1,860	0.2	1.2	4.0	10.4	68.9	11.0	0.6	3.7	4.9
父子世帯	289	0.0	0.3	1.0	1.7	61.6	28.0	1.7	5.5	5.3
寡婦	37	10.8	2.7	18.9	16.2	29.7	5.4	0.0	16.2	3.8

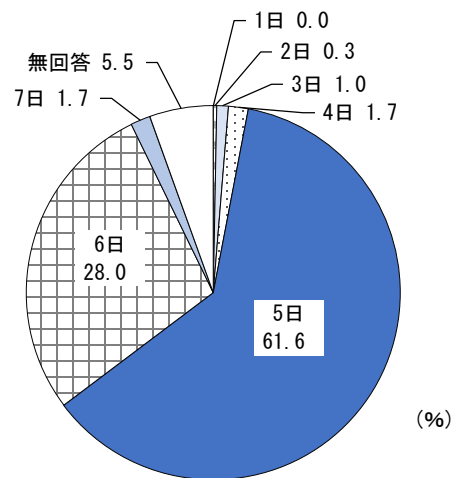
【参考】前回調査結果（平成25年度）

母子(H25)	1,236	0.3	0.9	3.3	9.5	62.6	18.5	1.7	3.2
父子(H25)	284	1.1	1.1	1.8	4.9	50.4	34.2	4.2	2.5
寡婦(H25)	52	0.0	5.8	3.8	7.7	36.5	21.2	0.0	25.0

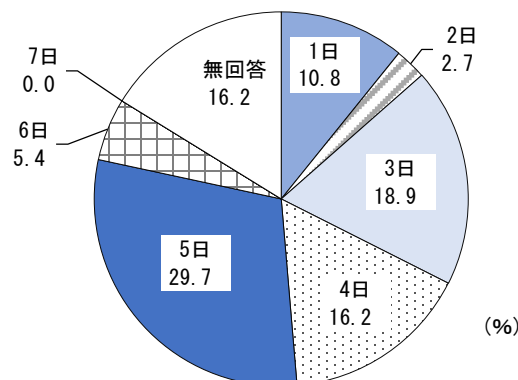
母子世帯 (n=1,860)



父子世帯 (n=289)



寡婦 (n=37)



【現在の就業形態別 1週間あたりの勤務日数】

(%)

【母子世帯】		調査数 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
現在の 就業 形態	母子全体	1,860	0.2	1.2	4.0	10.4	68.9	11.0	0.6	3.7
	自営業主（雇人あり）	38	0.0	0.0	2.6	10.5	39.5	42.1	5.3	0.0
	自営業主（雇人なし）	55	0.0	1.8	5.5	9.1	40.0	29.1	5.5	9.1
	家族従業者	17	0.0	5.9	0.0	0.0	29.4	47.1	5.9	11.8
	正社員・正職員	784	0.0	0.3	0.3	1.9	84.8	11.0	0.1	1.7
	準社員・臨時社員・派遣社員	252	0.0	1.6	1.2	9.5	80.6	5.2	0.0	2.0
	パート・アルバイト	677	0.6	1.8	9.6	21.6	54.2	9.3	0.3	2.7
	内職・在宅就労	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0
	その他	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	14.3	14.3
	無回答	24	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	91.7

【父子世帯】		調査数 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
現在の 就業 形態	父子全体	289	0.0	0.3	1.0	1.7	61.6	28.0	1.7	5.5
	自営業主（雇人あり）	17	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	64.7	5.9	5.9
	自営業主（雇人なし）	28	0.0	0.0	7.1	0.0	25.0	42.9	7.1	17.9
	家族従業者	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3
	正社員・正職員	217	0.0	0.0	0.5	0.9	72.8	22.6	0.0	3.2
	準社員・臨時社員・派遣社員	8	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	50.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	7	0.0	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
	内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7

【寡婦】		調査数 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
現在の 就業 形態	寡婦全体	37	10.8	2.7	18.9	16.2	29.7	5.4	0.0	16.2
	自営業主（雇人あり）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	自営業主（雇人なし）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	家族従業者	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	正社員・正職員	5	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	準社員・臨時社員・派遣社員	4	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	22	18.2	4.5	27.3	22.7	18.2	0.0	0.0	9.1
	内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

③通勤時間

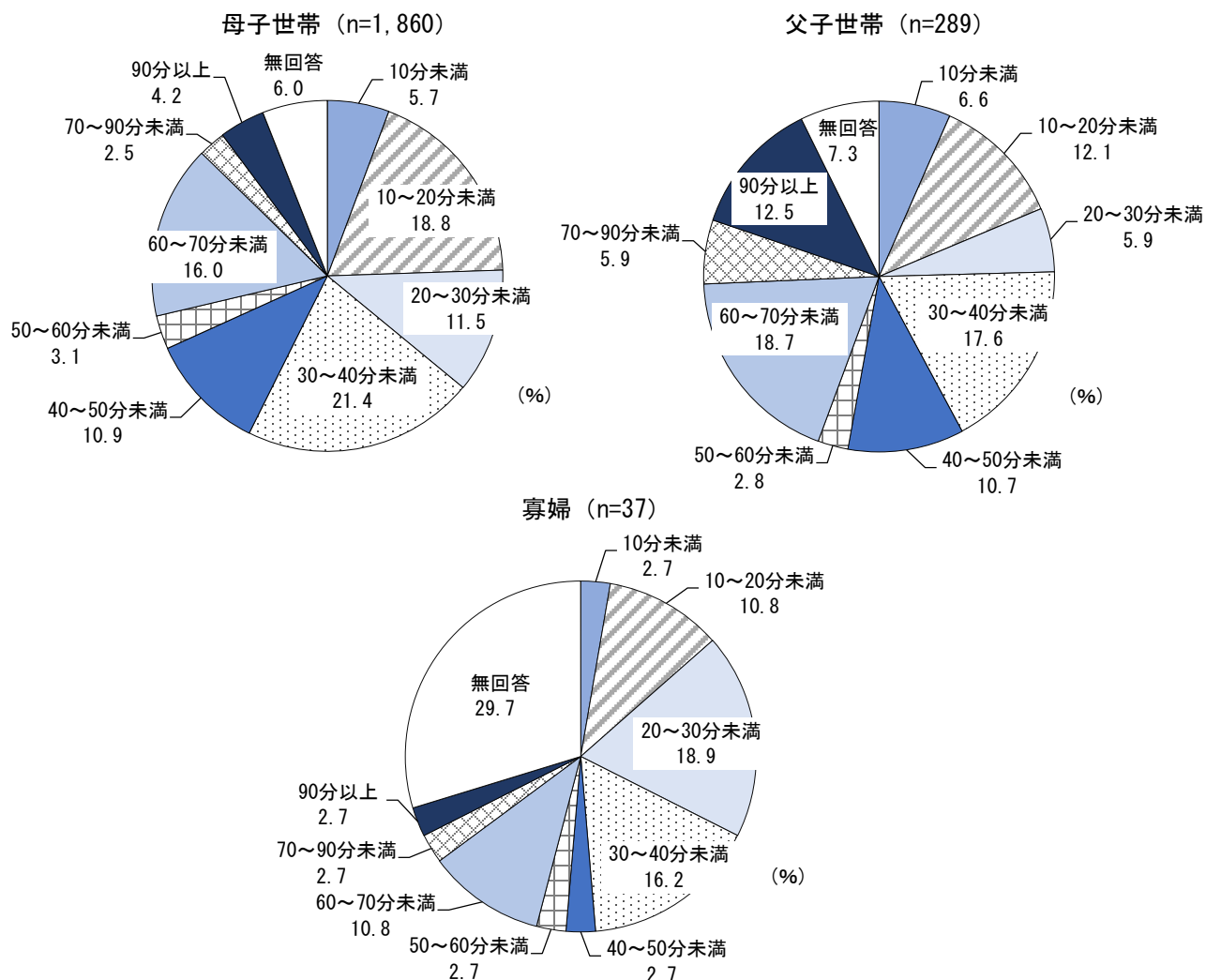
通勤時間は、母子世帯では「30～40分未満」が21.4%、父子世帯では「60～70分未満」が18.7%、寡婦では「20～30分未満」が18.9%と、それぞれ最も高くなっている。

また、通勤時間の平均でみると、母子世帯は35.4分、父子世帯は45.3分、寡婦は34.7分となっている。60分未満が、母子世帯で全体の71.4%、父子世帯で全体の55.7%を占めている。

		(%)											平均(分)
	調査数(人)	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～40分未満	40～50分未満	50～60分未満	60～70分未満	70～80分未満	80～90分未満	90分以上	無回答	
母子世帯	1,860	5.7	18.8	11.5	21.4	10.9	3.1	16.0	2.5	4.2	6.0	35.4	
父子世帯	289	6.6	12.1	5.9	17.6	10.7	2.8	18.7	5.9	12.5	7.3	45.3	
寡婦	37	2.7	10.8	18.9	16.2	2.7	2.7	10.8	2.7	2.7	29.7	34.7	

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,236	5.3	20.4	11.7	20.8	12.5	3.5	14.8	2.3	2.9	5.9
父子(H25)	284	4.2	13.7	7.0	15.1	9.5	4.2	25.0	4.6	9.9	6.7
寡婦(H25)	52	5.8	17.3	9.6	13.5	5.8	3.8	7.7	1.9	5.8	28.8



(10) 通勤費の支給状況

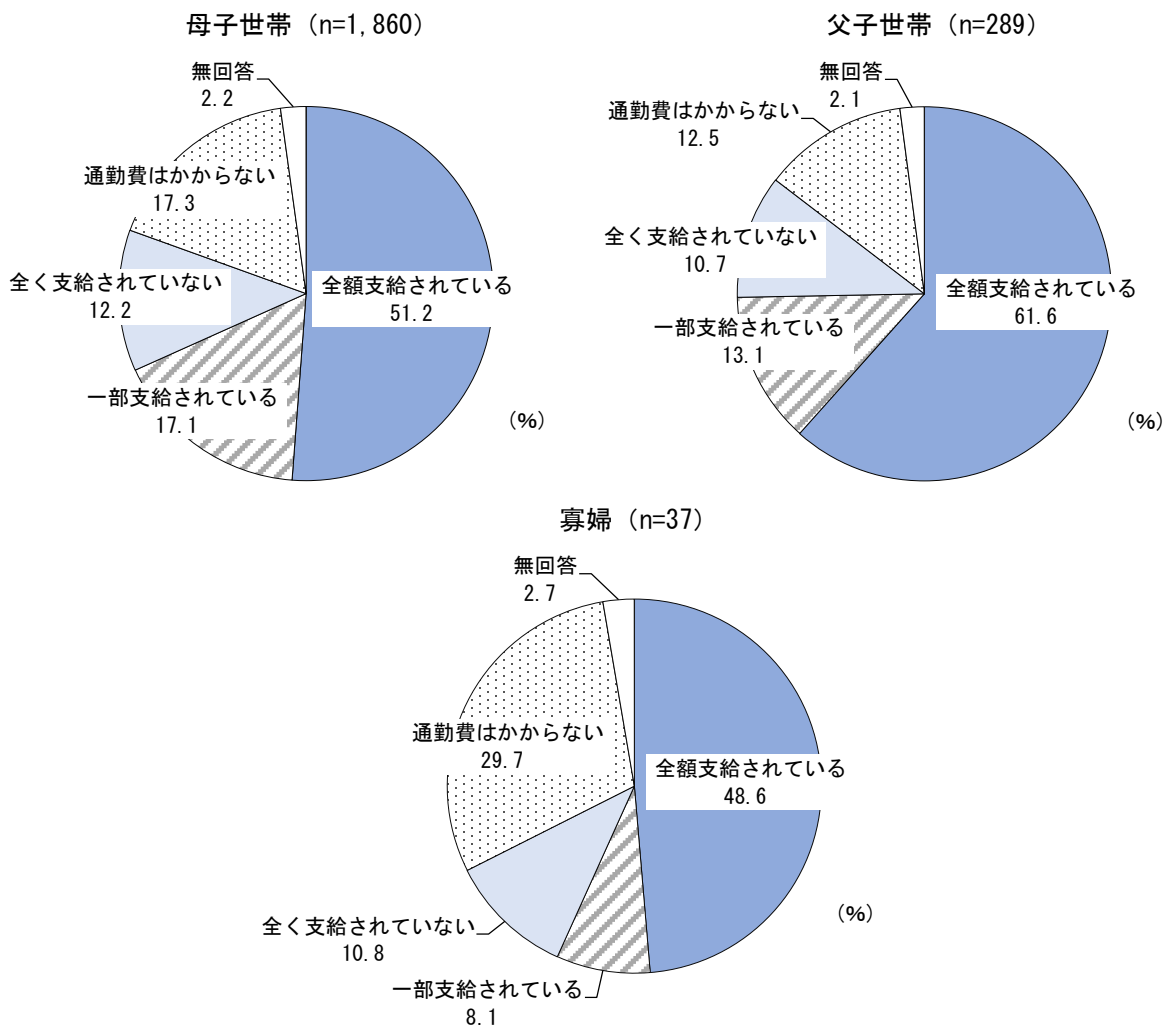
通勤にかかる費用の支給状況は、「全額支給されている」は、母子世帯で51.2%、父子世帯で61.6%、寡婦で48.6%となっている。一方、「全く支給されていない」はいずれも1割台となっている。

また、一部支給の場合の平均額をみると、母子世帯は7,545円、父子世帯は11,454円、寡婦は8,600円となっている。

	調査数（人）	（%）					一部支給の場合の月額	
		全額支給されている	一部支給されている	全く支給されていない	通勤費はかからない	無回答	調査数（人）	平均（円）
母子世帯	1,860	51.2	17.1	12.2	17.3	2.2	251	7,545
父子世帯	289	61.6	13.1	10.7	12.5	2.1	32	11,454
寡婦	37	48.6	8.1	10.8	29.7	2.7	1	8,600

【参考】前回調査結果（平成25年度）

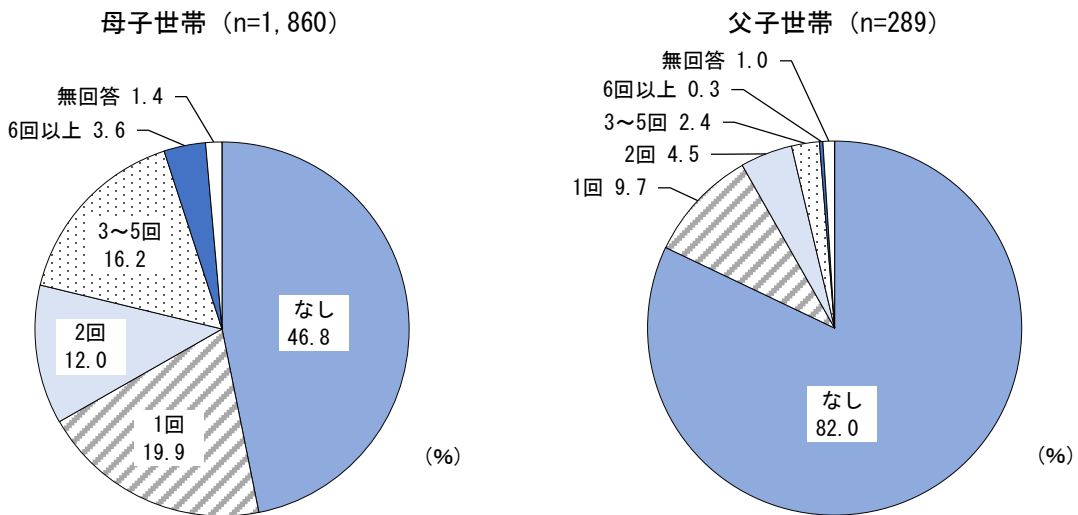
母子(H25)	1,236	48.2	15.1	13.6	20.6	2.5
父子(H25)	284	52.1	14.1	18.0	11.3	4.6
寡婦(H25)	52	34.6	7.7	11.5	32.7	13.5



(11) ひとり親家庭になってからの転職回数

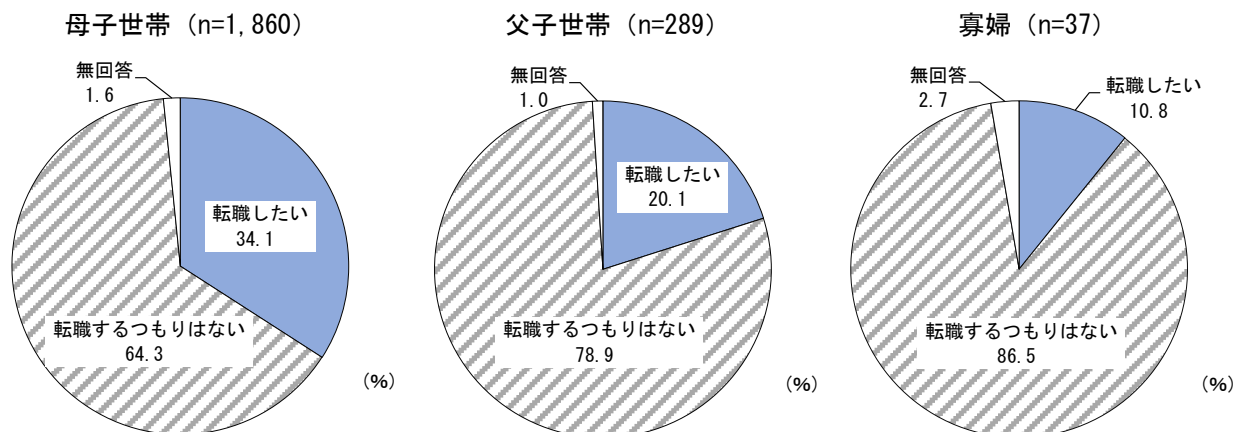
ひとり親家庭になってから転職したことがある人の割合は、父子世帯で 17.0%に対し、母子世帯では 51.8%となっている。転職回数は、ともに「1回」が最も高くなっている。

		(%)						
	調査数 (人)	なし	1回	2回	3 ～ 5回	6 回 以上	無 回 答	
母子世帯	1,860	46.8	19.9	12.0	16.2	3.6	1.4	
父子世帯	289	82.0	9.7	4.5	2.4	0.3	1.0	
【参考】 前回調査結果 (平成25年度)								
母子 (H25)	1,236	36.9	18.2	14.8	23.4	5.2	1.5	
父子 (H25)	284	56.7	18.7	10.2	8.5	4.6	1.4	



(12) 転職の希望

現在の仕事について、転職の希望がある人の割合(「転職したい」)は、母子世帯で 34.1%、父子世帯で 20.1%、寡婦で 10.8%となっている。



【現在の就業形態別 転職の希望】

(%)

【母子世帯】		調査数 (人)	転職 したい	な い 転 職 す る つ も り は	無 回 答
現在の 就業 形態	母子全体	1,860	34.1	64.3	1.6
	自営業主(雇人あり)	38	7.9	92.1	0.0
	自営業主(雇人なし)	55	14.5	85.5	0.0
	家族従業者	17	17.6	76.5	5.9
	正社員・正職員	784	27.8	71.8	0.4
	準社員・臨時社員・派遣社員	252	44.0	55.6	0.4
	パート・アルバイト	677	42.5	56.9	0.6
	内職・在宅就労	6	33.3	66.7	0.0
	その他	7	0.0	100.0	0.0
	無回答	24	4.2	8.3	87.5

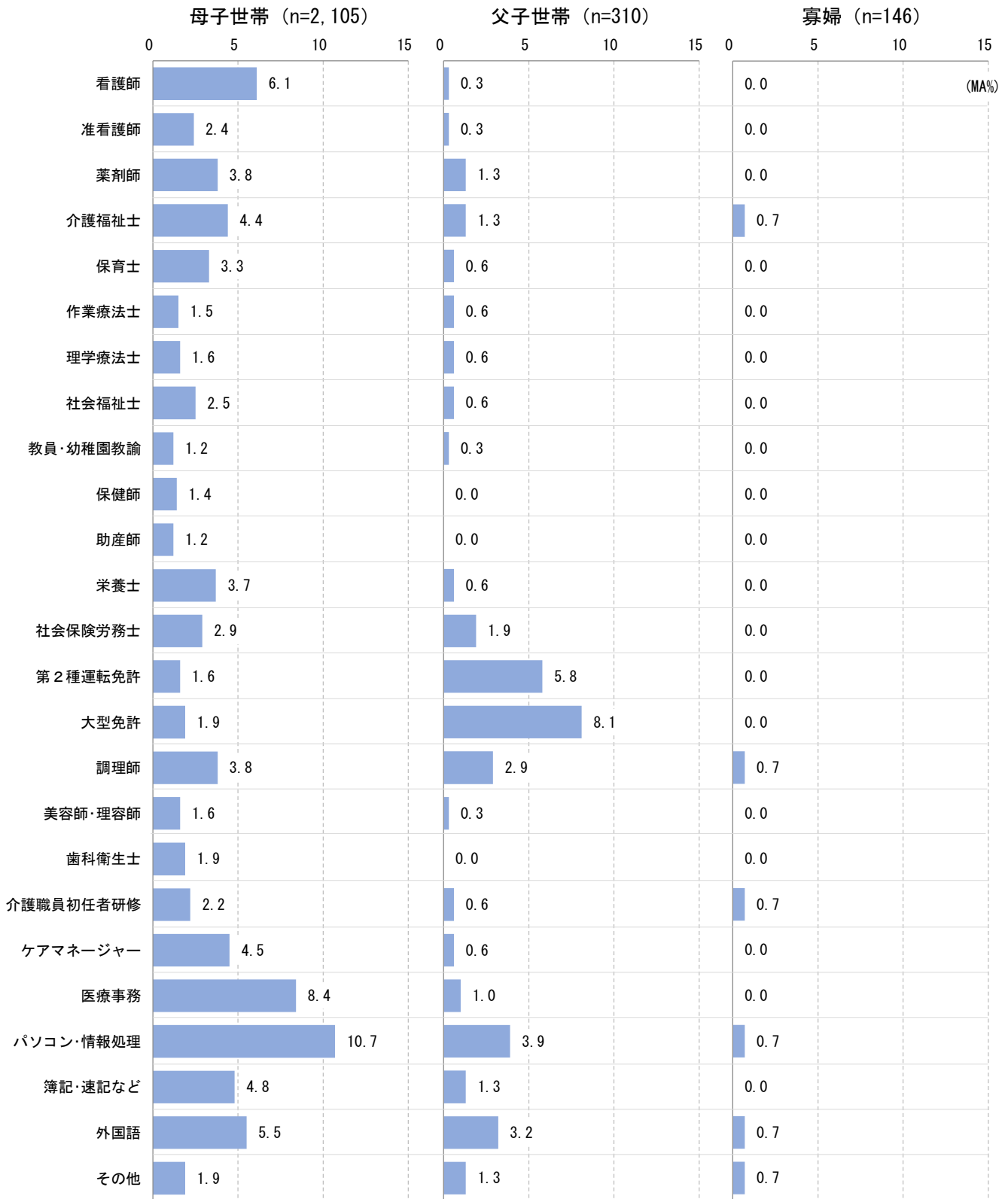
【父子世帯】		調査数 (人)	転職 したい	な い 転 職 す る つ も り は	無 回 答
現在の 就業 形態	父子全体	289	20.1	78.9	1.0
	自営業主(雇人あり)	17	11.8	88.2	0.0
	自営業主(雇人なし)	28	7.1	92.9	0.0
	家族従業者	7	0.0	100.0	0.0
	正社員・正職員	217	21.7	77.9	0.5
	準社員・臨時社員・派遣社員	8	25.0	75.0	0.0
	パート・アルバイト	7	42.9	57.1	0.0
	内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	50.0	50.0	0.0
	無回答	3	33.3	0.0	66.7

【寡婦】		調査数 (人)	転職 したい	な い 転 職 す る つ も り は	無 回 答
現在の 就業 形態	寡婦全体	37	10.8	86.5	2.7
	自営業主(雇人あり)	2	0.0	100.0	0.0
	自営業主(雇人なし)	2	0.0	100.0	0.0
	家族従業者	1	0.0	100.0	0.0
	正社員・正職員	5	20.0	80.0	0.0
	準社員・臨時社員・派遣社員	4	0.0	100.0	0.0
	パート・アルバイト	22	13.6	86.4	0.0
	内職・在宅就労	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	100.0

(13) 資格・技術の習得状況

①習得したい資格・技術 [複数回答]

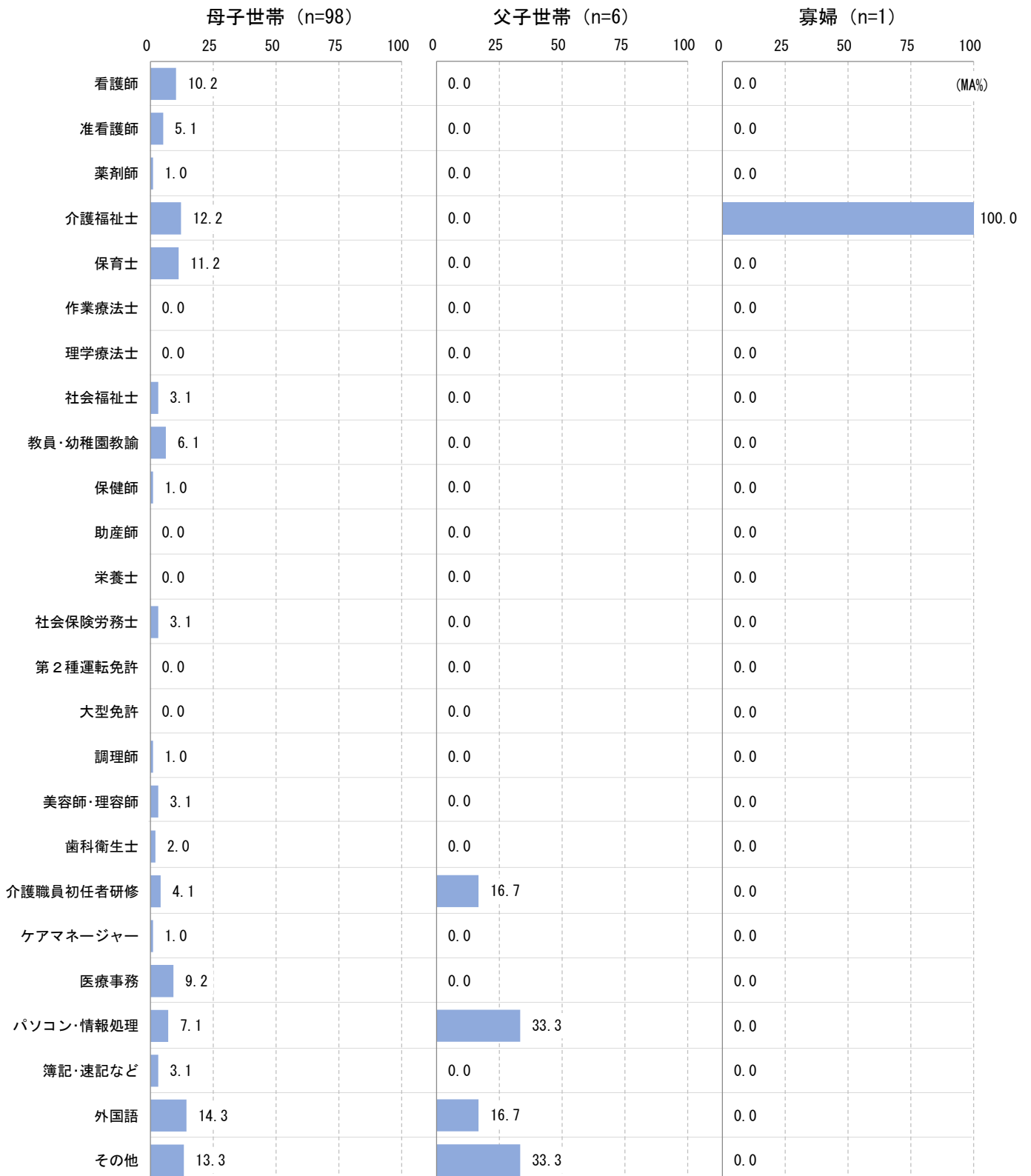
習得したい資格や技術は、母子世帯では「パソコン・情報処理」(10.7%)、「医療事務」(8.4%)、「看護師」(6.1%)が高くなっている。これに対し、父子世帯では「大型免許」(8.1%)、「第2種運転免許」(5.8%)、「パソコン・情報処理」(3.9%)が高い。



②習得中の資格・技術 [複数回答]

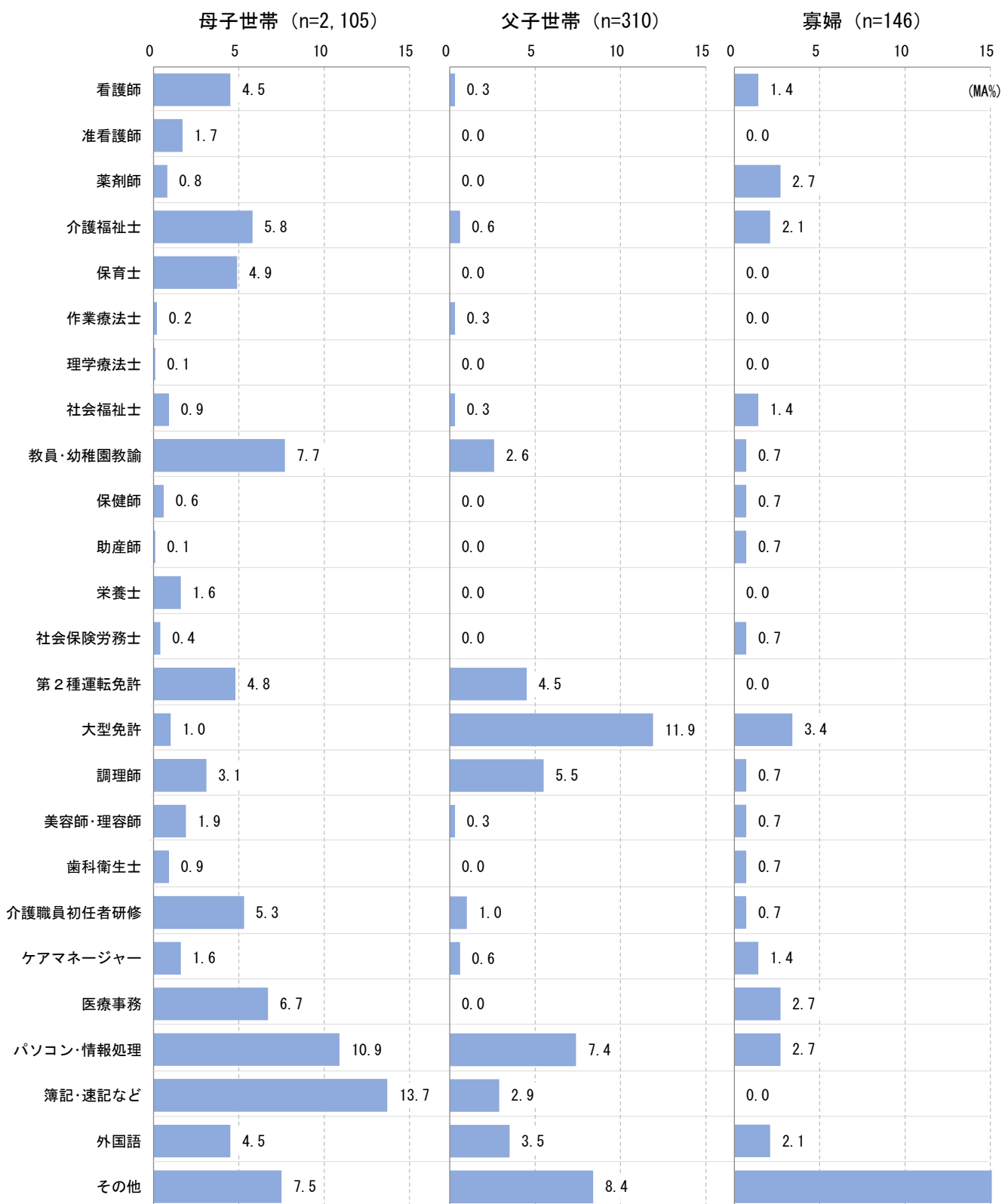
※ここでは、いずれかの資格・技術を習得中と回答した人を母数 (n 数) としている。

いずれかの資格や技術を習得中と回答した人のうち、母子世帯では「外国語」が 14.3%、「介護福祉士」が 12.2%、「保育士」が 11.2%、「看護師」が 10.2%と高くなっている。



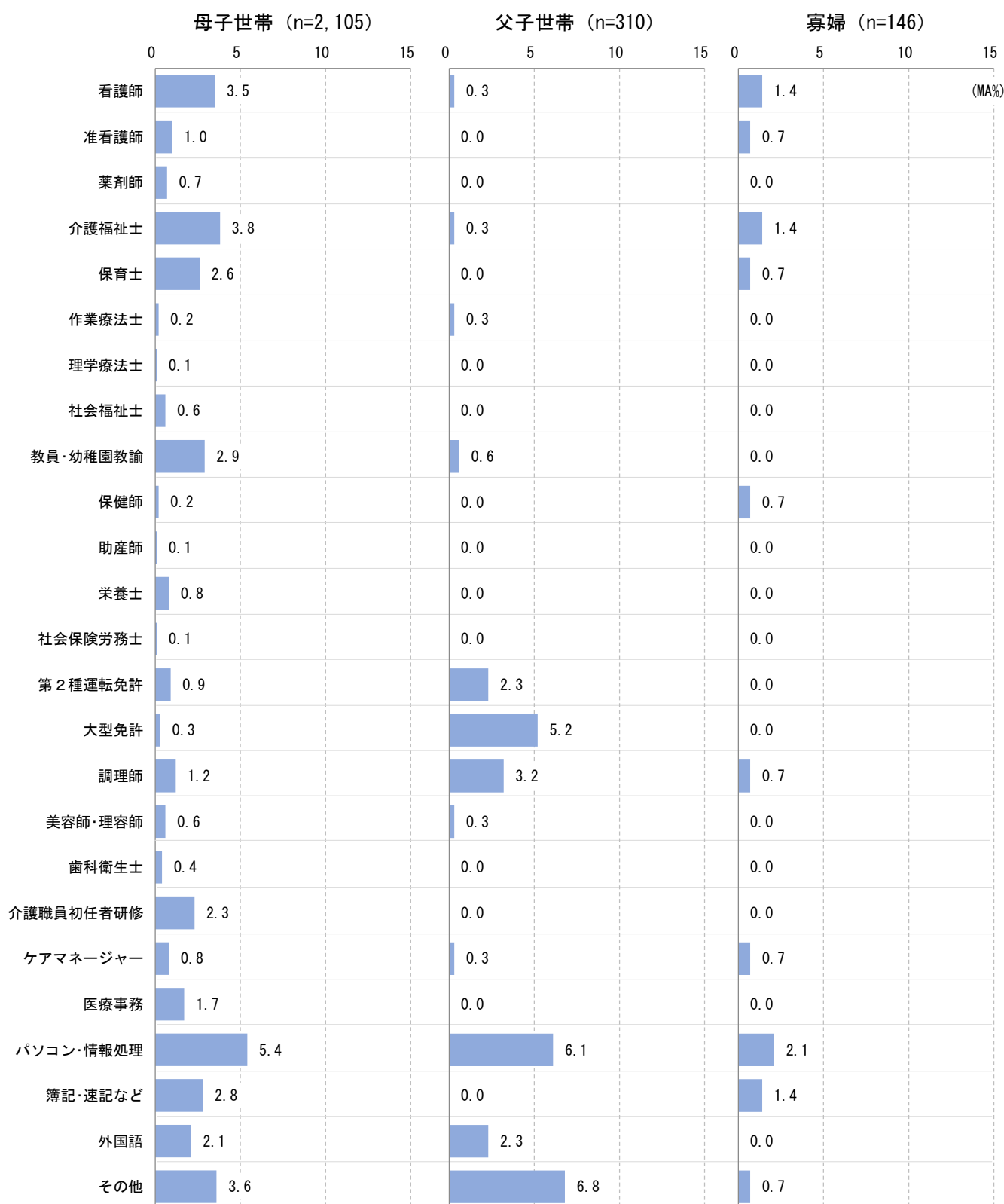
③現在持っている資格・技術 [複数回答]

現在持っている資格や技術は、母子世帯では「簿記・速記など」(13.7%)、「パソコン・情報処理」(10.9%)、「教員・幼稚園教諭」(7.7%)、「医療事務」(6.7%)が高くなっている。これに対し、父子世帯では「大型免許」(11.9%)、「パソコン・情報処理」(7.4%)、「調理師」(5.5%)が高い。



④仕事に役立っている資格・技術 [複数回答]

現在持っている資格や技術のうち、仕事に役立っているものは、いずれも「パソコン・情報処理」(母子世帯5.4%、父子世帯6.1%、寡婦2.1%)が最も高くなっており、これに続くのが、母子世帯では「介護福祉士」で3.8%、父子世帯では「大型免許」で5.2%となっている。



(14) 就業していない理由 <無職の方> [複数回答]

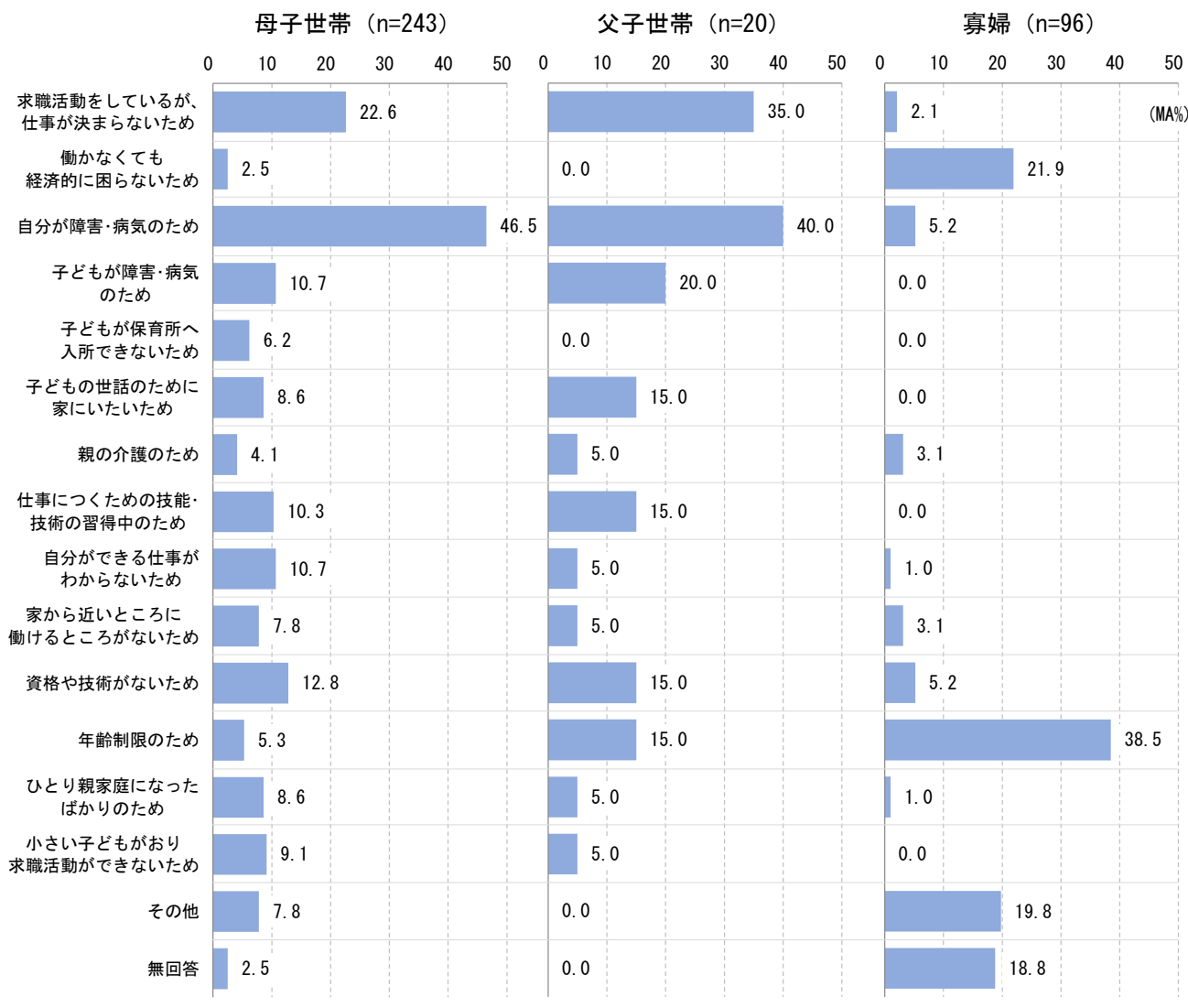
現在無職と回答した人の就業していない理由は、母子世帯・父子世帯ともに「自分が障害・病気のため」(母子世帯 46.5%、父子世帯 40.0%) が4割台と最も高く、次いで「求職活動をしているが、仕事が決まらないため」(母子世帯 22.6%、父子世帯 35.0%) が2～3割台となっている。

(MA%)

	調査数(人)	求職活動をしているが、仕事が決まらないため	働かなくても経済的に困らないため	自分が障害・病気のため	子どもが障害・病気のため	子どもが保育所へ入所できないため	子どもの世話のために家にいたいため	親の介護のため	仕事につくための技能・技術の習得中のため	自分ができる仕事が見つからないため	家から近いところに働ける場所がないため	資格や技術がないため	年齢制限のため	ひとり親家庭になったばかりのため	小さい子どもがおり求職活動ができないため	その他	無回答
母子世帯	243	22.6	2.5	46.5	10.7	6.2	8.6	4.1	10.3	10.7	7.8	12.8	5.3	8.6	9.1	7.8	2.5
父子世帯	20	35.0	0.0	40.0	20.0	0.0	15.0	5.0	15.0	5.0	5.0	15.0	15.0	5.0	5.0	0.0	0.0
寡婦	96	2.1	21.9	5.2	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	1.0	3.1	5.2	38.5	1.0	0.0	19.8	18.8

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子(H25)	223	32.7	2.2	46.2	8.1	4.0	10.8	1.8	9.9	12.1	16.1	13.0	11.2	6.3	9.0	7.6	1.8
父子(H25)	25	40.0	0.0	32.0	8.0	0.0	20.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	24.0	8.0	4.0	20.0	16.0
寡婦(H25)	108	4.6	25.9	5.6	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.9	0.9	3.7	30.6	0.0	0.0	24.1	18.5



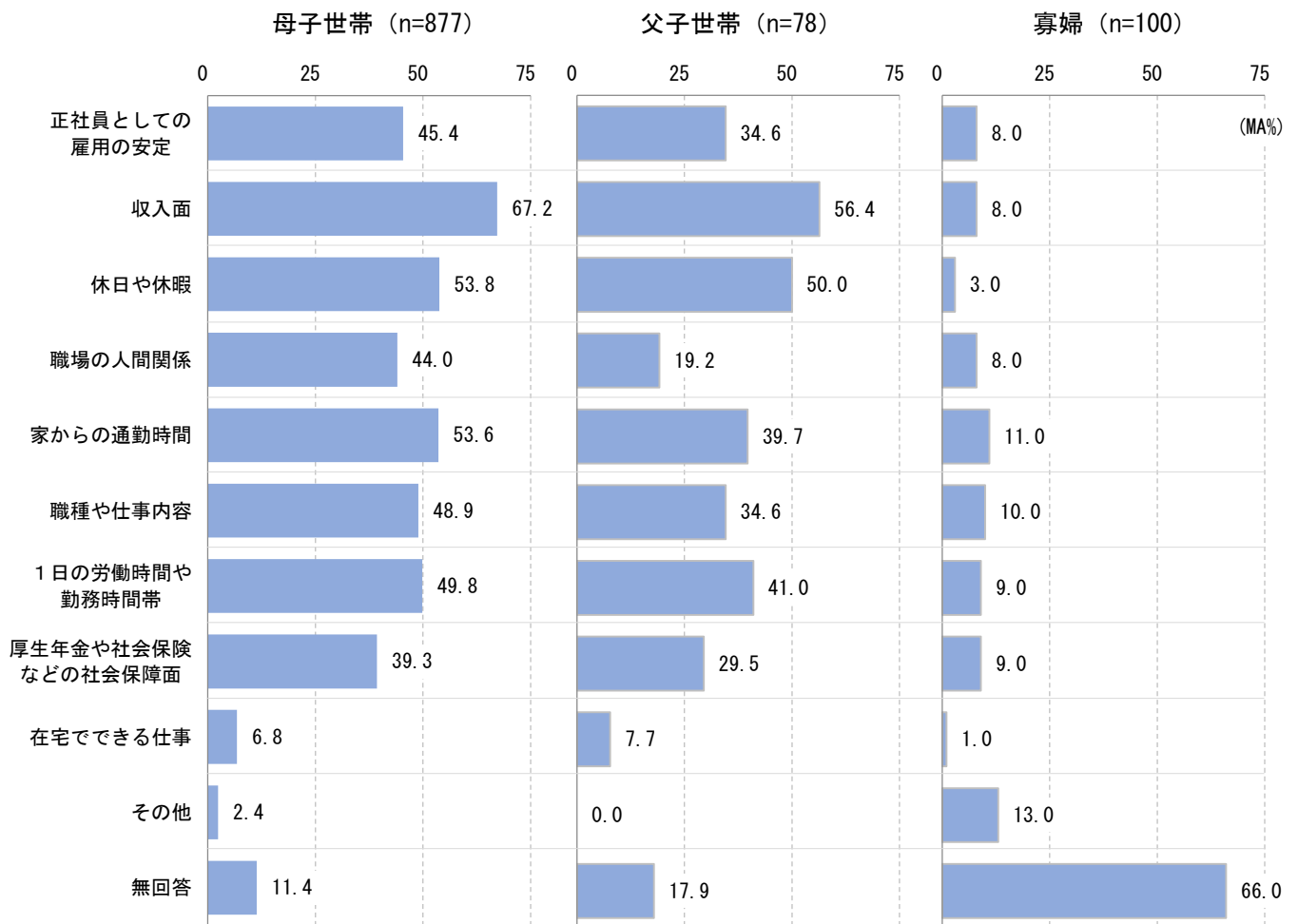
(15) 仕事を探す上で重視する条件 <転職希望者及び無職の方> [複数回答]

現在転職希望がある、または無職と回答した人の仕事を探す上で重視する条件は、母子世帯・父子世帯ともに「収入面」(母子世帯 67.2%、父子世帯 56.4%) が最も高く、次いで「休日や休暇」(母子世帯 53.8%、父子世帯 50.0%) となっている。

	調査数(人)	正社員としての雇用	収入面	休日や休暇	職場の人間関係	家からの通勤時間	職種や仕事内容	1日の労働時間や勤務時間帯	厚生年金や社会保険などの社会保障面	在宅でできる仕事	その他	無回答
母子世帯	877	45.4	67.2	53.8	44.0	53.6	48.9	49.8	39.3	6.8	2.4	11.4
父子世帯	78	34.6	56.4	50.0	19.2	39.7	34.6	41.0	29.5	7.7	0.0	17.9
寡婦	100	8.0	8.0	3.0	8.0	11.0	10.0	9.0	9.0	1.0	13.0	66.0

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子(H25)	223	25.6	56.5	52.0	31.4	47.5	45.7	54.3	26.9	10.8	4.0	9.9
父子(H25)	25	44.0	40.0	32.0	40.0	44.0	52.0	44.0	32.0	12.0	8.0	12.0
寡婦(H25)	108	8.3	7.4	5.6	7.4	10.2	6.5	9.3	11.1	2.8	7.4	70.4



3. 生活について

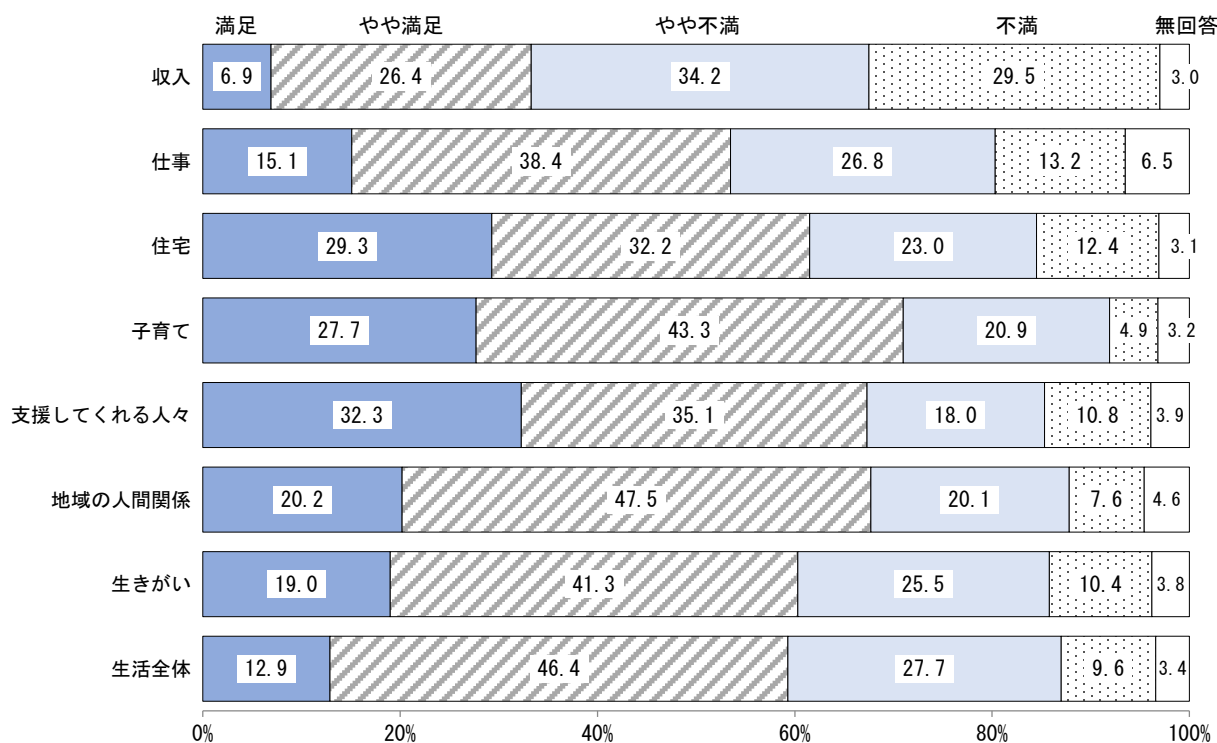
(1) 生活の満足度

母子世帯 (n=2,105)

母子世帯における生活の満足度として8項目についてたずねたところ、満足している割合（「満足」「やや満足」の計）が、『子育て』で71.0%と最も高く、次いで『地域の人間関係』で67.7%、『支援してくれる人々』で67.4%となっている。

一方、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）は、『収入』で63.7%と最も高く、次いで『仕事』で40.0%となっている。

	母 調 子 査 世 帯 数 (人) ▽	満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満	無 回 答	【参考】 前回調査結果 (平成25年度) (%)					
							母 調 子 査 世 帯 数 (人) ▽	満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満	無 回 答
収入	2,105	6.9	26.4	34.2	29.5	3.0	1,476	5.3	21.7	34.0	34.9	4.1
仕事	2,105	15.1	38.4	26.8	13.2	6.5	1,476	13.4	33.9	26.9	15.9	9.9
住宅	2,105	29.3	32.2	23.0	12.4	3.1	1,476	25.9	33.5	21.3	14.6	4.7
子育て	2,105	27.7	43.3	20.9	4.9	3.2	1,476	25.6	40.9	21.8	6.4	5.2
支援してくれる人々	2,105	32.3	35.1	18.0	10.8	3.9	1,476	32.0	33.3	15.4	12.8	6.4
地域の人間関係	2,105	20.2	47.5	20.1	7.6	4.6	1,476	21.1	44.1	18.8	9.1	6.8
生きがい	2,105	19.0	41.3	25.5	10.4	3.8	1,476	17.1	40.3	25.1	12.5	5.0
生活全体	2,105	12.9	46.4	27.7	9.6	3.4	1,476	11.7	42.7	28.1	13.1	4.3

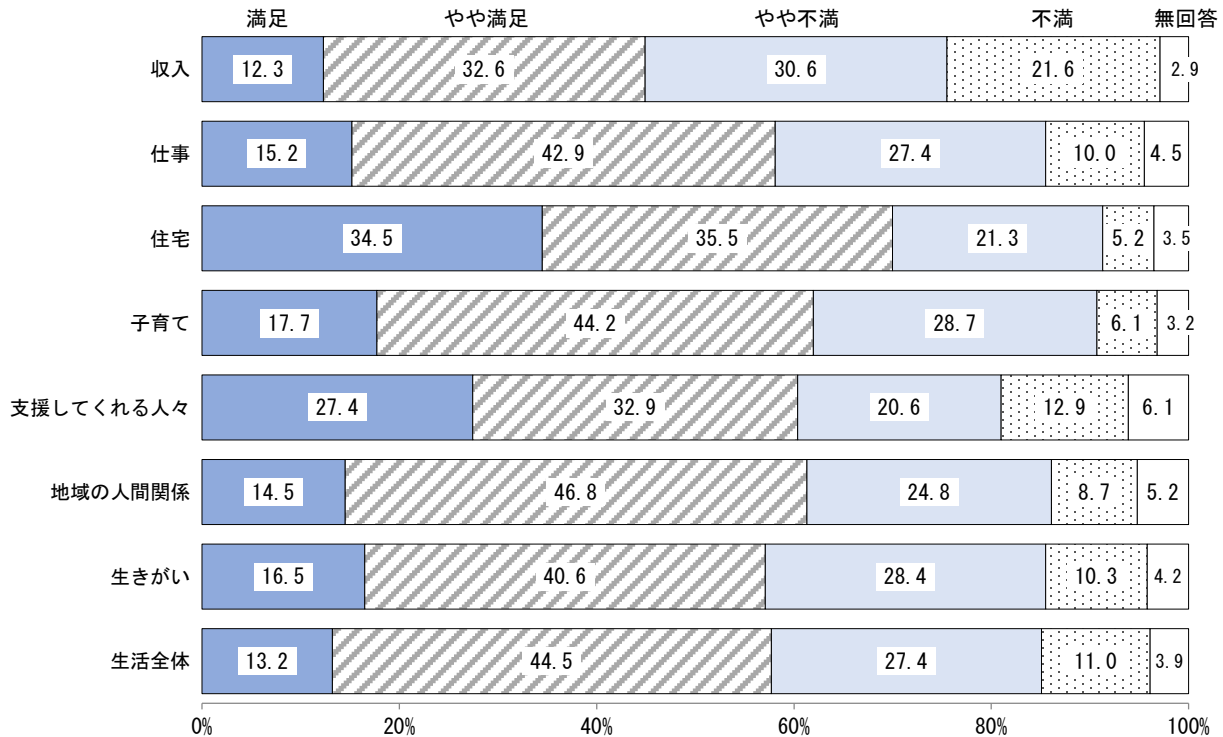


父子世帯 (n=310)

父子世帯における生活の満足度として8項目についてたずねたところ、満足している割合（「満足」「やや満足」の計）が、『住宅』で70.0%と最も高く、次いで『子育て』で61.9%、『地域の人間関係』で61.3%となっている。

一方、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）は、『収入』で52.2%と最も高く、次いで『生きがい』で38.7%、『生活全体』で38.4%となっている。

	父子世帯数(人)	満足度					無回答	【参考】前回調査結果(平成25年度) (%)					
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
収入	310	12.3	32.6	30.6	21.6	2.9	312	9.0	20.2	28.8	37.8	4.2	
仕事	310	15.2	42.9	27.4	10.0	4.5	312	14.1	33.0	25.6	20.5	6.7	
住宅	310	34.5	35.5	21.3	5.2	3.5	312	25.3	34.0	22.4	11.9	6.4	
子育て	310	17.7	44.2	28.7	6.1	3.2	312	15.4	38.5	32.1	7.7	6.4	
支援してくれる人々	310	27.4	32.9	20.6	12.9	6.1	312	24.4	32.4	20.2	13.8	9.3	
地域の人間関係	310	14.5	46.8	24.8	8.7	5.2	312	14.4	44.6	22.4	12.2	6.4	
生きがい	310	16.5	40.6	28.4	10.3	4.2	312	12.5	35.9	28.8	16.0	6.7	
生活全体	310	13.2	44.5	27.4	11.0	3.9	312	8.0	36.2	32.4	17.0	6.4	

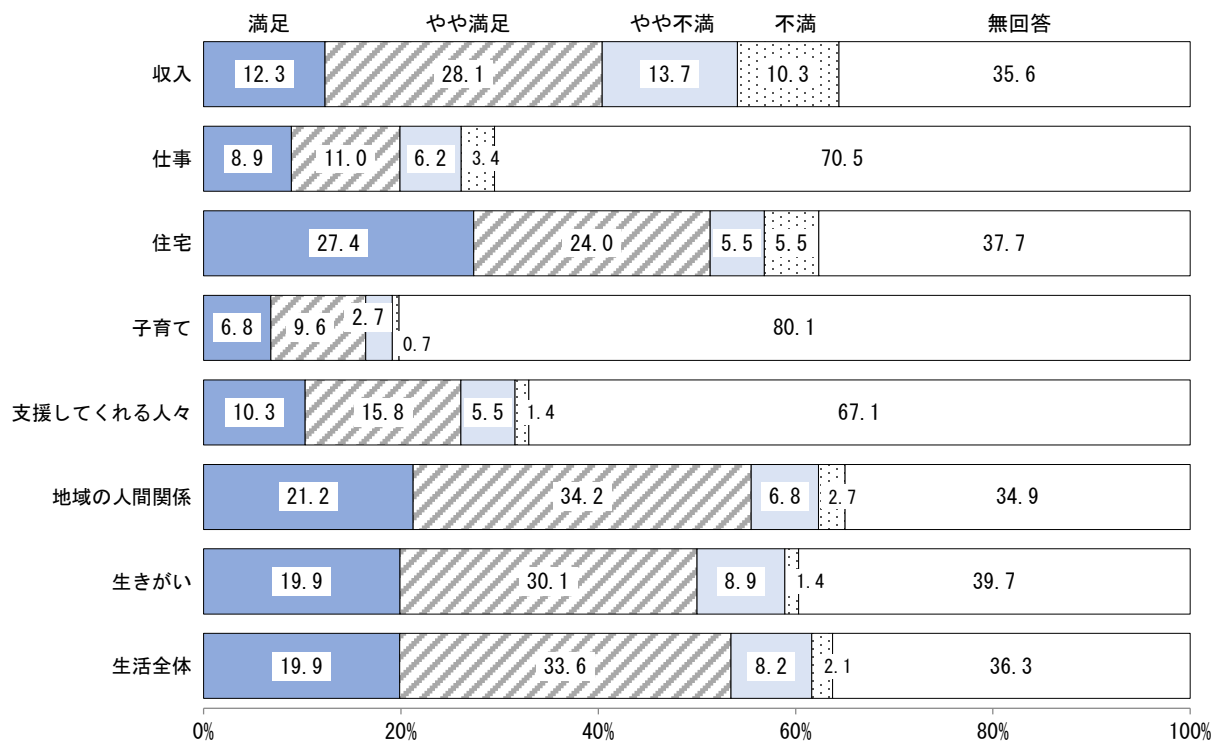


寡婦 (n=146)

寡婦における生活の満足度として8項目についてたずねたところ、満足している割合(「満足」「やや満足」の計)が、『地域の人間関係』で55.4%と最も高く、次いで『生活全体』で53.5%、『住宅』で51.4%となっている。

一方、不満である割合(「やや不満」「不満」の計)は、『収入』で24.0%と最も高く、次いで『住宅』で11.0%となっている。

	寡婦調査数(人)	満足					無回答	【参考】前回調査結果(平成25年度) (%)				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
収入	146	12.3	28.1	13.7	10.3	35.6	173	16.2	27.7	15.0	16.2	24.9
仕事	146	8.9	11.0	6.2	3.4	70.5	173	11.0	11.6	6.4	3.5	67.6
住宅	146	27.4	24.0	5.5	5.5	37.7	173	36.4	21.4	3.5	5.2	33.5
子育て	146	6.8	9.6	2.7	0.7	80.1	173	14.5	11.0	2.9	1.2	70.5
支援してくれる人々	146	10.3	15.8	5.5	1.4	67.1	173	15.0	22.0	4.0	2.3	56.6
地域の人間関係	146	21.2	34.2	6.8	2.7	34.9	173	30.6	32.4	2.9	1.7	32.4
生きがい	146	19.9	30.1	8.9	1.4	39.7	173	20.2	36.4	6.9	2.9	33.5
生活全体	146	19.9	33.6	8.2	2.1	36.3	173	20.8	41.0	5.2	4.0	28.9



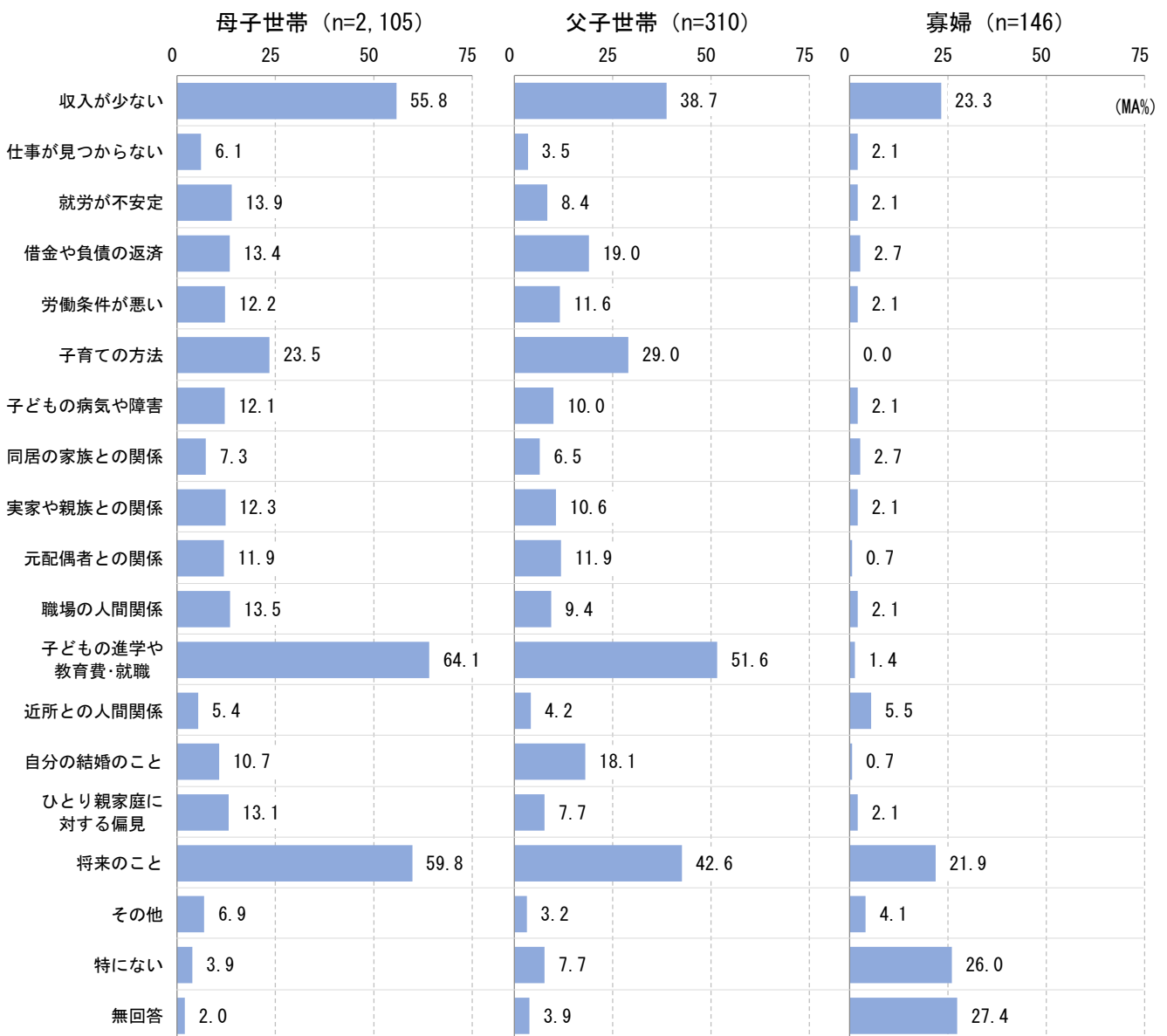
(2) 生活上の不安や悩み [複数回答]

今の生活上の不安や悩みは、母子世帯・父子世帯ともに「子どもの進学や教育費・就職」(母子世帯 64.1%、父子世帯 51.6%) が最も高く、次いで「将来のこと」(母子世帯 59.8%、父子世帯 42.6%)、「収入が少ない」(母子世帯 55.8%、父子世帯 38.7%) となっている。

	調査数(人)	収入が少ない	仕事が見つからない	就労が不安定	借金や負債の返済	労働条件が悪い	子育ての方法	子どもの病気や障害	同居の家族との関係	実家や親族との関係	元配偶者との関係	職場の人間関係	子どもの進学や教育費・就職	近所との人間関係	自分の結婚のこと	ひとり親家庭に対する偏見	将来のこと	その他	特にない	無回答
母子世帯	2,105	55.8	6.1	13.9	13.4	12.2	23.5	12.1	7.3	12.3	11.9	13.5	64.1	5.4	10.7	13.1	59.8	6.9	3.9	2.0
父子世帯	310	38.7	3.5	8.4	19.0	11.6	29.0	10.0	6.5	10.6	11.9	9.4	51.6	4.2	18.1	7.7	42.6	3.2	7.7	3.9
寡婦	146	23.3	2.1	2.1	2.7	2.1	0.0	2.1	2.7	2.1	0.7	2.1	1.4	5.5	0.7	2.1	21.9	4.1	26.0	27.4

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子(H25)	1,476	58.8	10.1	19.0	13.8	12.5	28.4	11.1	6.8	14.0	13.6	13.0	65.0	7.4	—	11.3	38.6	9.1	3.6	3.0
父子(H25)	312	52.9	9.6	16.3	25.3	13.5	35.9	8.3	3.5	9.9	10.6	9.3	51.0	6.1	—	6.4	45.2	2.2	3.2	4.5
寡婦(H25)	173	24.3	2.9	4.0	2.9	2.9	1.7	1.7	1.7	4.6	0.6	1.7	4.6	2.9	—	1.7	4.0	11.6	30.6	23.1



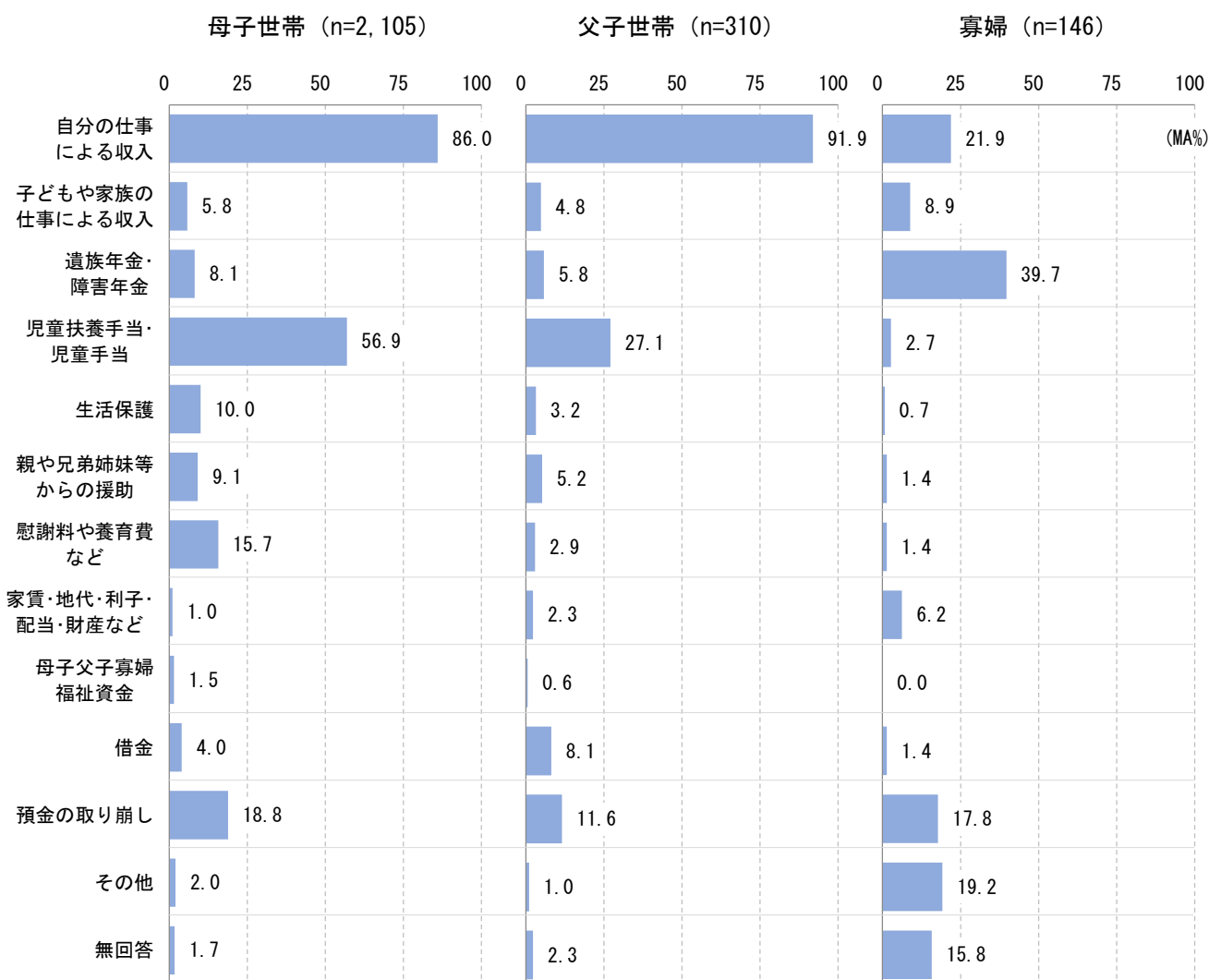
(3) 生活費をまかなう収入源 [複数回答]

世帯の生活費をまかなう収入源は、母子世帯・父子世帯ともに「自分の仕事による収入」(母子世帯 86.0%、父子世帯 91.9%) が最も高く、次いで「児童扶養手当・児童手当」(母子世帯 56.9%、父子世帯 27.1%)、「預金の取り崩し」(母子世帯 18.8%、父子世帯 11.6%) となっている。

	調査数(人)	自分の仕事による収入	子どもや家族の仕事による収入	遺族年金・障害年金	児童扶養手当・児童手当	生活保護	親や兄弟姉妹等からの援助	慰謝料や養育費など	家賃・地代・利子・配当・財産など	母子父子寡婦福祉資金	借金	預金の取り崩し	その他	無回答
母子世帯	2,105	86.0	5.8	8.1	56.9	10.0	9.1	15.7	1.0	1.5	4.0	18.8	2.0	1.7
父子世帯	310	91.9	4.8	5.8	27.1	3.2	5.2	2.9	2.3	0.6	8.1	11.6	1.0	2.3
寡婦	146	21.9	8.9	39.7	2.7	0.7	1.4	1.4	6.2	0.0	1.4	17.8	19.2	15.8

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	81.1	5.9	7.1	58.0	13.7	9.9	13.5	1.4	2.0	3.5	14.2	2.0	1.9
父子(H25)	312	89.4	4.2	2.6	27.6	3.5	8.3	0.3	1.6	2.2	6.7	9.3	1.3	3.5
寡婦(H25)	173	23.1	12.1	45.7	0.6	2.3	1.7	1.7	5.8	0.6	0.6	20.2	16.8	9.2



(4) 1ヵ月に必要な生活費

1ヵ月に必要な生活費は、母子世帯では「20～25万円未満」が29.0%、父子世帯では「30～35万円未満」が25.2%、寡婦では「15～20万円未満」が24.7%と、それぞれ最も高くなっている。

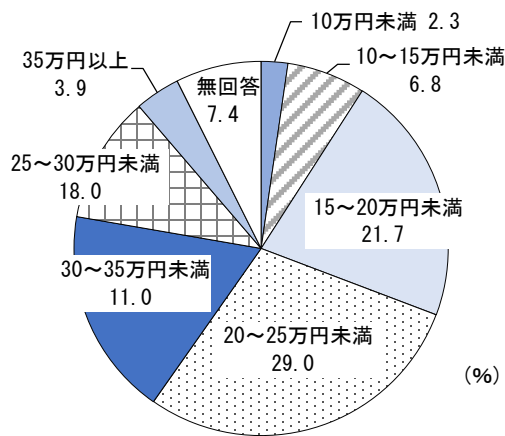
また、平均額でみると、母子世帯は約21.3万円、父子世帯は約27.9万円、寡婦は約16.4万円となっている。

	調査数(人)	10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30～35万円未満	35万円以上	無回答	平均(円)
母子世帯	2,105	2.3	6.8	21.7	29.0	18.0	11.0	3.9	7.4	212,712
父子世帯	310	1.3	1.9	7.1	17.7	21.3	25.2	17.7	7.7	278,584
寡婦	146	4.8	14.4	24.7	11.6	6.8	2.7	0.0	34.9	163,547

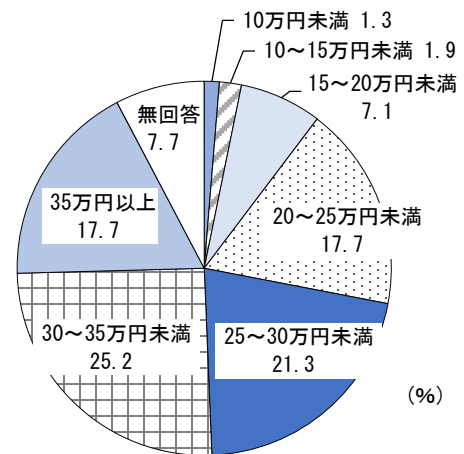
【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	2.1	9.4	27.4	28.5	15.9	7.2	2.1	7.5
父子(H25)	312	1.0	3.5	9.9	19.6	23.4	15.4	16.7	10.6
寡婦(H25)	173	5.8	14.5	26.6	20.8	6.4	2.9	1.7	21.4

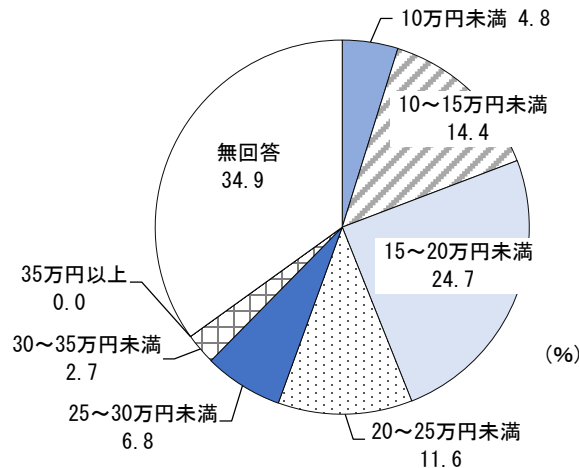
母子世帯 (n=2,105)



父子世帯 (n=310)



寡婦 (n=146)



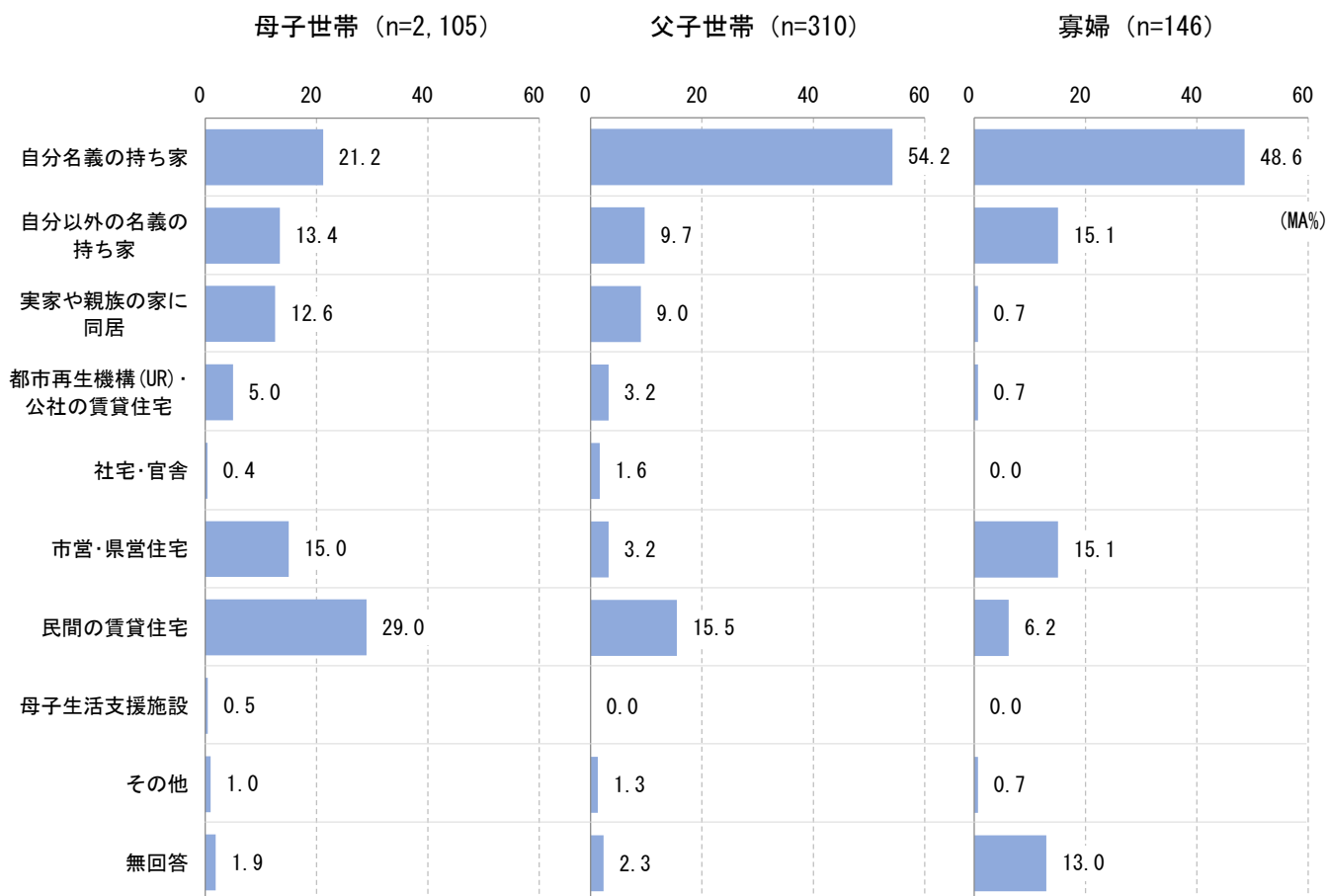
(5) 住宅の状況 [複数回答]

住宅の状況は、母子世帯では「民間の賃貸住宅」が 29.0%と最も高い。これに対し、父子世帯・寡婦ともに「自分名義の持ち家」が最も高く、父子世帯で 54.2%、寡婦で 48.6%となっている。

	調査数(人)	自分名義の持ち家	自分以外の名義の持ち家	実家や親族の家に同居	都市再生機構(UＲ)・公社の賃貸住宅	社宅・官舎	市営・県営住宅	民間の賃貸住宅	母子生活支援施設	その他	無回答
母子世帯	2,105	21.2	13.4	12.6	5.0	0.4	15.0	29.0	0.5	1.0	1.9
父子世帯	310	54.2	9.7	9.0	3.2	1.6	3.2	15.5	0.0	1.3	2.3
寡婦	146	48.6	15.1	0.7	0.7	0.0	15.1	6.2	0.0	0.7	13.0

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	17.0	16.5	5.8	6.7	0.2	16.4	27.4	5.1	2.7	2.2
父子(H25)	312	44.2	14.1	3.8	5.1	2.6	8.0	16.7	—	1.3	4.2
寡婦(H25)	173	53.8	21.4	0.6	1.2	0.0	11.0	2.3	0.0	5.8	4.0

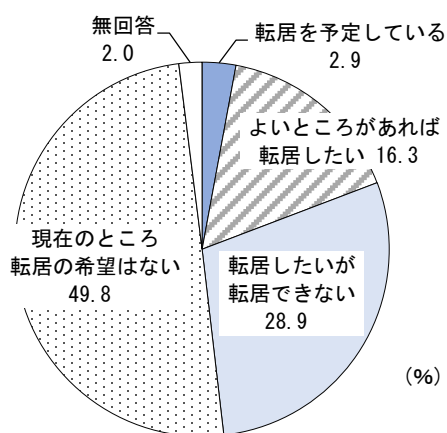


(6) 転居希望

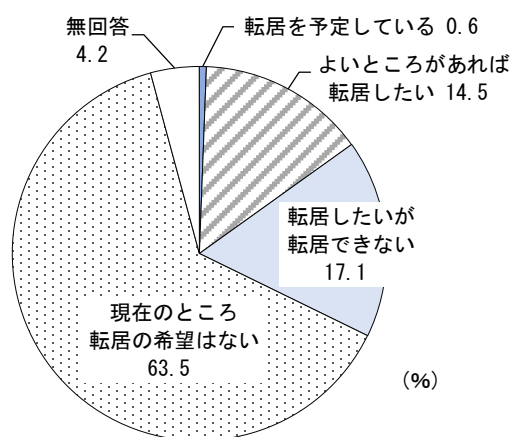
① 転居希望の有無

転居の希望があると回答した人の割合（「転居を予定している」「よいところがあれば転居したい」「転居したいが転居できない」の計）は、母子世帯で48.1%、父子世帯で32.2%、寡婦で12.3%となっている。母子世帯では半数近くが転居希望ありとなっているものの、「転居したいが転居できない」が28.9%と高い。

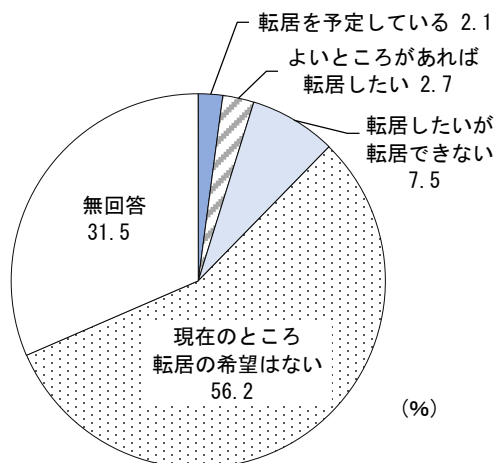
母子世帯 (n=2,105)



父子世帯 (n=310)



寡婦 (n=146)



【住宅の状況別 転居希望の有無】

【母子世帯】		調査数 (人)	い 転 居 を 予 定 し て	れ よ い と 転 居 し ろ が い あ	居 転 で 居 し た い が 転	居 現 在 の 希 望 と は こ ろ い 転	無 回 答
住 宅 の 状 況	母子全体	2,105	2.9	16.3	28.9	49.8	2.0
	自分名義の持ち家	446	1.6	7.8	7.4	81.6	1.6
	自分以外の名義の持ち家	283	3.9	12.4	22.6	60.4	0.7
	実家や親族の家に同居	266	1.5	8.6	42.5	47.4	0.0
	都市再生機構 (UR)・公社の賃貸住宅	105	3.8	24.8	37.1	33.3	1.0
	社宅・官舎	9	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0
	市営・県営住宅	316	1.6	13.3	33.9	51.3	0.0
	民間の賃貸住宅	610	3.9	28.4	39.3	28.4	0.0
	母子生活支援施設	11	27.3	18.2	36.4	18.2	0.0
	その他	20	5.0	25.0	25.0	45.0	0.0
	無回答	39	2.6	0.0	2.6	10.3	84.6

【父子世帯】		調査数 (人)	い 転 居 を 予 定 し て	れ よ い と 転 居 し ろ が い あ	居 転 で 居 し た い が 転	居 現 在 の 希 望 と は こ ろ い 転	無 回 答
住 宅 の 状 況	父子全体	310	0.6	14.5	17.1	63.5	4.2
	自分名義の持ち家	168	0.6	14.3	14.3	69.0	1.8
	自分以外の名義の持ち家	30	3.3	6.7	13.3	76.7	0.0
	実家や親族の家に同居	28	0.0	3.6	10.7	78.6	7.1
	都市再生機構 (UR)・公社の賃貸住宅	10	0.0	20.0	50.0	30.0	0.0
	社宅・官舎	5	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0
	市営・県営住宅	10	0.0	30.0	20.0	40.0	10.0
	民間の賃貸住宅	48	0.0	22.9	29.2	43.8	4.2
	母子生活支援施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	28.6	71.4

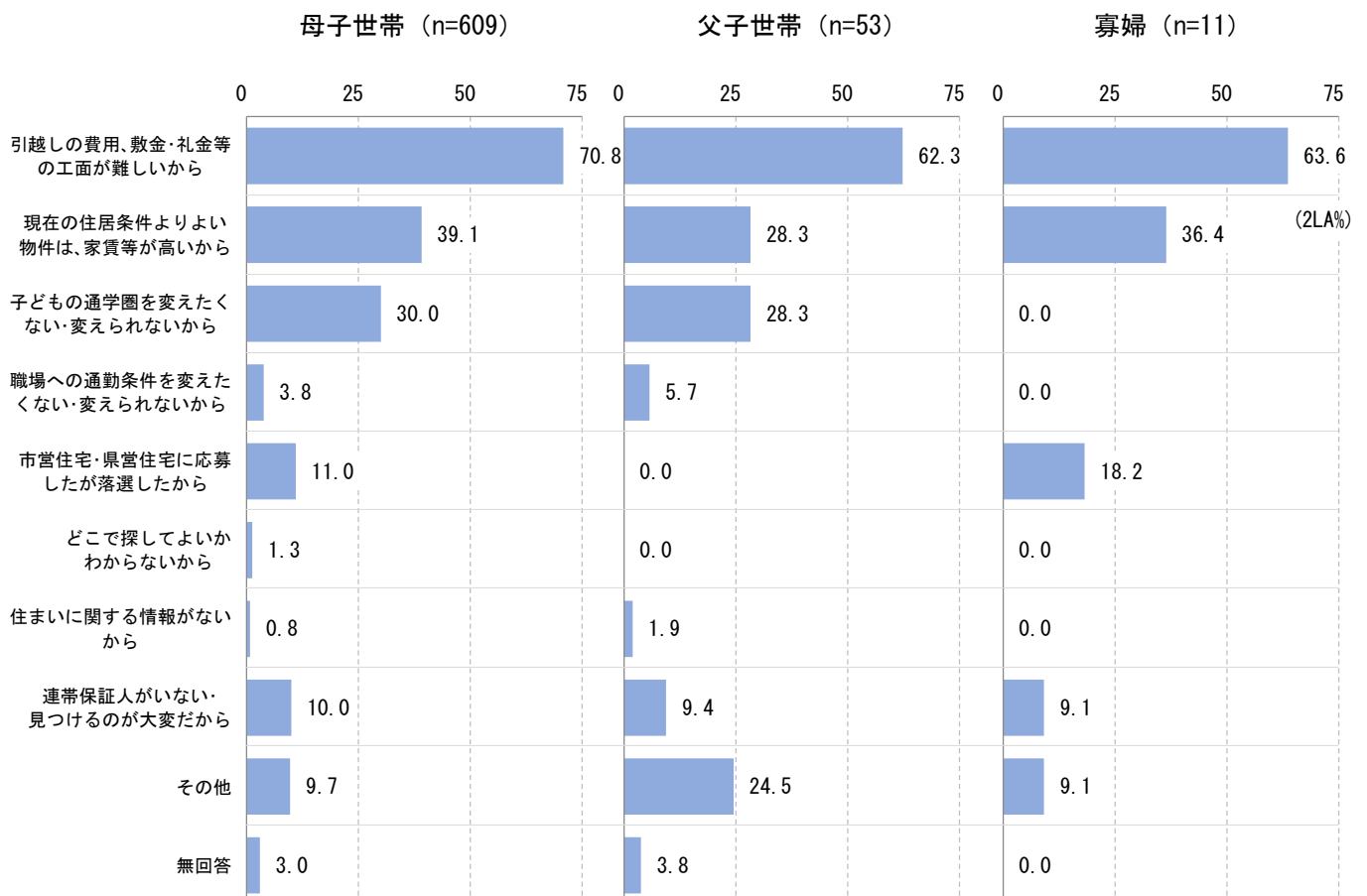
【寡婦】		調査数 (人)	い 転 居 を 予 定 し て	れ よ い と 転 居 し ろ が い あ	居 転 で 居 し た い が 転	居 現 在 の 希 望 と は こ ろ い 転	無 回 答
住 宅 の 状 況	寡婦全体	146	2.1	2.7	7.5	56.2	31.5
	自分名義の持ち家	71	0.0	1.4	2.8	74.6	21.1
	自分以外の名義の持ち家	22	0.0	0.0	9.1	68.2	22.7
	実家や親族の家に同居	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	都市再生機構 (UR)・公社の賃貸住宅	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社宅・官舎	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市営・県営住宅	22	9.1	0.0	18.2	50.0	22.7
	民間の賃貸住宅	9	0.0	33.3	33.3	22.2	11.1
	母子生活支援施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	19	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

②転居できない理由 [複数回答]

転居したいが転居できない理由は、いずれも「引越しの費用、敷金・礼金等の工面が難しいから」が最も高く、母子世帯で70.8%、父子世帯で62.3%、寡婦で63.6%となっている。

	調査数(人)	引越しの費用、敷金・礼金等の工面が難しいから	現在の住居条件よりよい物件は、家賃等が高いから	子どもの通学圏を変えたくない・変えられないから	職場への通勤条件を変えたくない・変えられないから	市営住宅・県営住宅に応募したが落選したから	どこで探してよいかわからないから	住まいに関する情報がないから	連帯保証人がいない・見つけるのが大変だから	その他	無回答
母子世帯	609	70.8	39.1	30.0	3.8	11.0	1.3	0.8	10.0	9.7	3.0
父子世帯	53	62.3	28.3	28.3	5.7	0.0	0.0	1.9	9.4	24.5	3.8
寡婦	11	63.6	36.4	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0

(2LA%)



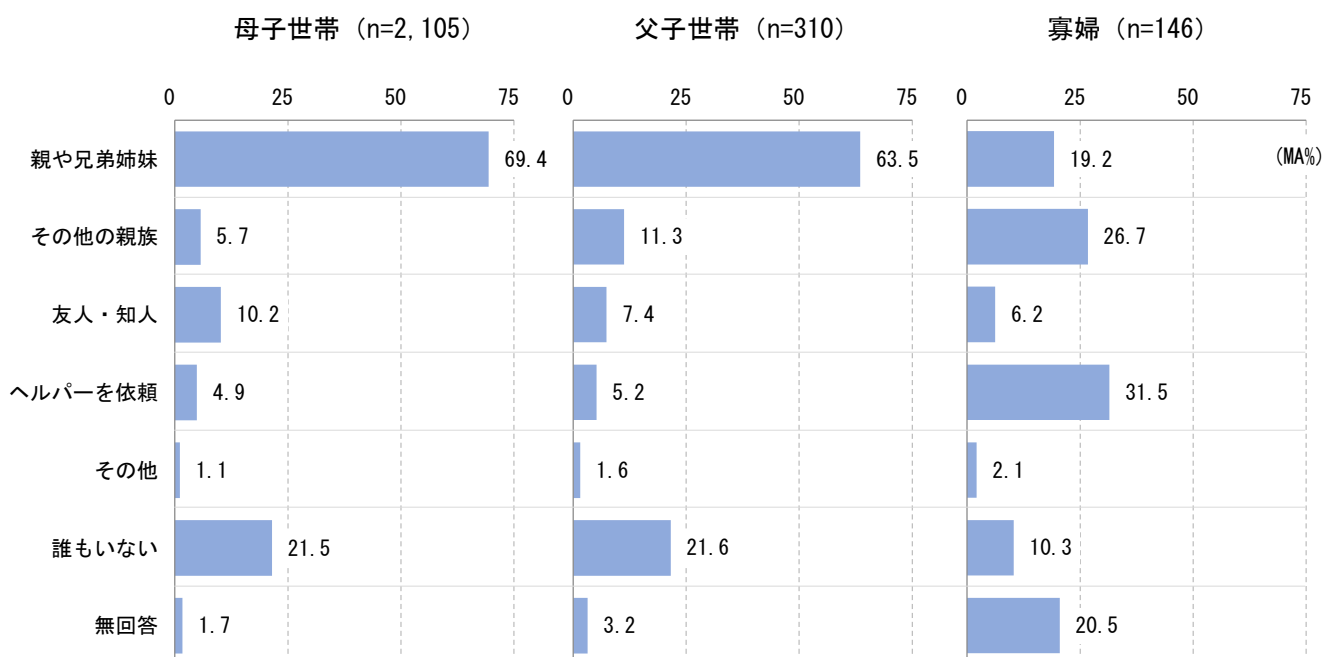
(7) 援助の依頼先 [複数回答]

自身または子どもが重い病気にかかったりした場合に身の回りの世話について援助を頼める人としては、母子世帯・父子世帯ともに「親や兄弟姉妹」が最も高く、母子世帯で69.4%、父子世帯で63.5%となっている。一方、「誰もいない」(母子世帯21.5%、父子世帯21.6%)がともに2割台みられる。

		(MA%)						
	調査数(人)	親や兄弟姉妹	その他の親族	友人・知人	ヘルパーを依頼	その他	誰もいない	無回答
母子世帯	2,105	69.4	5.7	10.2	4.9	1.1	21.5	1.7
父子世帯	310	63.5	11.3	7.4	5.2	1.6	21.6	3.2
寡婦	146	19.2	26.7	6.2	31.5	2.1	10.3	20.5

【参考】前回調査結果(平成25年度)

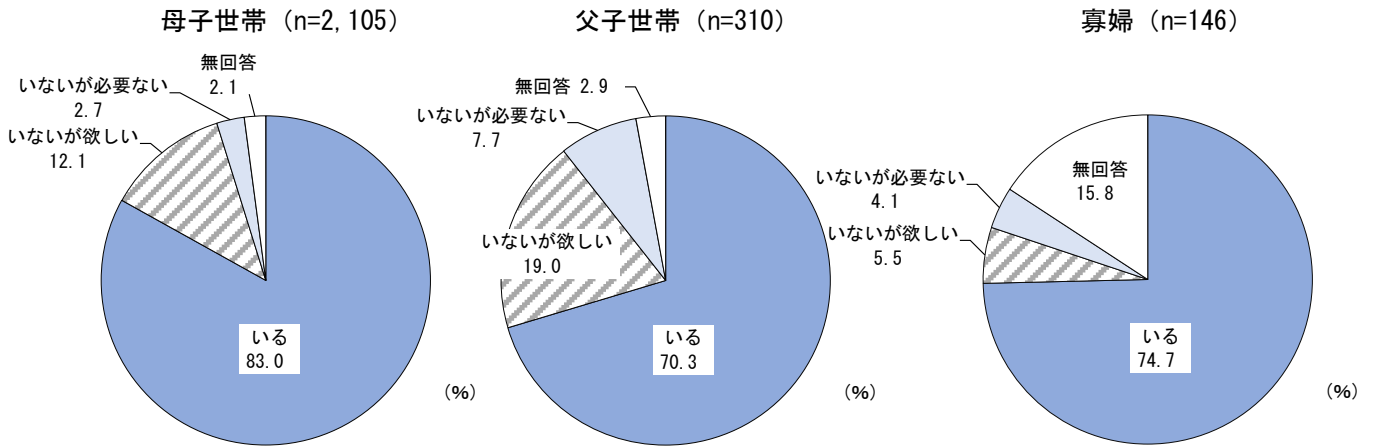
母子(H25)	1,476	68.9	4.6	12.3	5.4	2.4	21.0	2.4
父子(H25)	312	68.3	8.0	5.8	4.5	3.5	19.2	3.8
寡婦(H25)	173	24.9	5.2	4.0	34.7	22.0	8.7	14.5



(8) 困りごとの相談先

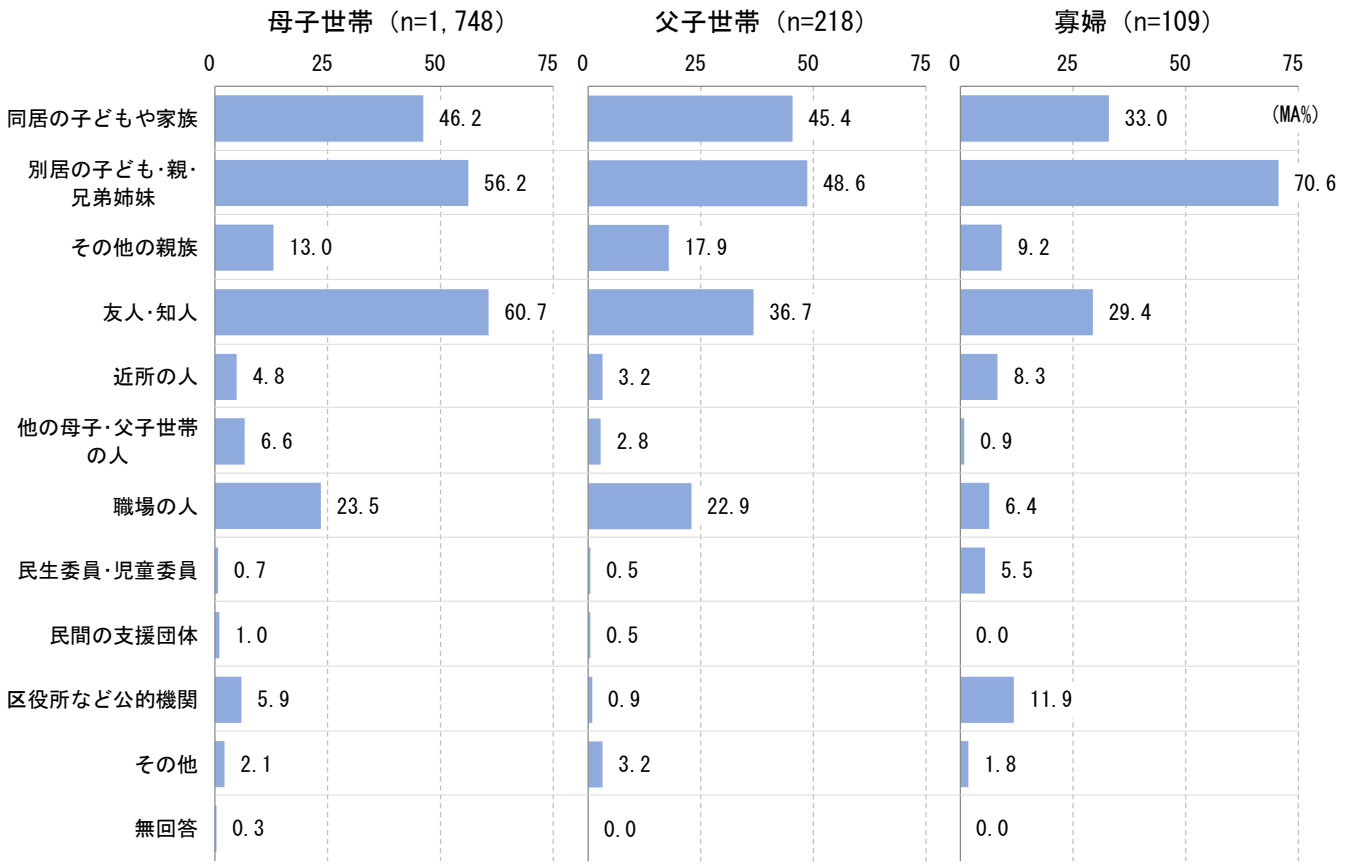
① 困りごとの相談先の有無

困ったことが起きた場合に相談する相手が「いる」と回答した人の割合は、母子世帯で83.0%、父子世帯で70.3%、寡婦で74.7%となっている。



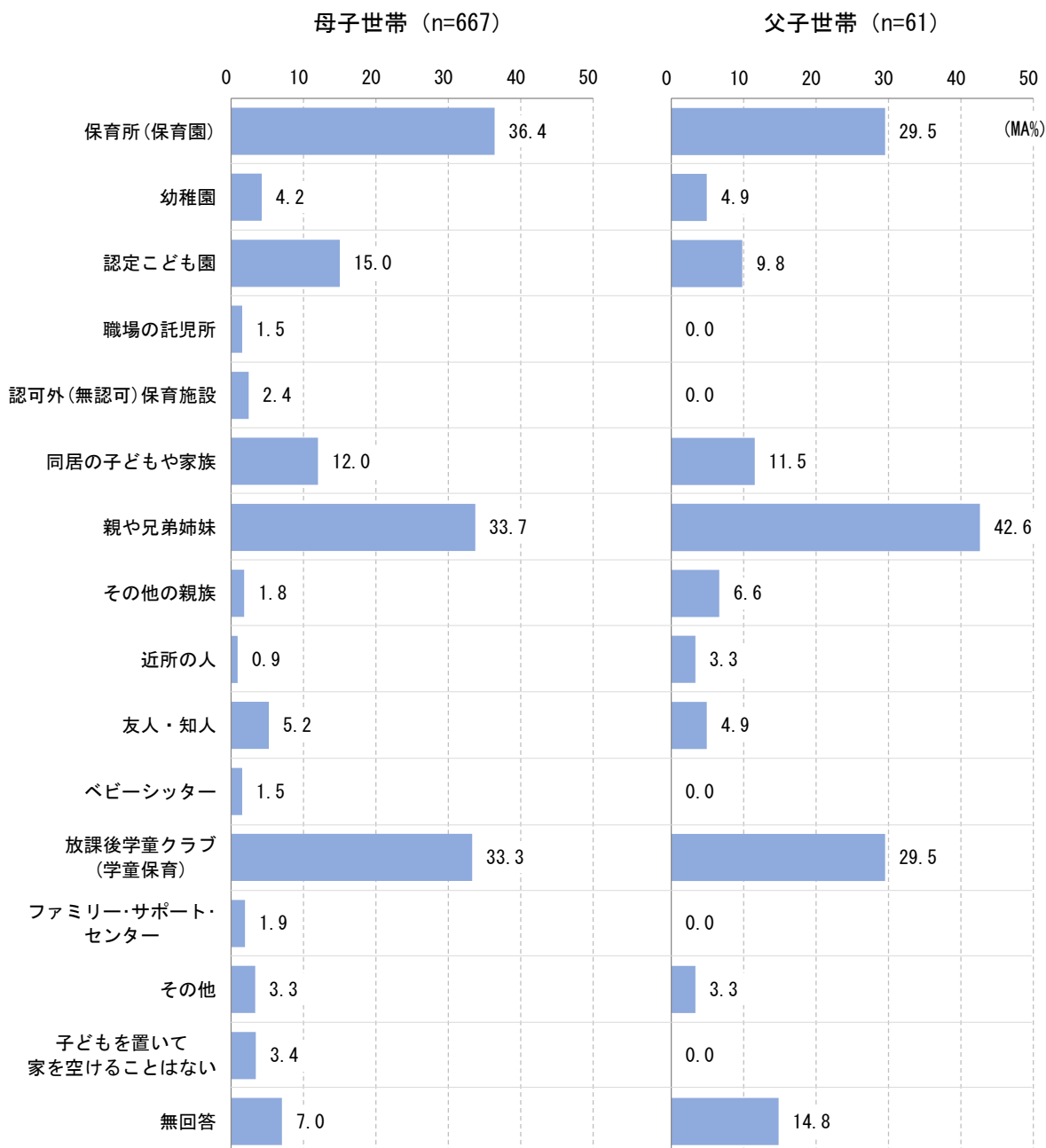
② 困りごとの相談先 [複数回答]

困りごとの相談相手は、母子世帯では「友人・知人」が60.7%と最も高い。これに対し、父子世帯・寡婦ともに「別居の子ども・親・兄弟姉妹」が最も高く、父子世帯で48.6%、寡婦で70.6%となっている。



(9) 不在時に子どもをみてくれる人・場所 <小学校低学年までの子どもがいる世帯> [複数回答]

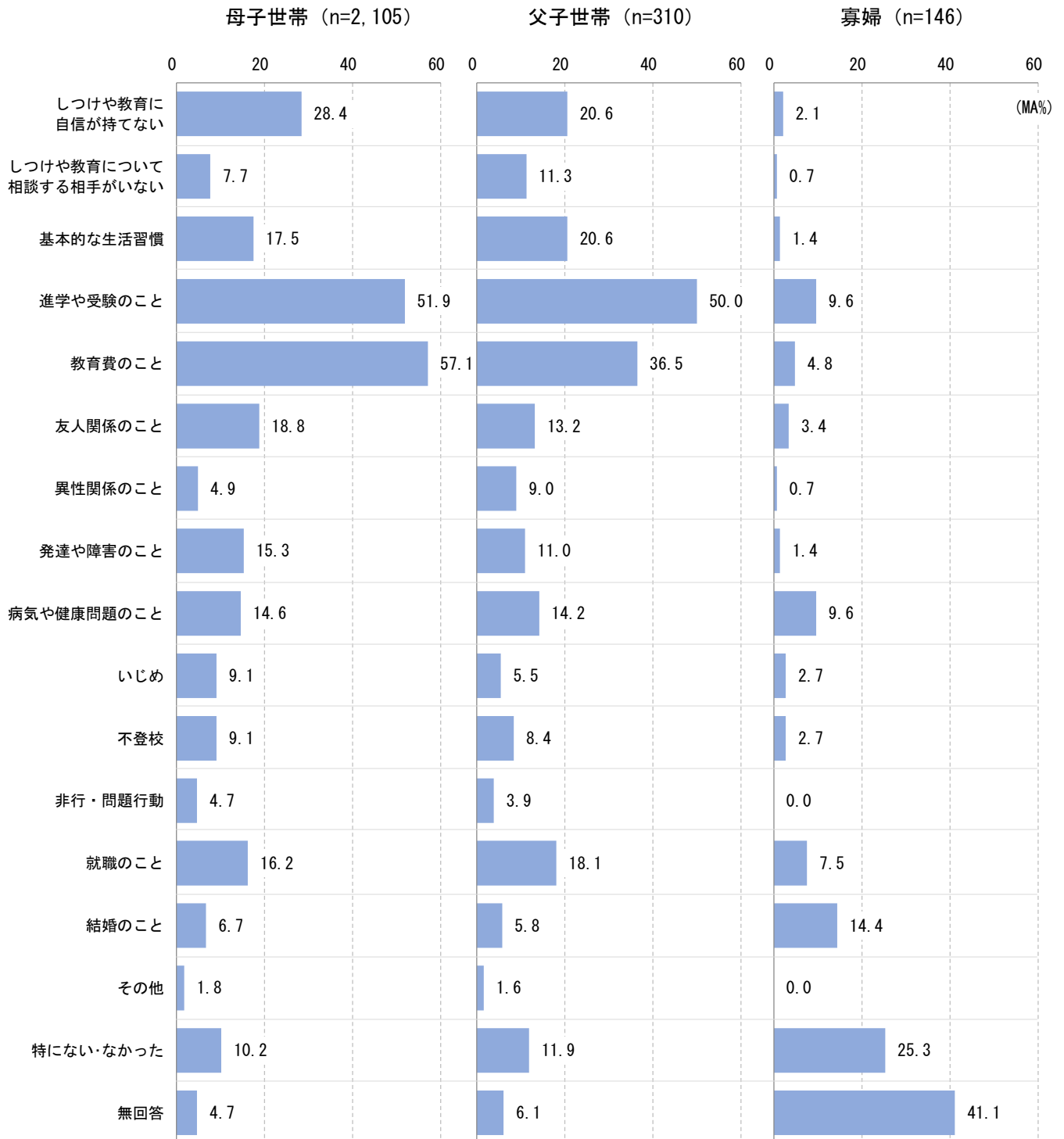
自身が仕事などで家を空けている時に子どもをみてくれる人・場所は、母子世帯では「保育所（保育園）」が 36.4%、父子世帯では「親や兄弟姉妹」が 42.6%と、それぞれ最も高くなっている。



4. 子どもについて

(1) 子どもに関する悩み [複数回答]

子どもに関する悩みは、母子世帯では「教育費のこと」が 57.1%、父子世帯では「進学や受験のこと」が 50.0%と、それぞれ最も高くなっている。



【子どもの就学状況等別 子どもに関する悩み（母子世帯・父子世帯）】

(MA%)

【母子世帯】		調査数（人）	しつけないや教育に自信が	相談する相手がいない	基本的な生活習慣	進学や受験のこと	教育費のこと	友人関係のこと	異性関係のこと	発達や障害のこと	病気や健康問題のこと
子どもの就学状況	母子全体	2,105	28.4	7.7	17.5	51.9	57.1	18.8	4.9	15.3	14.6
	就学前児童	372	38.4	5.6	14.5	23.4	47.0	10.2	1.1	12.4	12.4
	小学生(1～3年)	371	38.0	7.0	21.6	40.7	58.8	20.5	2.2	17.5	12.4
	小学生(4～6年)	462	35.9	8.7	23.2	50.4	63.0	26.8	5.8	16.9	13.4
	中学生	524	27.7	7.6	18.5	75.2	67.4	18.9	5.9	18.1	13.7
	高校生	609	21.8	7.9	14.9	69.8	63.7	16.1	5.6	15.6	14.8
	短大生	13	7.7	0.0	15.4	53.8	61.5	30.8	7.7	0.0	15.4
	大学生	272	18.0	8.1	15.1	55.5	60.3	14.3	5.5	11.4	15.8
	専門学校生	77	19.5	7.8	15.6	53.2	59.7	18.2	6.5	10.4	14.3
	その他学生	38	15.8	5.3	10.5	50.0	44.7	18.4	2.6	28.9	23.7
	既卒者	396	17.9	6.6	16.4	52.8	52.5	19.4	8.8	16.9	16.9
	無回答	32	21.9	9.4	18.8	40.6	43.8	18.8	3.1	25.0	21.9

【母子世帯】		いじめ	不登校	非行・問題行動	就職のこと	結婚のこと	その他	特にない・なかった	無回答
子どもの就学状況	母子全体	9.1	9.1	4.7	16.2	6.7	1.8	10.2	4.7
	就学前児童	6.7	2.7	2.4	3.5	1.6	1.9	20.7	6.5
	小学生(1～3年)	7.5	3.8	4.0	6.7	3.8	3.0	10.5	3.2
	小学生(4～6年)	10.2	8.0	5.4	10.2	5.0	1.5	9.1	3.0
	中学生	7.6	13.7	4.0	13.7	6.3	1.1	4.8	3.1
	高校生	8.9	12.3	5.3	22.5	7.7	1.8	6.1	5.3
	短大生	7.7	7.7	0.0	61.5	30.8	0.0	0.0	0.0
	大学生	9.2	11.4	4.4	33.5	13.6	1.1	9.9	4.0
	専門学校生	10.4	18.2	7.8	35.1	7.8	3.9	6.5	3.9
	その他学生	13.2	18.4	2.6	36.8	18.4	7.9	2.6	2.6
	既卒者	12.6	15.4	9.3	33.6	12.9	1.0	7.6	6.3
	無回答	9.4	6.3	6.3	15.6	9.4	6.3	9.4	12.5

【父子世帯】		調査数（人）	持つてない しつけや教育に自信が	相しつけや教育について 談する相手がいない	基本的な生活習慣	進学や受験のこと	教育費のこと	友人関係のこと	異性関係のこと	発達や障害のこと	病気や健康問題のこと
子どもの 就学状況	父子全体	310	20.6	11.3	20.6	50.0	36.5	13.2	9.0	11.0	14.2
	就学前児童	27	33.3	22.2	25.9	22.2	33.3	7.4	7.4	11.1	18.5
	小学生(1～3年)	43	25.6	9.3	23.3	30.2	23.3	11.6	4.7	14.0	9.3
	小学生(4～6年)	61	31.1	18.0	23.0	42.6	32.8	19.7	16.4	16.4	18.0
	中学生	94	23.4	13.8	17.0	71.3	41.5	17.0	9.6	10.6	11.7
	高校生	113	14.2	9.7	23.0	58.4	44.2	7.1	9.7	9.7	14.2
	短大生	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0
	大学生	53	17.0	5.7	17.0	47.2	45.3	3.8	7.5	5.7	11.3
	専門学校生	9	0.0	0.0	22.2	55.6	66.7	11.1	11.1	0.0	0.0
	その他学生	6	50.0	0.0	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	50.0
	既卒者	62	14.5	6.5	14.5	43.5	37.1	11.3	17.7	8.1	17.7
	無回答	10	10.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	30.0	0.0

【父子世帯】		いじめ	不登校	非行・問題行動	就職のこと	結婚のこと	その他	特にない・なかった	無回答
子どもの 就学状況	父子全体	5.5	8.4	3.9	18.1	5.8	1.6	11.9	6.1
	就学前児童	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	18.5	14.8
	小学生(1～3年)	4.7	2.3	4.7	0.0	0.0	0.0	25.6	2.3
	小学生(4～6年)	9.8	6.6	8.2	9.8	3.3	1.6	16.4	6.6
	中学生	5.3	10.6	6.4	9.6	3.2	0.0	5.3	7.4
	高校生	2.7	5.3	2.7	20.4	6.2	1.8	9.7	7.1
	短大生	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	大学生	3.8	7.5	3.8	37.7	9.4	1.9	7.5	1.9
	専門学校生	11.1	33.3	0.0	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0
	その他学生	16.7	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	既卒者	8.1	9.7	3.2	40.3	14.5	0.0	14.5	3.2
	無回答	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0

(2) 子どもの進学に関する希望

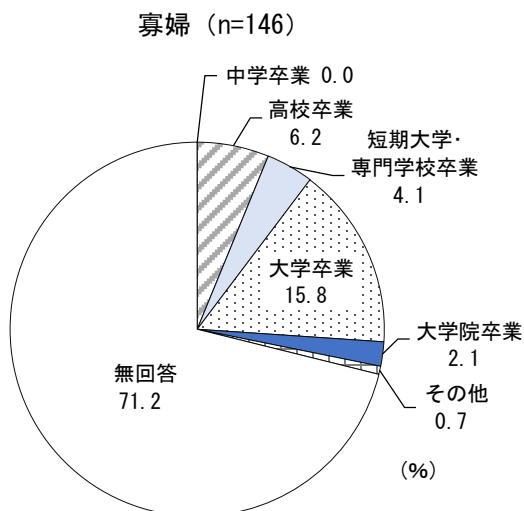
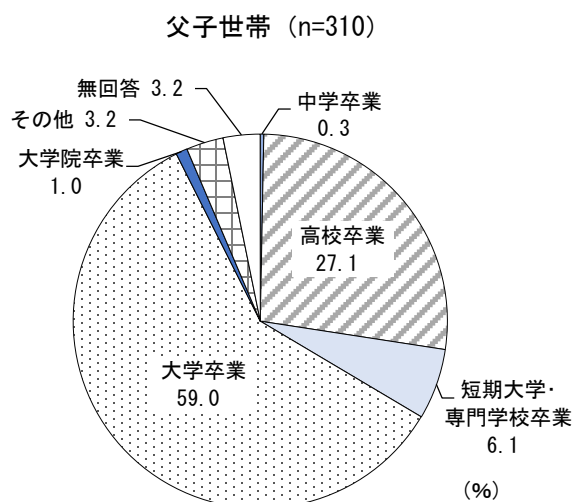
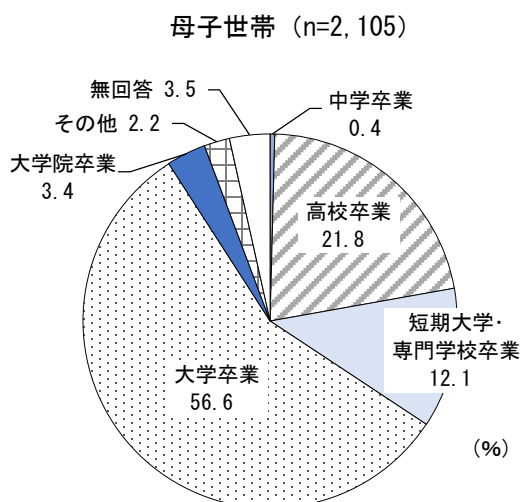
子どもの進学に関する希望は、いずれも「大学卒業」(母子世帯 56.6%、父子世帯 59.0%、寡婦 15.8%) が最も高く、次いで「高校卒業」(母子世帯 21.8%、父子世帯 27.1%、寡婦 6.2%) となっている。

	(人) 調査数	中学卒業	高校卒業	短期大学・ 専門学校卒業	大学卒業	大学院卒業	その他	無回答
母子世帯	2,105	0.4	21.8	12.1	56.6	3.4	2.2	3.5
父子世帯	310	0.3	27.1	6.1	59.0	1.0	3.2	3.2
寡婦	146	0.0	6.2	4.1	15.8	2.1	0.7	71.2

(%)

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子 (H25)	1,476	0.5	24.3	11.4	53.5	3.3	2.0	5.1
父子 (H25)	312	0.3	28.2	8.3	47.8	3.5	1.3	10.6
寡婦 (H25)	173	0.0	8.1	4.6	25.4	1.7	2.3	57.8



【母・父の最終学歴別 子どもの進学に関する希望】

(%)

【母子世帯】		調査数 (人)	中学卒業	高校卒業	専短期 門学 校学 校卒 業	大学卒業	大学院卒業	その他	無回答
母の最終学歴	母子全体	2,105	0.4	21.8	12.1	56.6	3.4	2.2	3.5
	中学校卒業	89	1.1	44.9	14.6	27.0	3.4	2.2	6.7
	高校中退	113	2.7	55.8	8.0	26.5	1.8	1.8	3.5
	高校卒業	685	0.3	32.4	13.7	45.3	1.8	1.5	5.1
	短大・専門学校中退	112	0.0	15.2	12.5	67.0	1.8	0.9	2.7
	短大・専門学校卒業	652	0.2	12.1	15.3	63.3	3.5	2.9	2.6
	大学中退	37	2.7	18.9	5.4	62.2	2.7	5.4	2.7
	大学卒業	382	0.0	6.8	5.2	77.2	6.8	2.4	1.6
	その他	21	0.0	0.0	0.0	81.0	14.3	4.8	0.0
	無回答	14	0.0	28.6	21.4	35.7	0.0	0.0	14.3

【父子世帯】		調査数 (人)	中学卒業	高校卒業	専短期 門学 校学 校卒 業	大学卒業	大学院卒業	その他	無回答
父の最終学歴	父子全体	310	0.3	27.1	6.1	59.0	1.0	3.2	3.2
	中学校卒業	17	0.0	70.6	5.9	23.5	0.0	0.0	0.0
	高校中退	25	0.0	40.0	4.0	40.0	0.0	8.0	8.0
	高校卒業	96	1.0	33.3	9.4	47.9	1.0	4.2	3.1
	短大・専門学校中退	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	短大・専門学校卒業	38	0.0	26.3	2.6	68.4	0.0	0.0	2.6
	大学中退	13	0.0	23.1	0.0	69.2	0.0	0.0	7.7
	大学卒業	99	0.0	10.1	6.1	77.8	1.0	3.0	2.0
	その他	8	0.0	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	0.0
	無回答	10	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0

【寡婦】		調査数 (人)	中学卒業	高校卒業	専短期 門学 校学 校卒 業	大学卒業	大学院卒業	その他	無回答
母の最終学歴	寡婦全体	146	0.0	6.2	4.1	15.8	2.1	0.7	71.2
	中学校卒業	32	0.0	12.5	6.3	0.0	3.1	0.0	78.1
	高校中退	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0
	高校卒業	64	0.0	6.3	3.1	18.8	1.6	0.0	70.3
	短大・専門学校中退	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	短大・専門学校卒業	24	0.0	0.0	4.2	20.8	0.0	4.2	70.8
	大学中退	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学卒業	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	その他	7	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	71.4
	無回答	8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	75.0

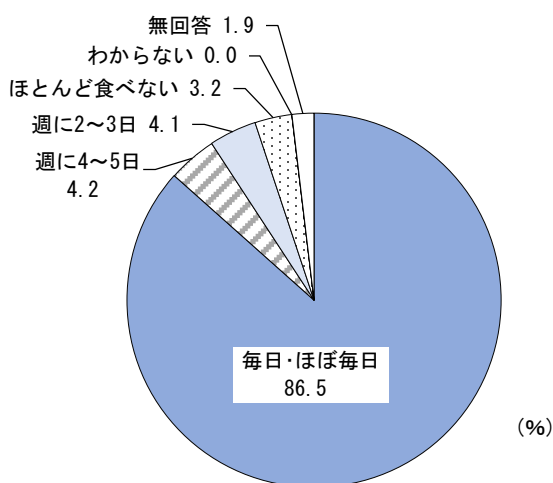
(3) 子どもの朝食の摂取状況 <小・中学生>

①朝食を食べる頻度

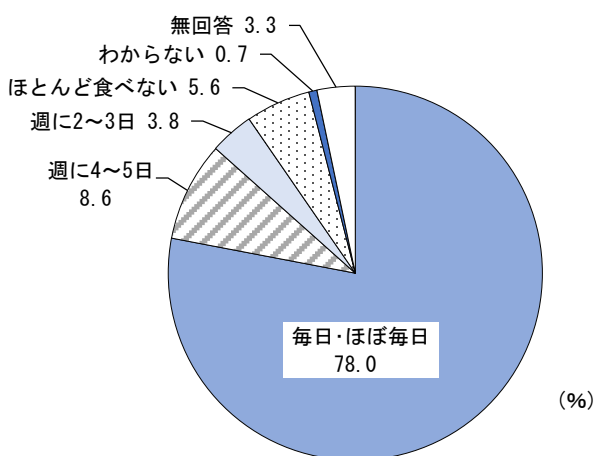
小学生の朝食を食べる頻度は、母子世帯・父子世帯ともに「毎日・ほぼ毎日」（母子世帯 86.5%、父子世帯 82.4%）が8割台となっている。一方、「ほとんど食べない」は母子世帯で3.2%、父子世帯で2.8%みられる。

中学生の朝食を食べる頻度は、母子世帯で78.0%、父子世帯で80.6%となっている。一方、「ほとんど食べない」は母子世帯で5.6%、父子世帯で4.9%みられる。

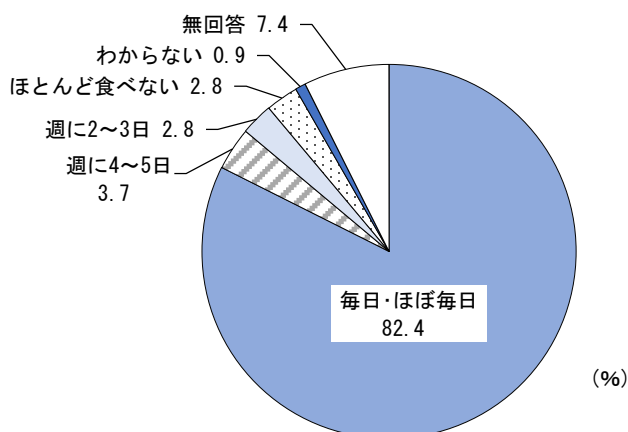
母子世帯・小学生 (n=899)



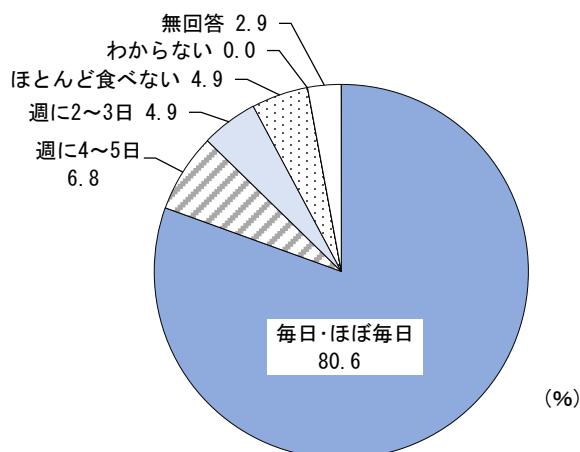
母子世帯・中学生 (n=572)



父子世帯・小学生 (n=108)



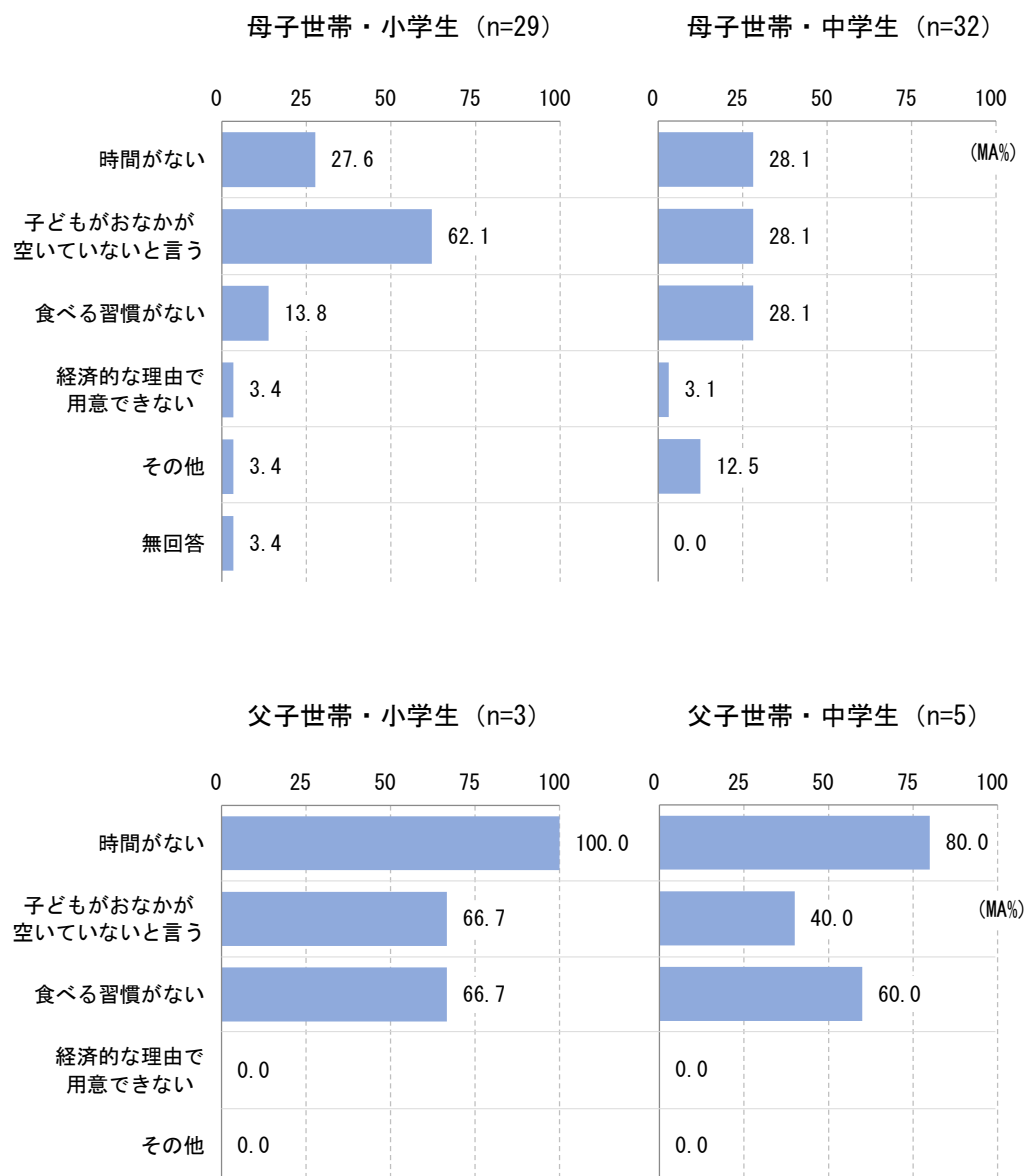
父子世帯・中学生 (n=103)



②朝食を食べない理由 [複数回答]

小学生が朝食を食べない理由は、母子世帯では「子どもがおなかが空いていないと言う」が62.1%、父子世帯では「時間がない」が100%と最も高くなっている。

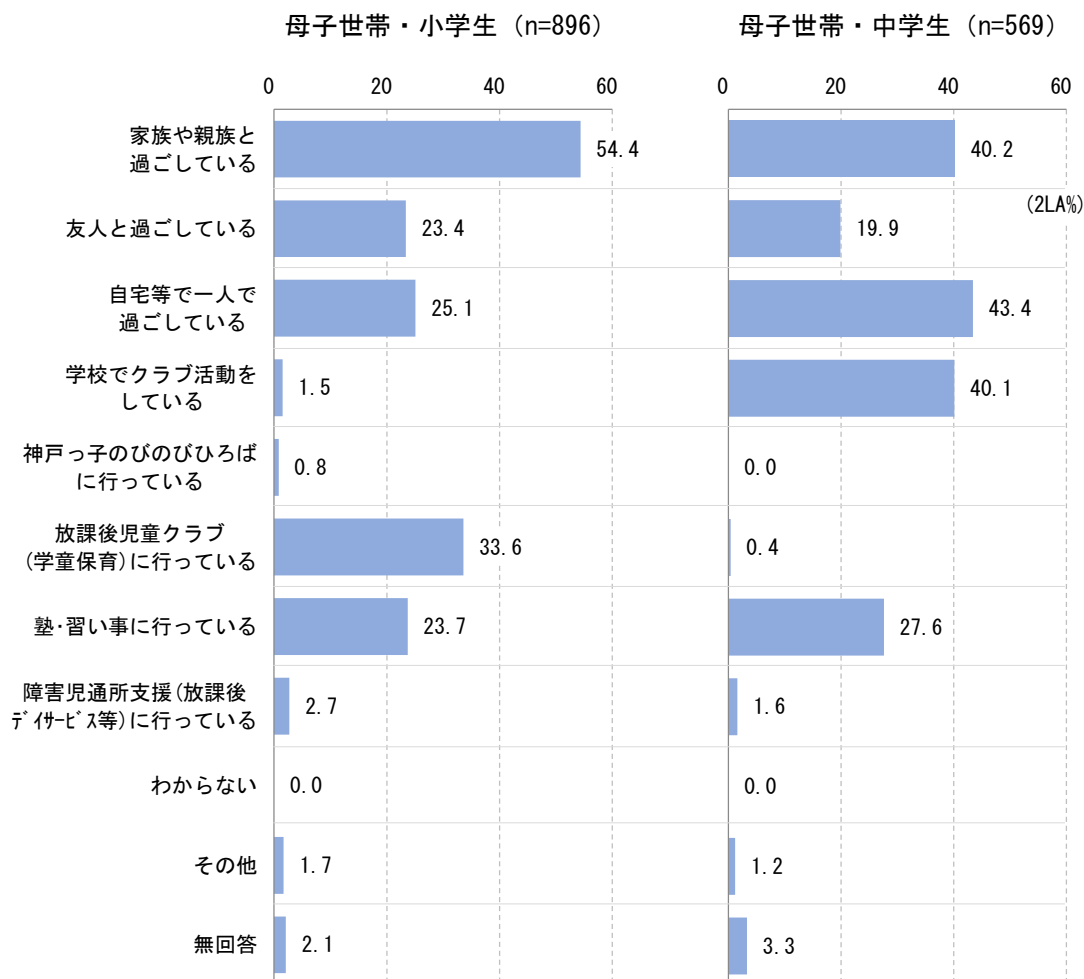
中学生が朝食を食べない理由は、母子世帯では「時間がない」「子どもがおなかが空いていないと言う」「食べる習慣がない」がいずれも28.1%、父子世帯では「時間がない」が80%となっている。

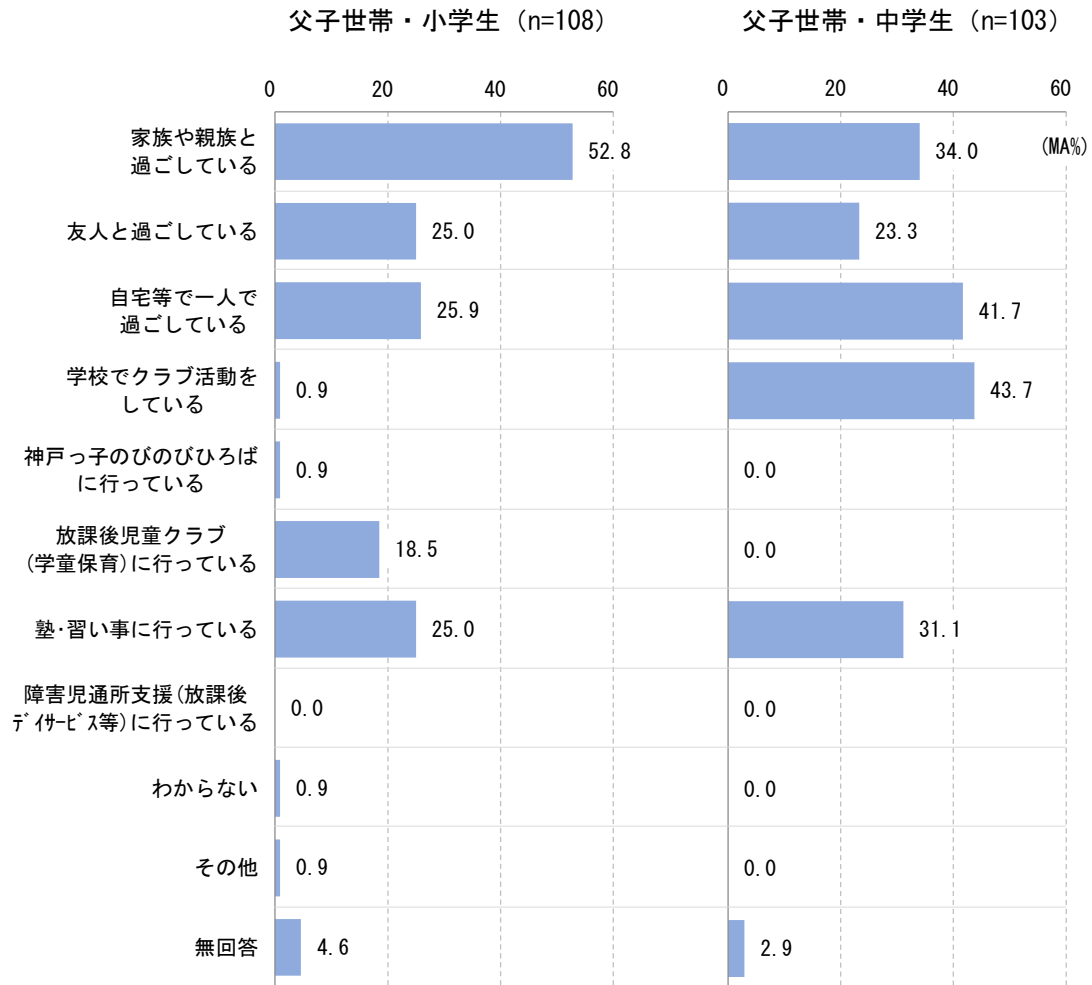


(4) 子どもの放課後や長期休業中の過ごし方 <小・中学生> [複数回答]

小学生の放課後や長期休業中の過ごし方は、母子世帯・父子世帯ともに「家族や親族と過ごしている」(母子世帯 54.4%、父子世帯 52.8%) が最も高くなっている。

中学生の放課後や長期休業中の過ごし方は、母子世帯では「自宅等で一人で過ごしている」が 43.4%、父子世帯では「学校でクラブ活動をしている」が 43.7% と最も高くなっている。





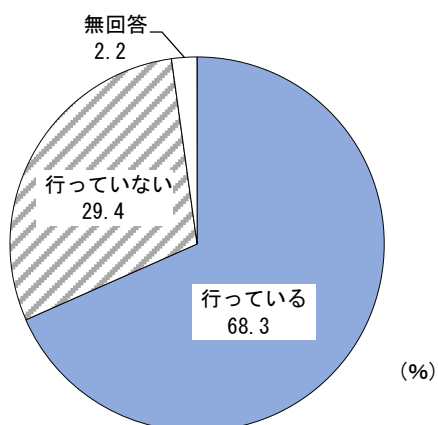
(5) 子どもの塾や習い事の状況 <小・中学生>

① 塾や習い事の有無

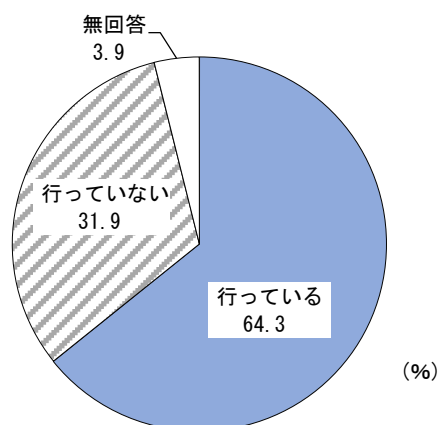
小学生のうち、塾や習い事に行っている割合は、母子世帯で68.3%、父子世帯で65.4%であった。

中学生のうち、塾や習い事に行っている割合は、母子世帯で64.3%、父子世帯で64.1%であった。

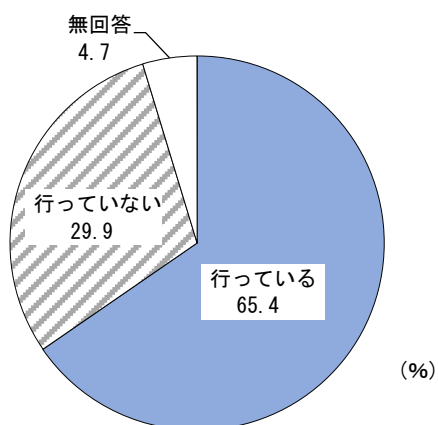
母子世帯・小学生 (n=897)



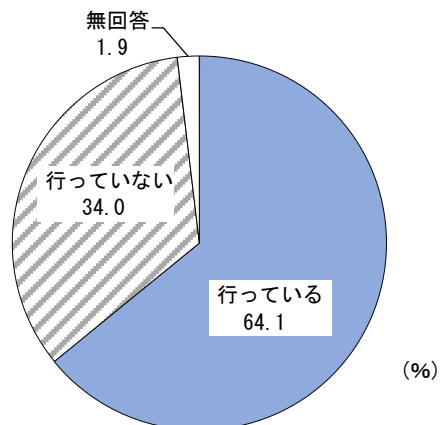
母子世帯・中学生 (n=568)



父子世帯・小学生 (n=107)



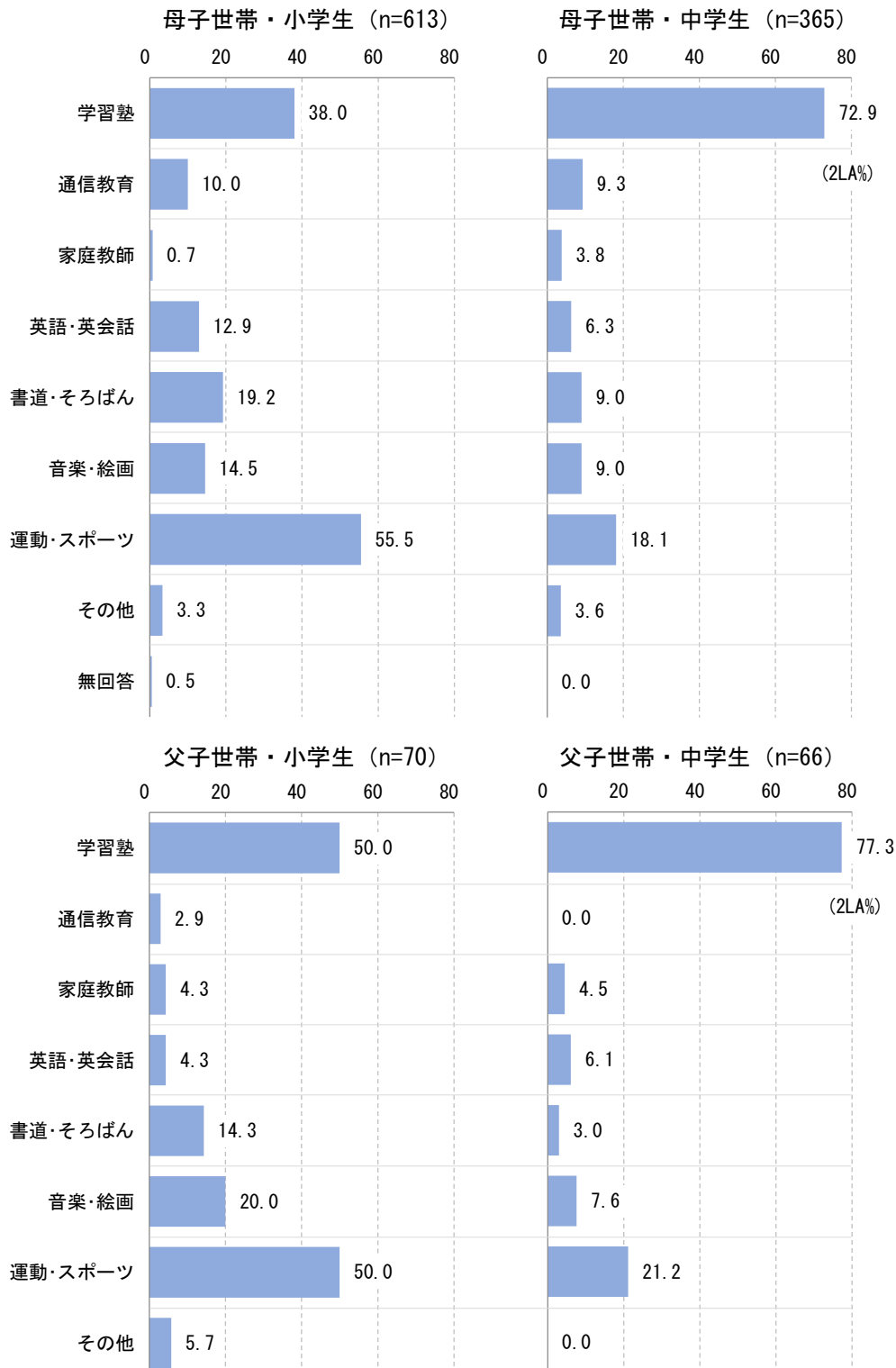
父子世帯・中学生 (n=103)



②塾や習い事の種類 [複数回答]

小学生の塾や習い事の種類は、母子世帯では「運動・スポーツ」が 55.5%、父子世帯では「学習塾」と「運動・スポーツ」がともに 50.0%と最も高くなっている。費用の月額平均は、母子世帯で 15,021 円、父子世帯で 13,826 円となっている。

中学生の塾や習い事の種類は、母子世帯・父子世帯ともに「学習塾」（母子世帯 72.9%、父子世帯 77.3%）が最も高くなっている。費用の月額平均は、母子世帯で 23,601 円、父子世帯で 24,679 円となっている。

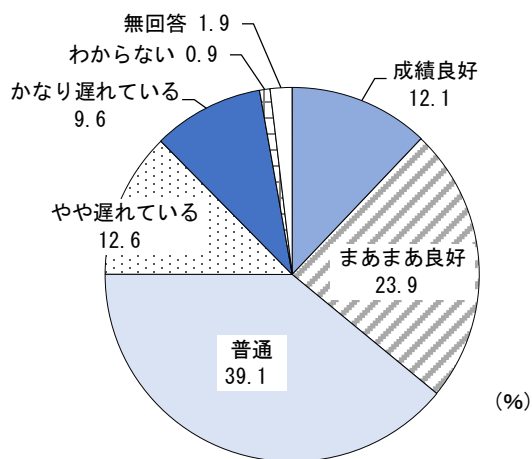


(6) 子どもの成績 <小・中学生>

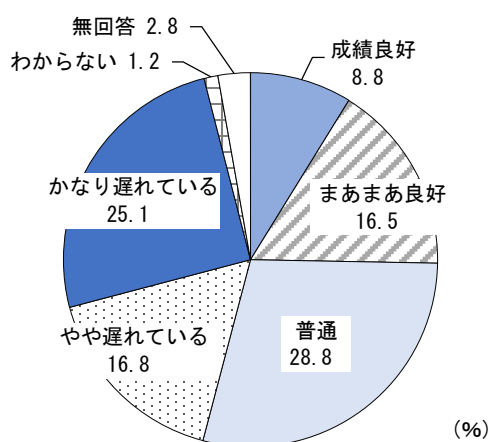
小学生の学校での勉強の成績は、良好という割合（「成績良好」「まあまあ良好」の計）が母子世帯で36.0%、父子世帯で43.5%となっている。一方、遅れているという割合（「やや遅れている」「かなり遅れている」の計）は、母子世帯で22.2%、父子世帯で19.4%となっている。

中学生の学校での勉強の成績は、良好という割合（「成績良好」「まあまあ良好」の計）が母子世帯で25.3%、父子世帯で23.3%となっている。一方、遅れているという割合（「やや遅れている」「かなり遅れている」の計）は、母子世帯で41.9%、父子世帯で52.4%となっている。

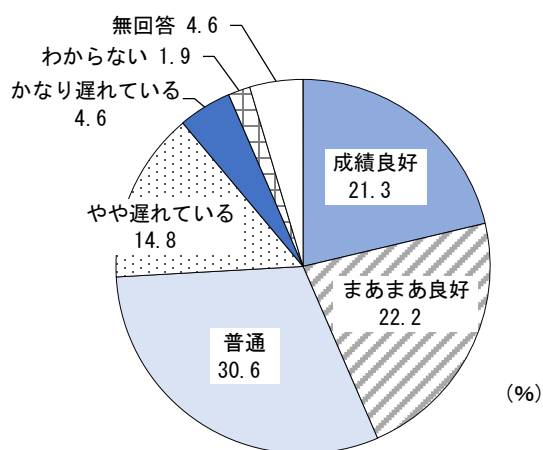
母子世帯・小学生 (n=900)



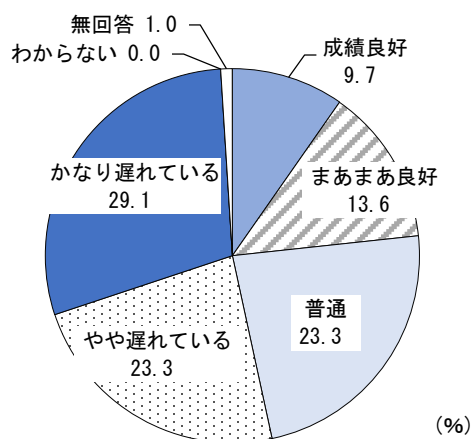
母子世帯・中学生 (n=570)



父子世帯・小学生 (n=108)



父子世帯・中学生 (n=103)



(7) 子どもの学費・教育費の状況 <高校以上の学校に在学している子どもがいる世帯>

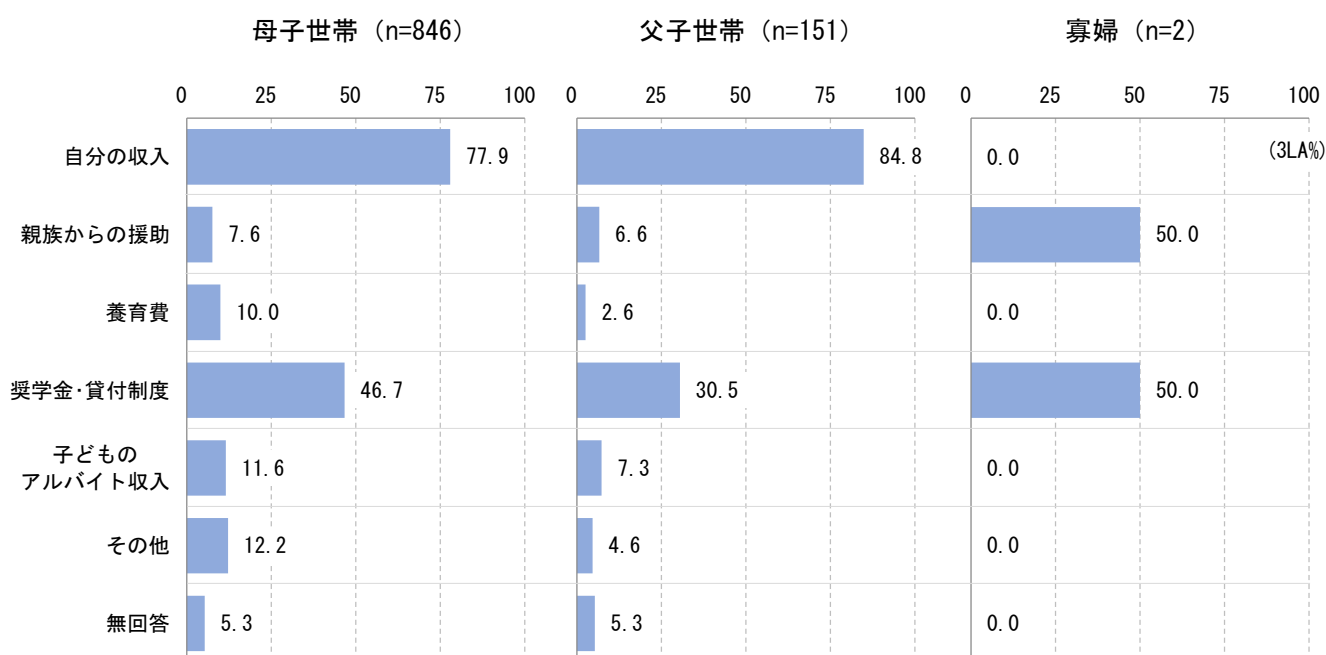
①学費・教育費の捻出方法 [複数回答]

高校以上の学校に在学している子どもの学費・教育費を何によってまかなっているかたずねたところ、「自分の収入」が母子世帯で77.9%、父子世帯で84.8%と、ともに最も高くなっている。また、これに続くのがともに「奨学金・貸付制度」となっており、母子世帯で46.7%、父子世帯で30.5%となっている。

	調査数(人)	自分の収入	親族からの援助	養育費	奨学金・貸付制度	子どものアルバイト収入	その他	無回答
母子世帯	846	77.9	7.6	10.0	46.7	11.6	12.2	5.3
父子世帯	151	84.8	6.6	2.6	30.5	7.3	4.6	5.3
寡婦	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【参考】 前回調査結果 (平成25年度)

母子 (H25)	535	61.7	8.2	8.6	46.5	10.7	11.2	17.9
父子 (H25)	155	67.7	11.0	0.6	21.3	3.2	5.2	20.0
寡婦 (H25)	6	66.7	16.7	33.3	66.7	50.0	0.0	0.0



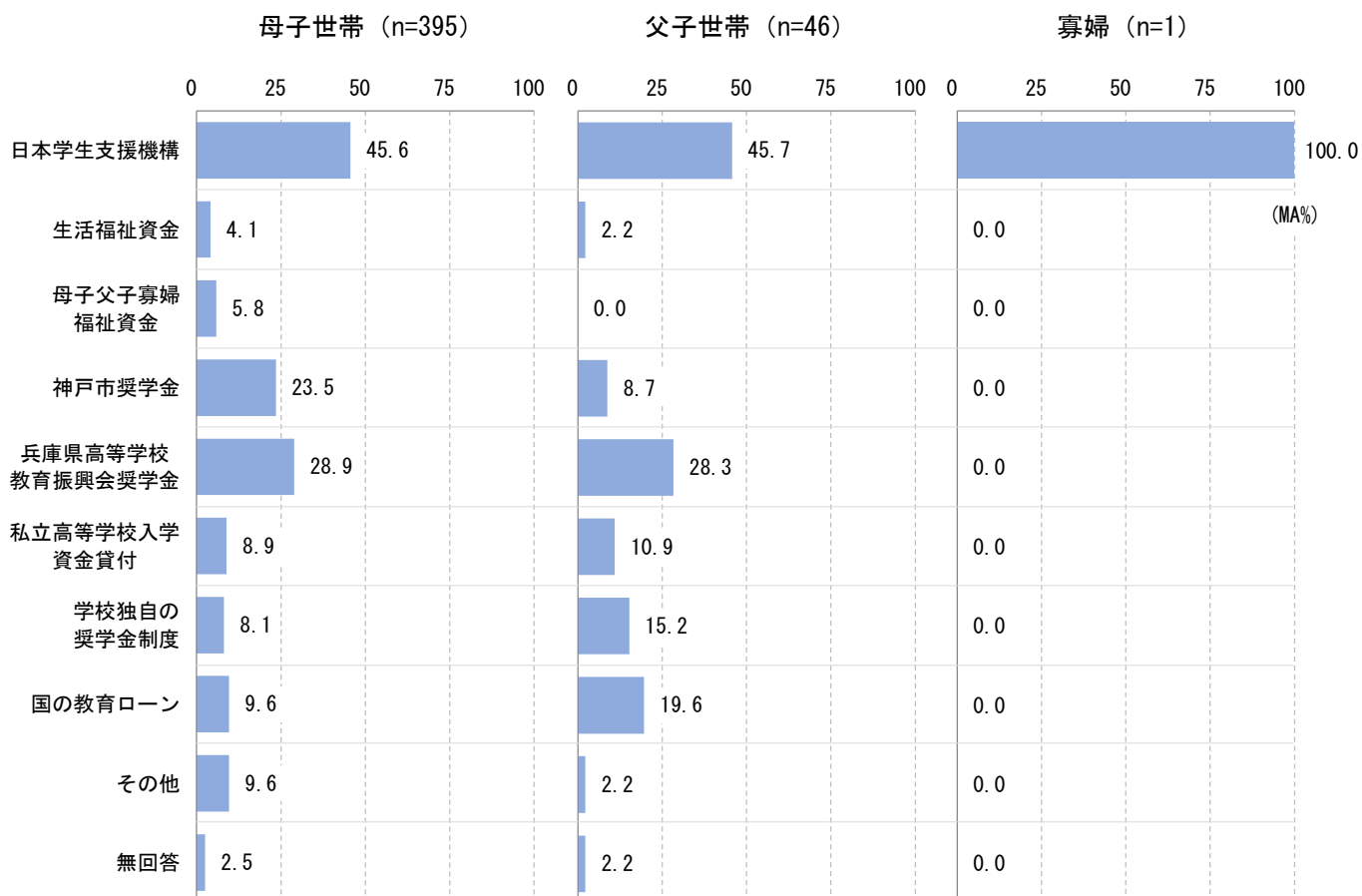
②利用している奨学金・貸付制度の種類 [複数回答]

子どもの学費・教育費を“奨学金・貸付制度”によってまかなっている場合の具体的な奨学金・貸付制度の種類としては、母子世帯・父子世帯ともに「日本学生支援機構」が4割台（母子世帯 45.6%、父子世帯 45.7%）と最も高く、次いで「兵庫県高等学校教育振興会奨学金」が2割台（母子世帯 28.9%、父子世帯 28.3%）となっている。

		(MA%)										
	調査数（人）	日本学生支援機構	生活福祉資金	母子父子寡婦福祉資金	神戸市奨学金	兵庫県高等学校教育振興会奨学金	私立高等学校入学資金貸付	学校独自の奨学金制度	国の教育ローン	その他	無回答	
母子世帯	395	45.6	4.1	5.8	23.5	28.9	8.9	8.1	9.6	9.6	2.5	
父子世帯	46	45.7	2.2	0.0	8.7	28.3	10.9	15.2	19.6	2.2	2.2	
寡婦	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【参考】前回調査結果（平成25年度）

母子(H25)	249	46.2	5.2	6.4	26.5	14.9	4.4	8.0	7.2	6.0	1.6
父子(H25)	33	60.6	3.0	3.0	15.2	12.1	0.0	3.0	15.2	3.0	0.0
寡婦(H25)	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0



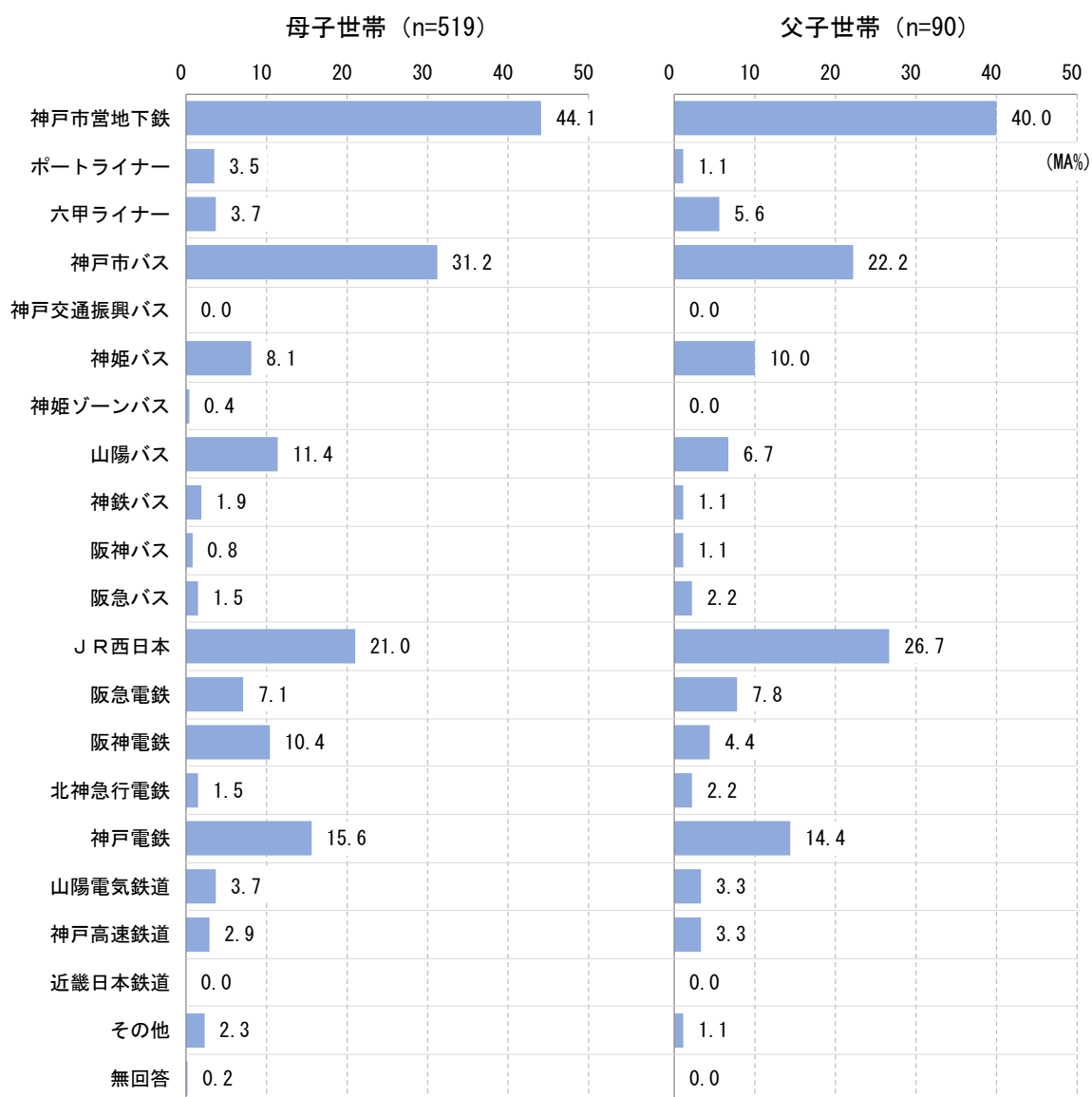
(8) 子どもの通学時の公共交通機関の利用状況 <公共交通機関を利用している高校生等>

①通学時の福祉乗車証利用の有無

母子世帯において、高校等（高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程）に公共交通機関を利用して通学する子どものうち、通学時に福祉乗車証を「利用している」割合は約半数（49.7%）となっている。

②通学時利用の公共交通機関及び交通費 [複数回答]

高校等通学時に利用している公共交通機関は、母子世帯・父子世帯ともに「神戸市営地下鉄」が最も高く、母子世帯で44.1%、父子世帯で40.0%となっている。これに続くのが、母子世帯では「神戸市バス」で31.2%、父子世帯では「JR西日本」で26.7%となっている。また、交通費の月額平均は、母子世帯は7,255円、父子世帯は9,718円となっている。



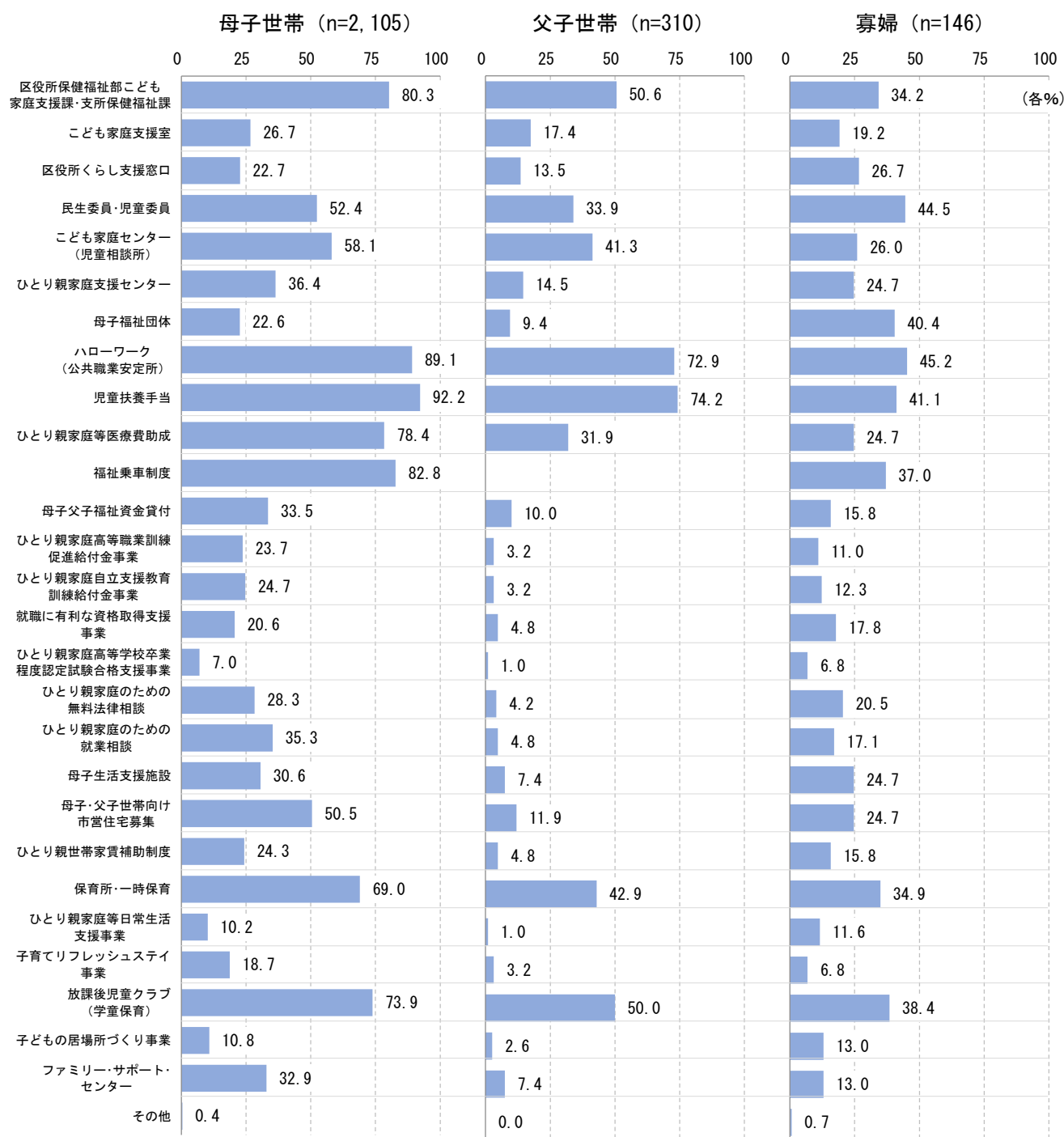
5. 施策について

(1) 施策の認知・利用状況

① 施策の認知状況

各施策（機関・制度）について「知っている」と回答した割合で見ると、母子世帯・父子世帯ともに「児童扶養手当」（母子世帯 92.2%、父子世帯 74.2%）が最も高く、次いで「ハローワーク（公共職業安定所）」（母子世帯 89.1%、父子世帯 72.9%）、「福祉乗車制度」（母子世帯のみ 82.8%）、「区役所保健福祉部こども家庭支援課・支所保健福祉課」（母子世帯 80.3%、父子世帯 50.6%）となっている。

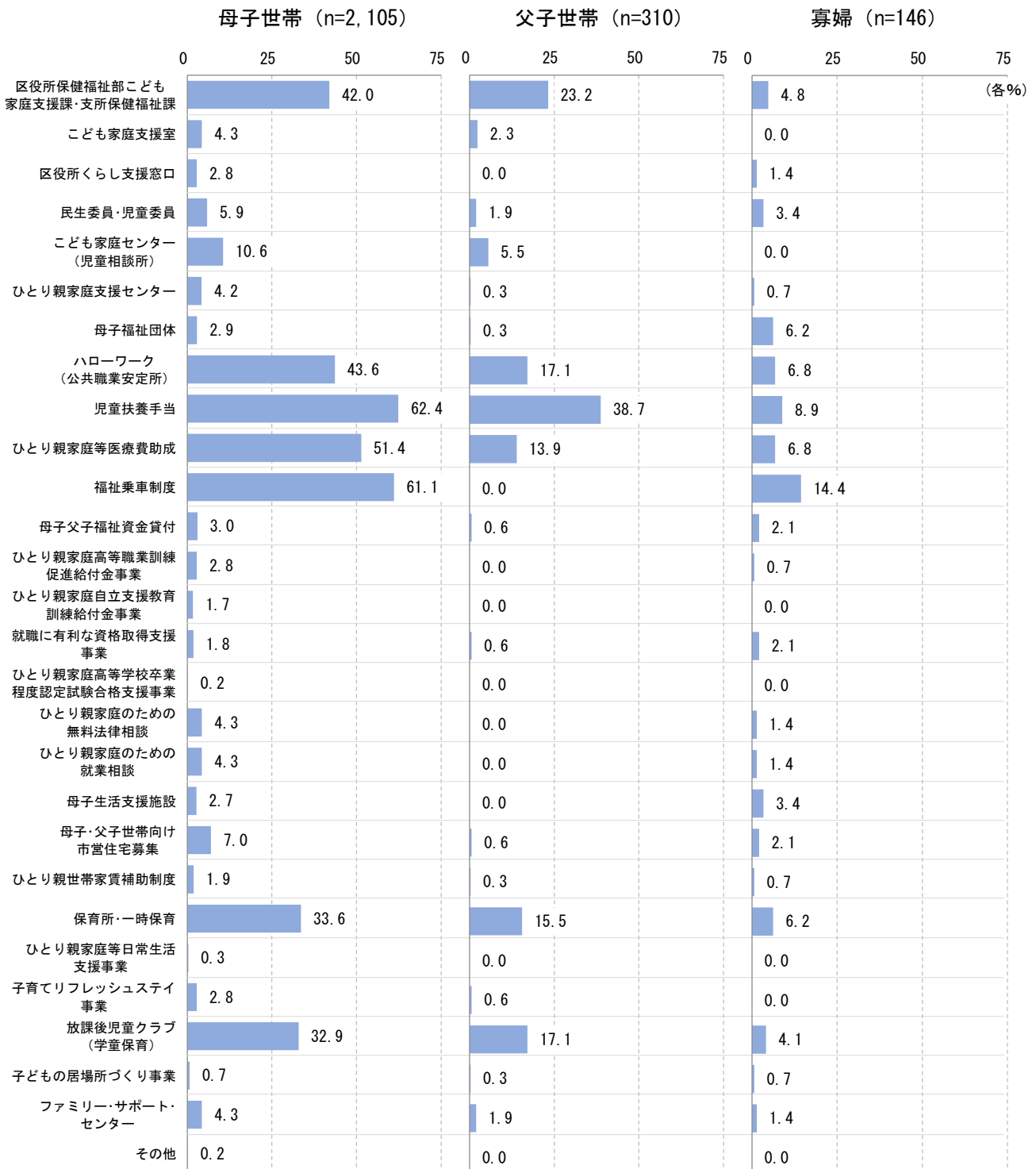
施策の認知状況（「知っている」と回答した人の割合）



②施策の利用状況

利用している・利用したことがある施策（機関・制度）は、母子世帯・父子世帯ともに「児童扶養手当」が最も高く、母子世帯で62.4%、父子世帯で38.7%となっている。これに続くのが、母子世帯では「福祉乗車制度」で61.1%、「ひとり親家庭等医療費助成」で51.4%、父子世帯では「区役所保健福祉部子ども家庭支援課・支所保健福祉課」で23.2%となっている。

施策の利用状況（「知っている・利用したことがある」と回答した人の割合）



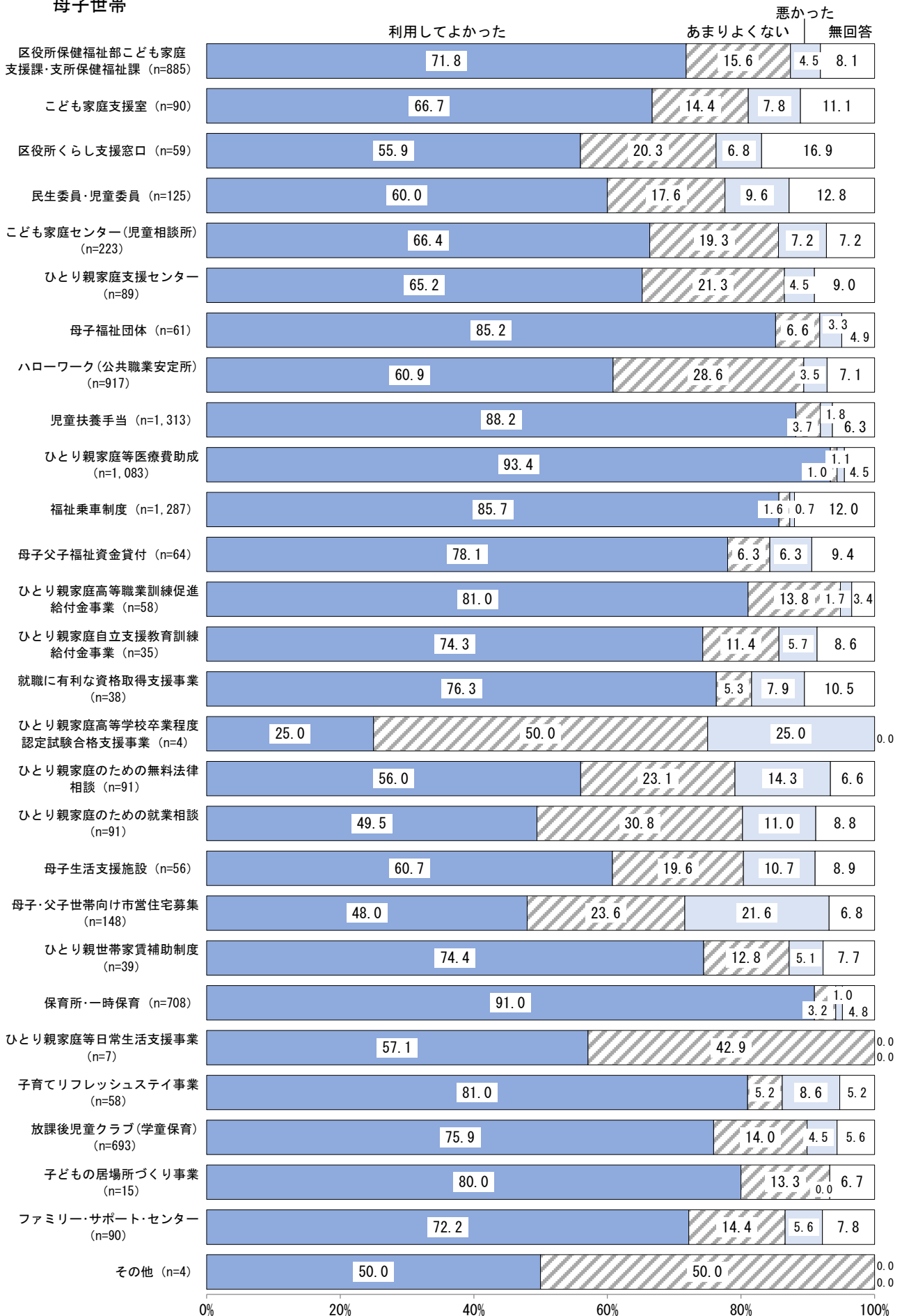
③施策に対する評価

施策に対する評価についてたずねたところ、母子世帯では、「利用してよかった」が『ひとり親家庭等医療費助成』で 93.4%と最も高く、次いで『保育所・一時保育』で 91.0%、『児童扶養手当』で 88.2%、『福祉乗車制度』で 85.7%、『母子福祉団体』で 85.2%となっている。

父子世帯では、「利用してよかった」が『保育所・一時保育』で 97.9%、『ひとり親家庭等医療費助成』で 95.3%、『児童扶養手当』で 88.3%、『区役所保健福祉部こども家庭支援課・支所保健福祉課（母子・父子相談窓口）』で 80.6%と高くなっている。

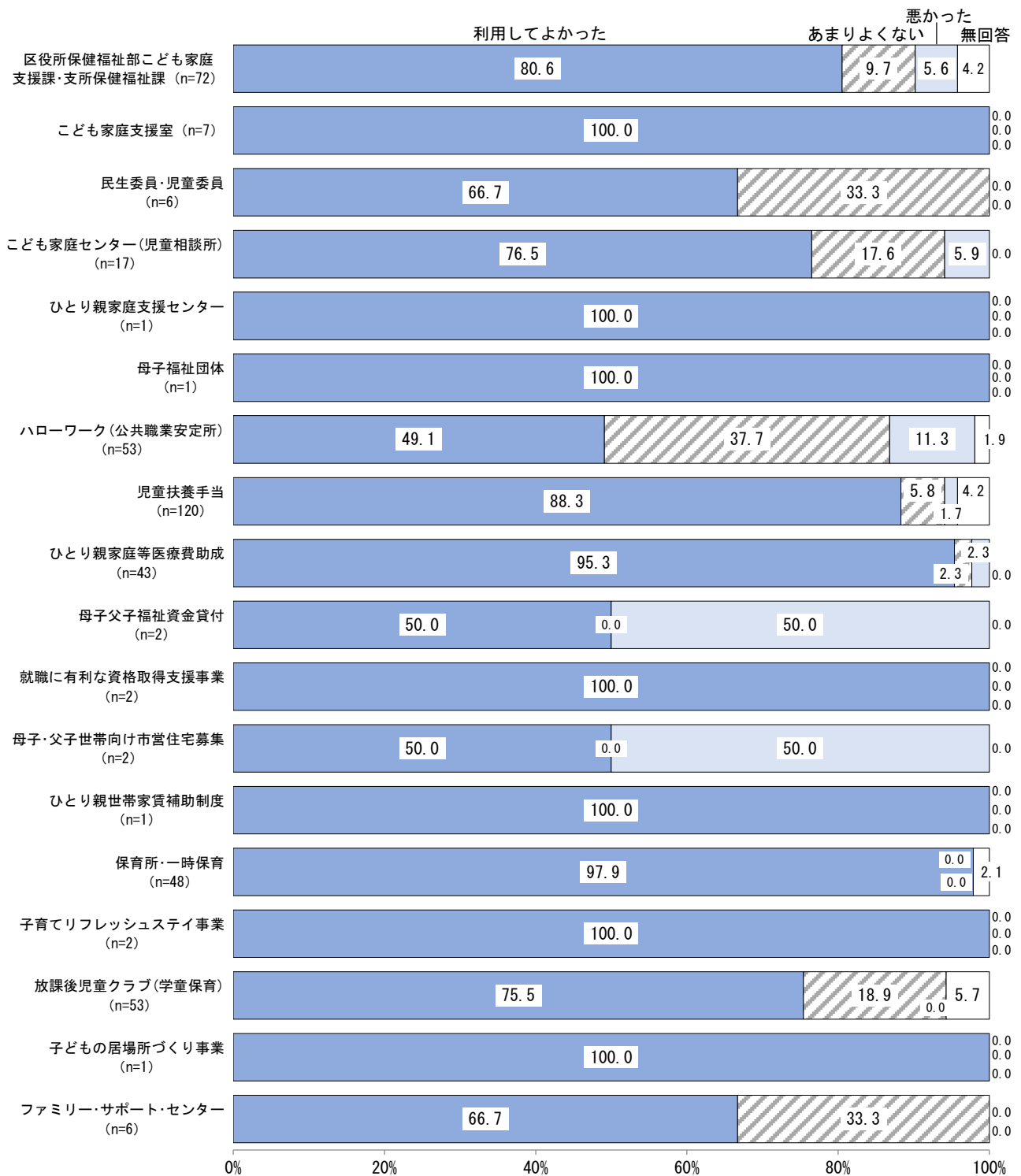
寡婦では、「利用してよかった」が『児童扶養手当』で 100.0%、『福祉乗車制度』で 90.5%、『ひとり親家庭等医療費助成』で 90.0%と高くなっている。

母子世帯



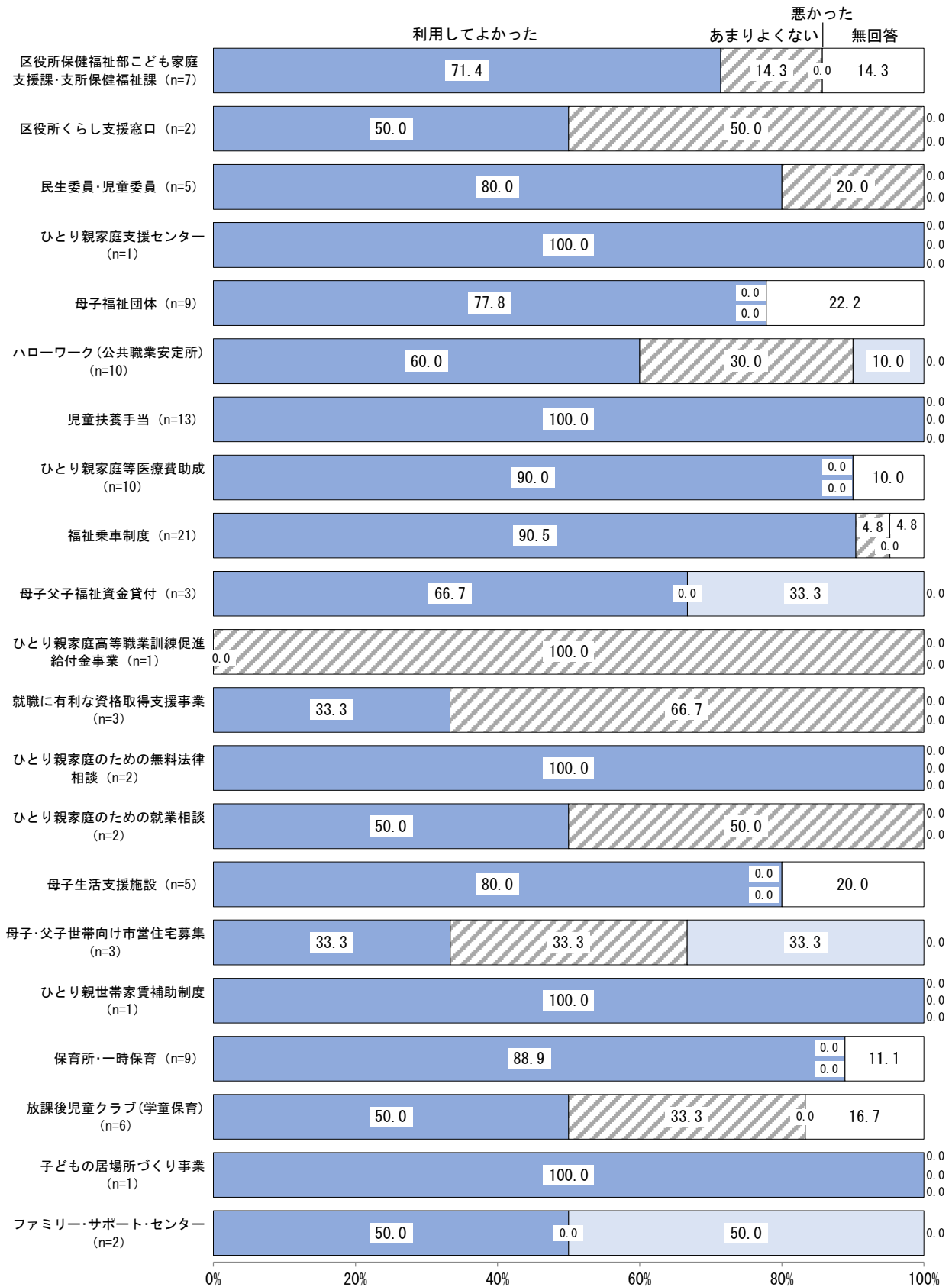
父子世帯

※利用件数0件 (n=0) の項目については非表示



寡婦

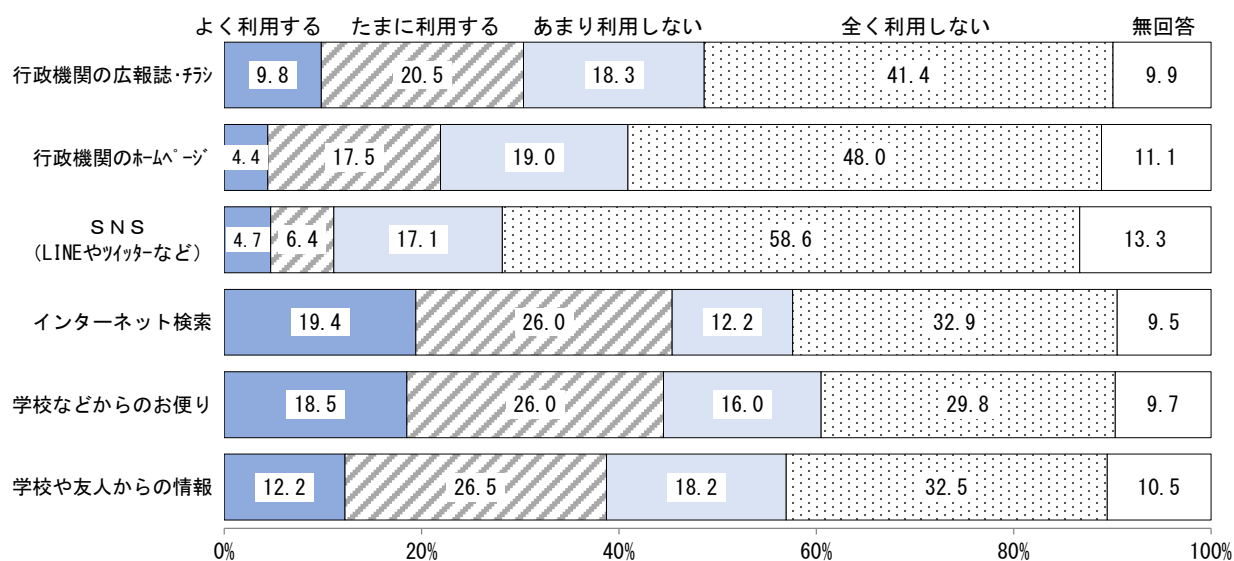
※利用件数0件 (n=0) の項目については非表示



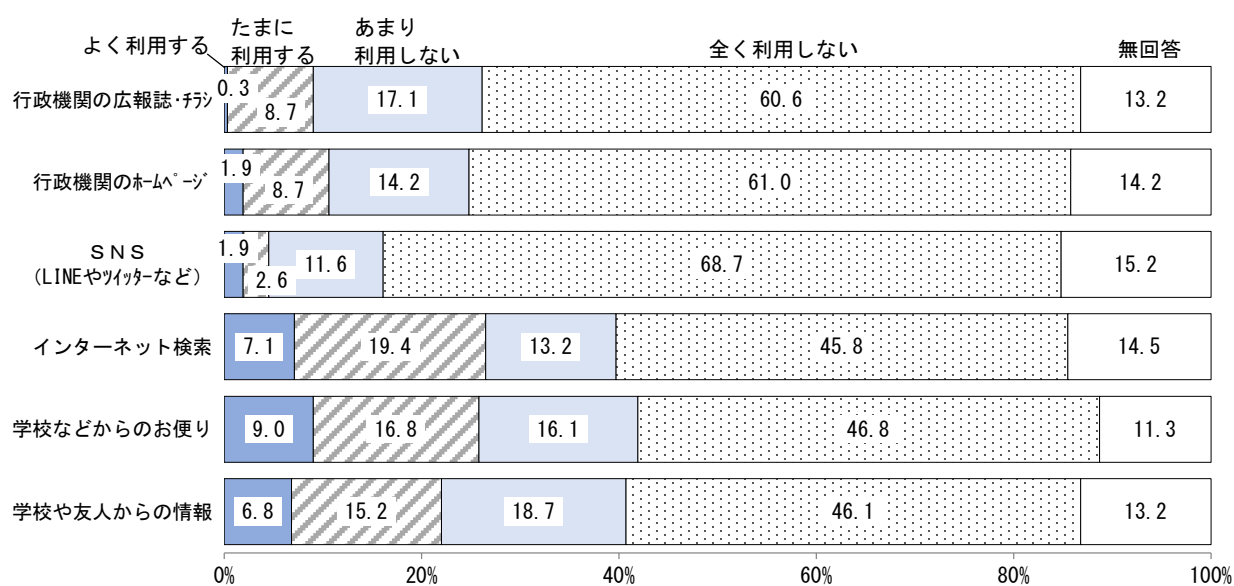
(2) 施策に関する情報の入手方法

ひとり親家庭や子どものための施策等の情報の入手方法で利用するという割合（「よく利用する」「たまに利用する」の計）でみると、母子世帯・父子世帯ともに「インターネット検索」（母子世帯 45.4%、父子世帯 26.5%）が最も高く、次いで「学校などからのお便り」（母子世帯 44.5%、父子世帯 25.8%）、「学校や友人からの情報」（母子世帯 38.7%、父子世帯 22.0%）となっている。

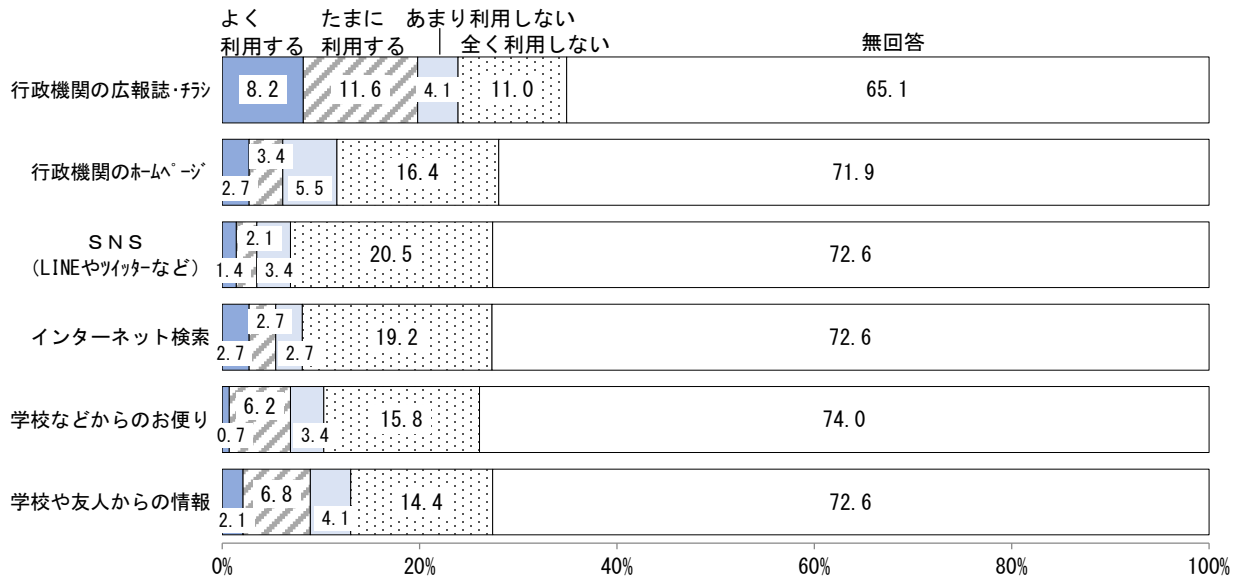
母子世帯 (n=2,105)



父子世帯 (n=310)



寡婦 (n=146)



(3) 施策に関する要望 [複数回答]

ひとり親家庭等の自立や生活安定をはかるための施策に関する要望としては、いずれも「年金・手当などの充実」が最も高く、母子世帯で44.0%、父子世帯で42.6%、寡婦で27.4%となっている。これに続くのが、母子世帯・父子世帯ではともに「給付型の奨学金制度の充実」(母子世帯41.9%、父子世帯34.5%)、「賃金上がること」(母子世帯41.6%、父子世帯33.5%)となっている。

	調査数(人)	生活上の不安や悩みの相談窓口の充実	子育ての相談窓口の充実	や情の提供	ひとり親同士で交流できる	延長保育・休日保育・緊急保育	病児保育の充実	保育所や学童保育の充実	仕事についての相談窓口の充実	技能習得講座や職業訓練の実施	技能習得・職業訓練の補助	賃金上がること
母子世帯	2,105	9.5	5.2	5.5	21.4	20.7	18.3	7.3	10.3	13.1	41.6	
父子世帯	310	7.7	7.4	9.0	12.3	11.6	11.0	3.5	4.2	5.2	33.5	
寡婦	146	21.2	6.2	8.2	9.6	9.6	11.6	5.5	6.2	2.7	10.3	

【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1,476	13.4	7.2	—	23.3	21.7	22.5	11.0	12.0	15.9	31.8
父子(H25)	312	8.0	6.4	—	15.7	7.7	15.1	6.4	6.4	7.4	26.9
寡婦(H25)	173	24.3	5.2	—	13.9	15.6	15.6	10.4	6.4	8.7	6.9

	職業訓練期間中の生活費の保障	給付型の奨学金制度の充実	子どもの学習支援の充実	児童扶養手当の増額(2人目、3人目の増額)	年金・手当などの充実	レクリエーション等の行事の充実	公営住宅を増やす母子・父子世帯向けの増やす	健康診断や医療保障の充実	家事援助ヘルパーの充実	各種施策のPRの方法	養育費確保に向けた支援
母子世帯	13	41.9	33.9	35.2	44.0	1.3	22.8	21.3	5.9	2.0	16.0
父子世帯	3	34.5	25.8	25.8	42.6	1.3	8.1	13.5	12.3	6.8	10.0
寡婦	3	9.6	5.5	5.5	27.4	2.1	9.6	18.5	8.2	3.4	4.1

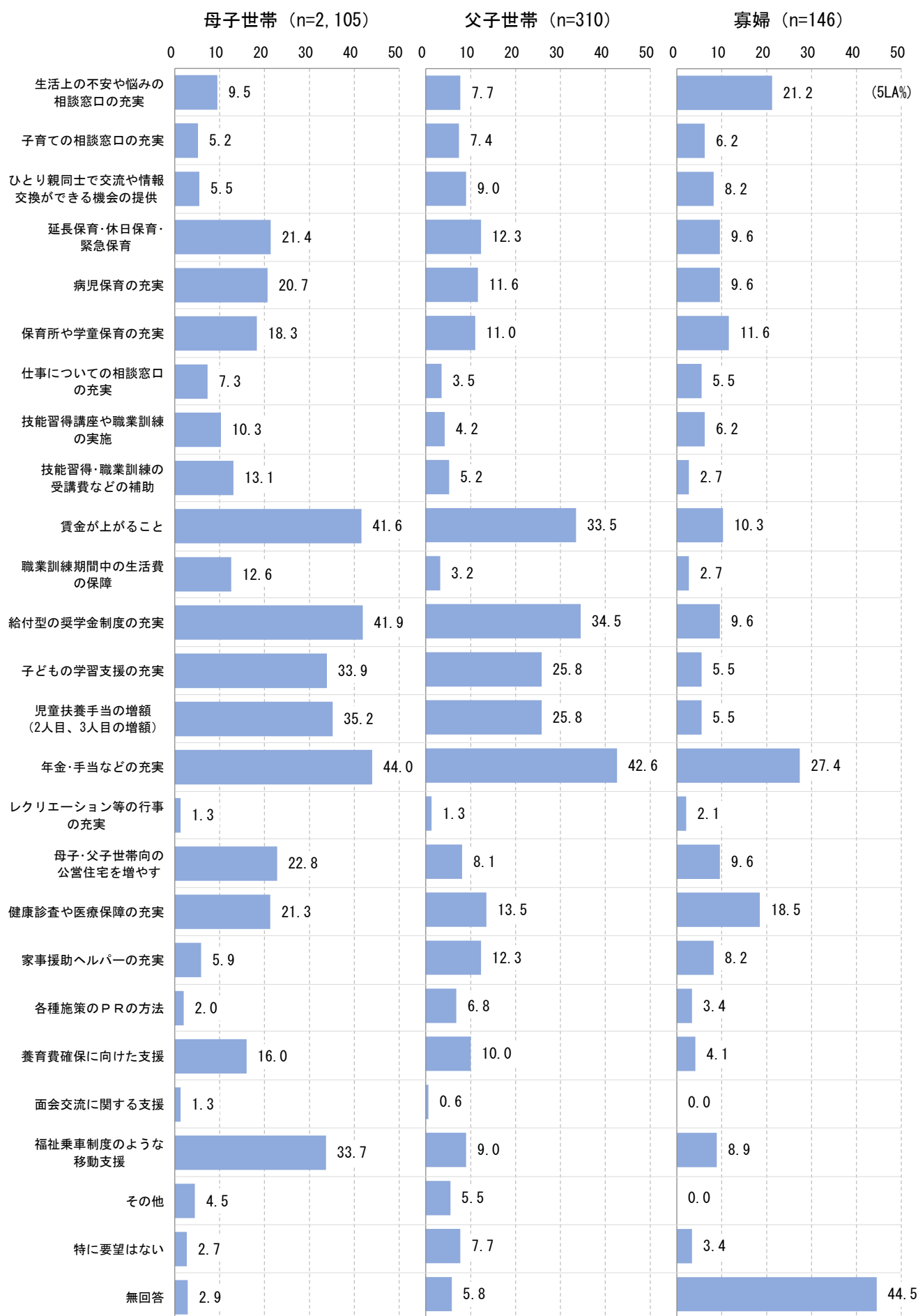
【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	15	33.4	33.9	31.8	41.0	0.7	26.2	20.8	4.2	1.8	16.1
父子(H25)	6	27.6	28.5	28.2	35.3	1.3	18.3	12.2	9.6	3.8	12.8
寡婦(H25)	8	12.1	4.0	9.2	35.8	4.6	10.4	21.4	17.3	6.9	4.0

	面会交流に関する支援	福祉移動支援制度のよう	その他	特に要望はない	無回答
母子世帯	1	33.7	4.5	2.7	2.9
父子世帯	1	9.0	5.5	7.7	5.8
寡婦	0	8.9	0.0	3.4	44.5

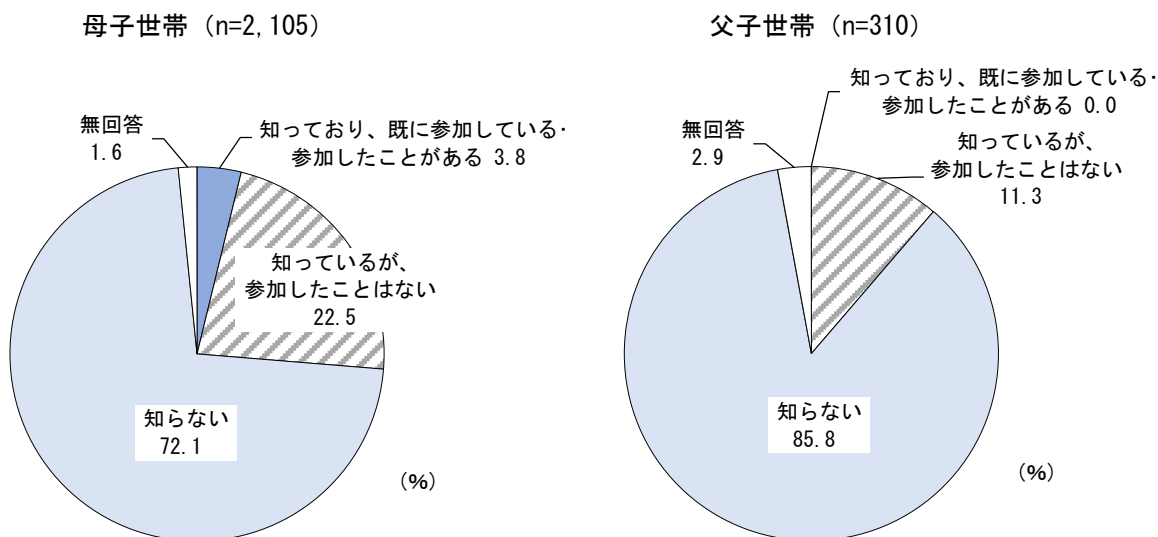
【参考】前回調査結果(平成25年度)

母子(H25)	1	31.2	3.3	2.0	6.2
父子(H25)	1	9.0	3.2	6.1	12.8
寡婦(H25)	1	13.9	1.2	4.0	26.6



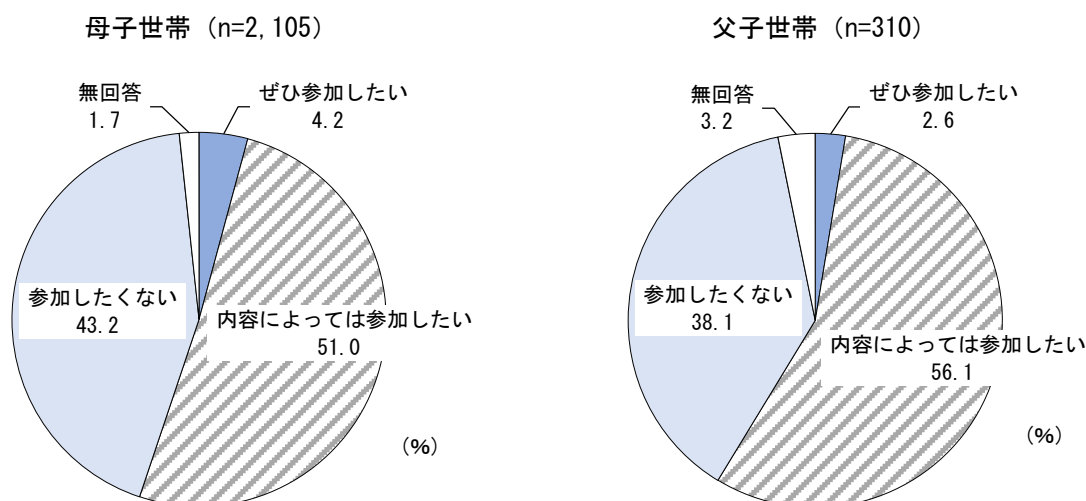
(4) 民間の支援団体の認知状況

ひとり親家庭の支援や交流などの活動をしている民間団体があることを知っている人の割合（「知っており、既に参加している・参加したことがある」「知っているが、参加したことはない」の計）は、母子世帯で26.3%、父子世帯で11.3%となっている。



(5) ひとり親家庭の交流の場への参加希望

ひとり親家庭同士が交流できる場があれば参加してみたいという割合（「ぜひ参加したい」「内容によっては参加したい」の計）は、母子世帯で55.2%、父子世帯で58.7%と、ともに5割台となっている。

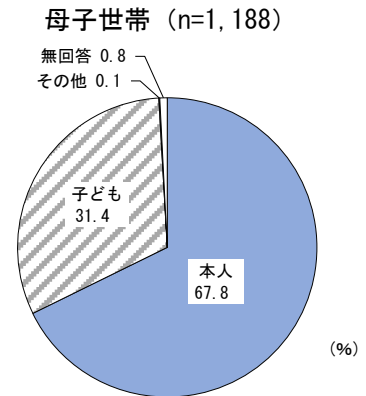


(6) 福祉乗車証の利用状況 <福祉乗車証を利用している世帯>

①福祉乗車証の利用者

福祉乗車証の利用者は、「本人」が67.8%、「子ども」が31.4%となっている。

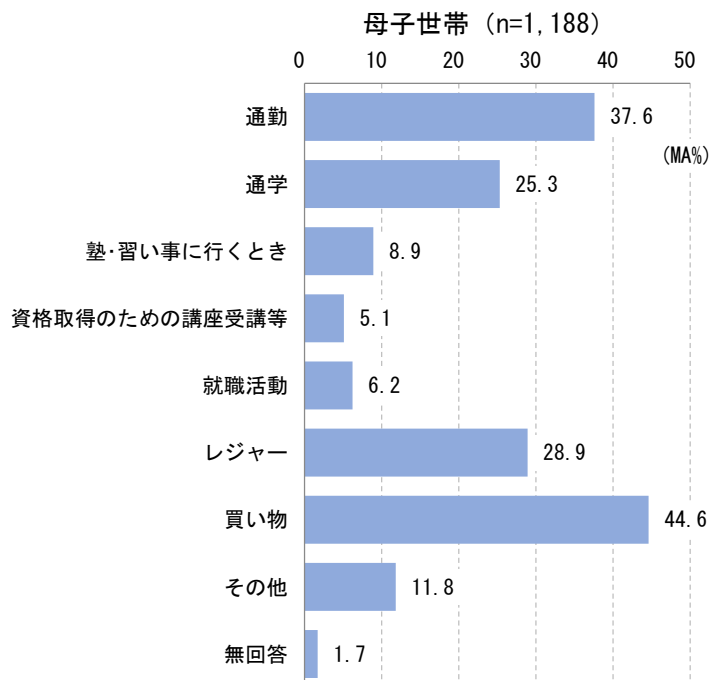
		(%)			
	調査数 (人)	本人	子ども	その他	無回答
母子世帯	1,188	67.8	31.4	0.1	0.8
【参考】前回調査結果(平成25年度)					
母子(H25)	989	74.7	28.7	0.0	0.9



②福祉乗車証の利用目的 [複数回答]

福祉乗車証の利用目的は、「買い物」が44.6%と最も高く、次いで「通勤」が37.6%、「レジャー」が28.9%、「通学」が25.3%となっている。

		(MA%)								
	調査数 (人)	通勤	通学	塾・習い事に行くとき	資格取得のための講座受講等	就職活動	レジャー	買い物	その他	無回答
母子世帯	1,188	37.6	25.3	8.9	5.1	6.2	28.9	44.6	11.8	1.7
【参考】前回調査結果(平成25年度)										
母子(H25)	989	43.6	24.4	—	6.0	11.6	21.4	38.1	10.3	0.0



③福祉乗車証の利用頻度

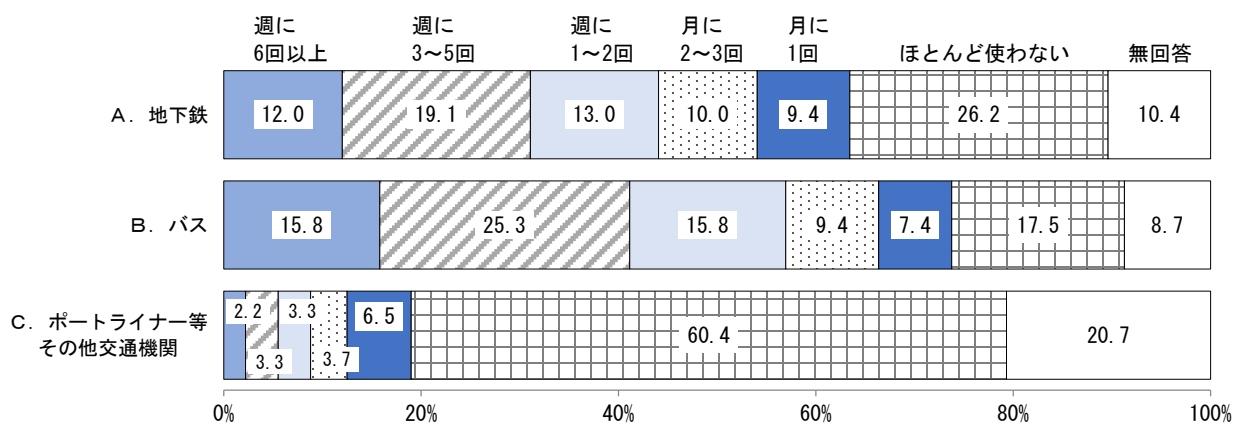
福祉乗車証の利用頻度は、週に1回以上利用の割合が『バス』で56.9%と最も高く、『地下鉄』で44.1%、『ポータライナー等その他交通機関』で8.8%となっている。

	へ 母 調 子 査 世 数 帯 (人)	週 に 6 回 以 上	週 に 3 ～ 5 回	週 に 1 ～ 2 回	月 に 2 ～ 3 回	月 に 1 回	ほ と ん ど 使 わ な い	(%) 無 回 答
A. 地下鉄	1,188	12.0	19.1	13.0	10.0	9.4	26.2	10.4
B. バス	1,188	15.8	25.3	15.8	9.4	7.4	17.5	8.7
C. ポータライナー等その他交通機関	1,188	2.2	3.3	3.3	3.7	6.5	60.4	20.7

【参考】前回調査結果（平成25年度）

A. 地下鉄	989	11.7	19.0	14.7	10.9	7.7	24.3	11.7
B. バス	989	19.3	26.1	14.7	8.9	6.0	16.3	8.8
C. ポータライナー等その他交通機関	989	1.3	3.6	2.9	4.0	7.0	62.5	18.6

母子世帯 (n=1,188)

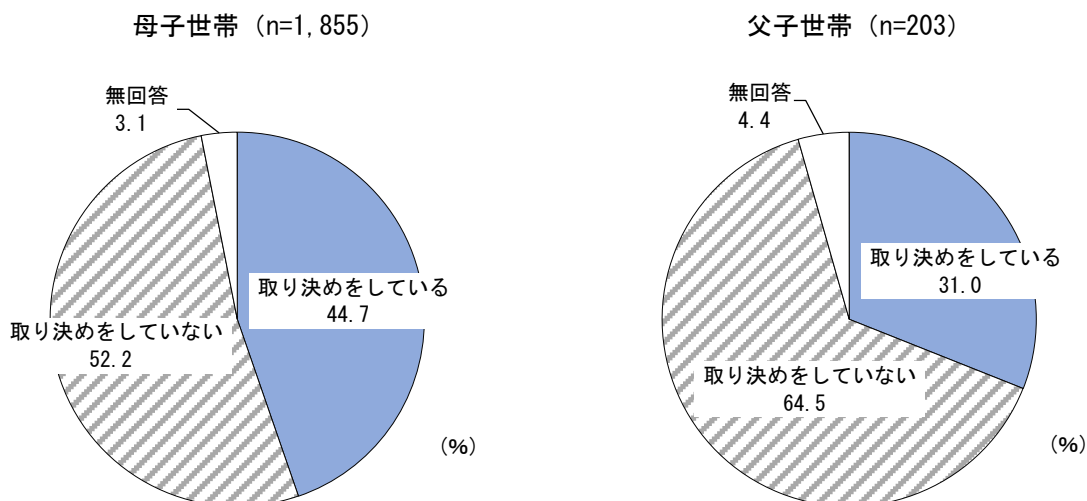


6. 養育費の状況 <離婚または非婚の世帯>

(1) 養育費の取り決め状況

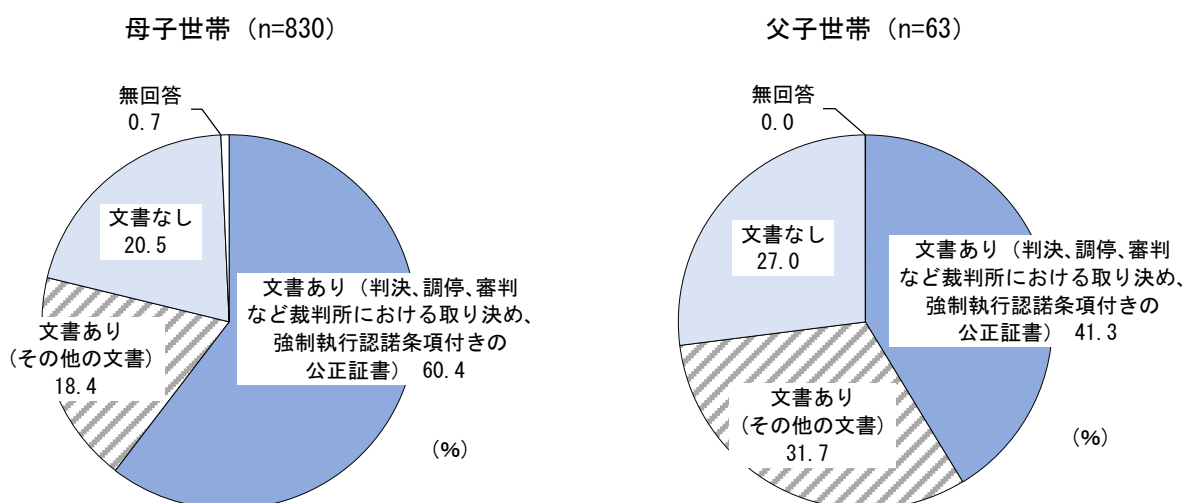
①養育費の取り決めの有無

養育費について取り決めをしている割合は、母子世帯で44.7%、父子世帯で31.0%となっている。



②養育費の取り決め方法

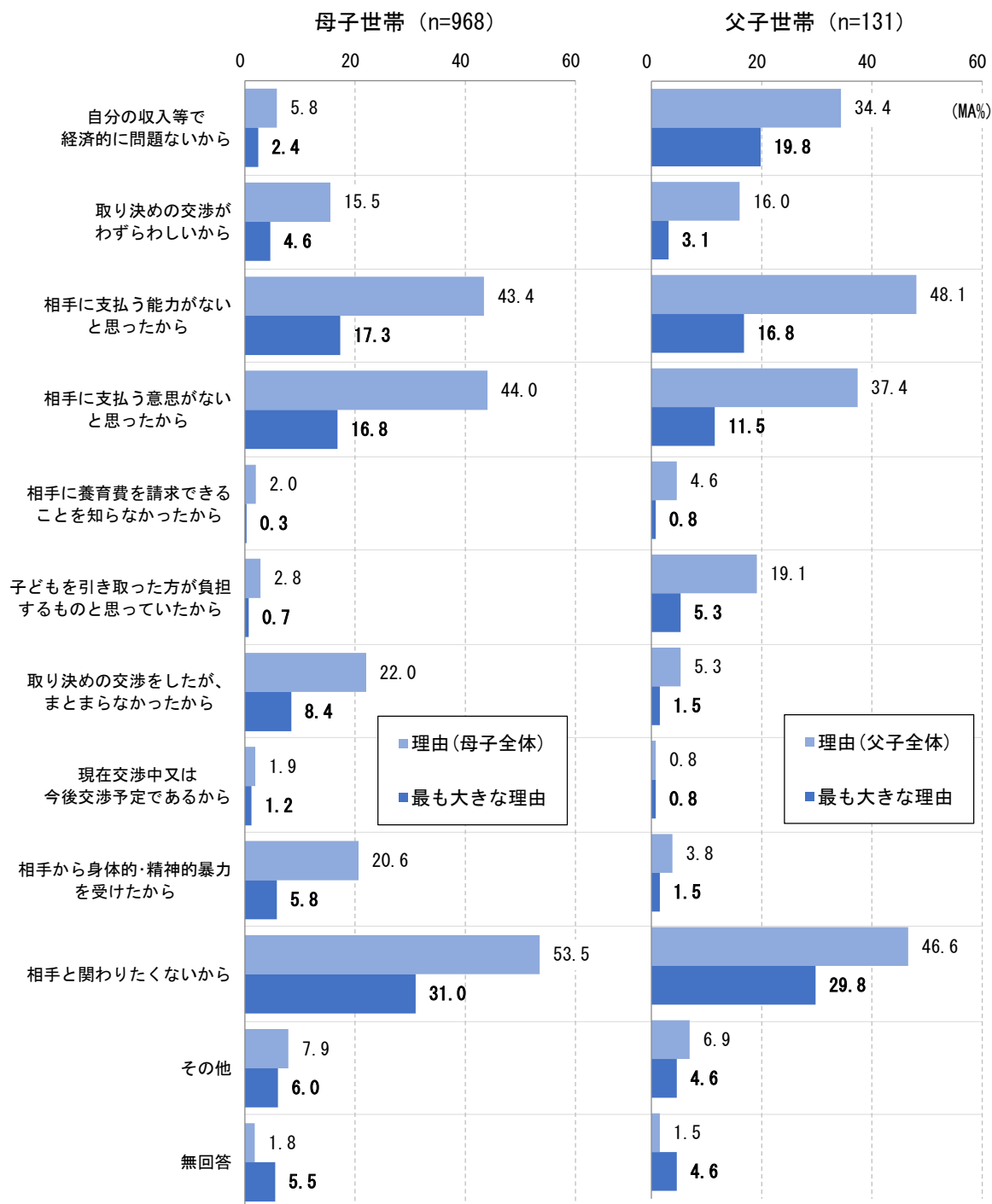
養育費の取り決め方法は、「文書あり（判決、調停、審判など裁判所における取り決め、強制執行認諾条項付きの公正証書）」が母子世帯で60.4%、父子世帯で41.3%と、ともに最も高くなっている。



③養育費の取り決めをしていない理由 [複数回答]

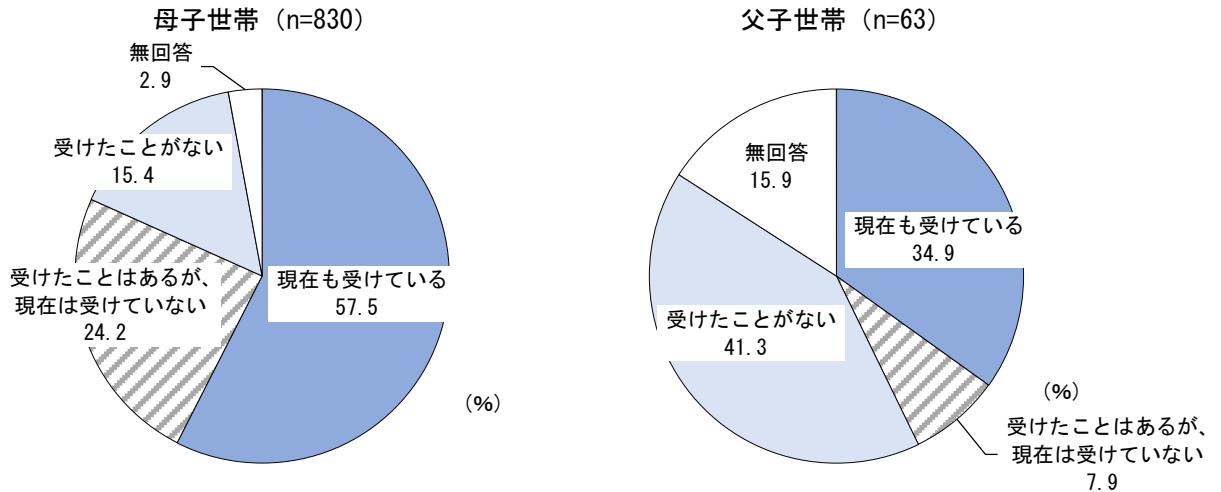
養育費の取り決めをしていない理由（複数選択合計）は、母子世帯では「相手と関わりたくないから」が53.5%、父子世帯では「相手に支払う能力がないと思ったから」が48.1%と、それぞれ最も高くなっている。

また、最も大きな理由（単一選択）でみた場合では、母子世帯・父子世帯ともに「相手と関わりたくないから」が最も高く、母子世帯で31.0%、父子世帯で29.8%となっている。



(2) 養育費の受け取り状況

養育費について取り決めをしていると回答した人の受け取り状況は、母子世帯では「現在も受けている」が57.5%、父子世帯では「受けたことがない」が41.3%と、それぞれ最も高くなっている。

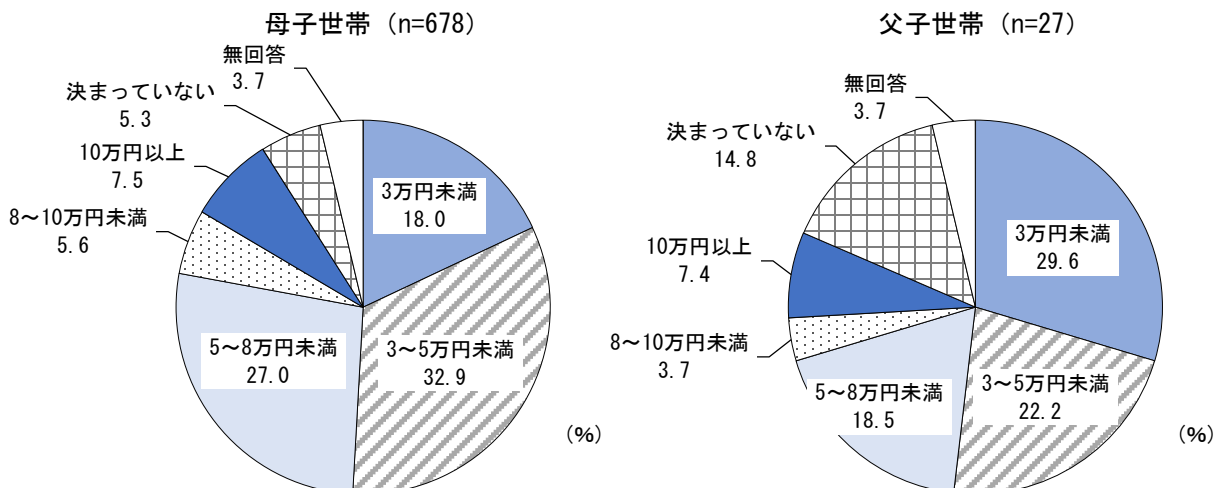


(3) 養育費の月額

養育費の月額、母子世帯では「3～5万円未満」が32.9%、父子世帯では「3万円未満」が29.6%と、それぞれ最も高くなっている。
また、月額の平均をみると、母子世帯は49,396円、父子世帯は45,545円となっている。

	調査数 (人)	3万円未満	3～5万円未満	5～8万円未満	8～10万円未満	10万円以上	決まっていない	無回答	平均 (円)
母子世帯	678	18.0	32.9	27.0	5.6	7.5	5.3	3.7	49,396
父子世帯	27	29.6	22.2	18.5	3.7	7.4	14.8	3.7	45,545

【参考】前回調査結果 (平成25年度)	調査数 (人)	3万円未満	3～5万円未満	5～8万円未満	8～10万円未満	10万円以上	決まっていない	無回答
母子 (H25)	346	28.9	36.4	19.1	5.8	6.1	—	3.8
父子 (H25)	18	33.3	44.4	5.6	0.0	5.6	—	11.1

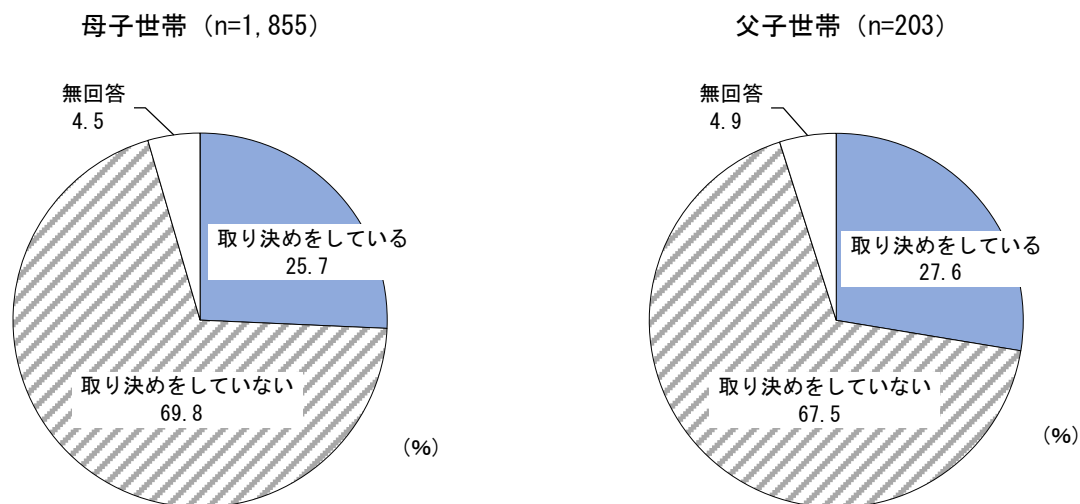


7. 面会交流の状況 <離婚または非婚の世帯>

(1) 面会交流の取り決め状況

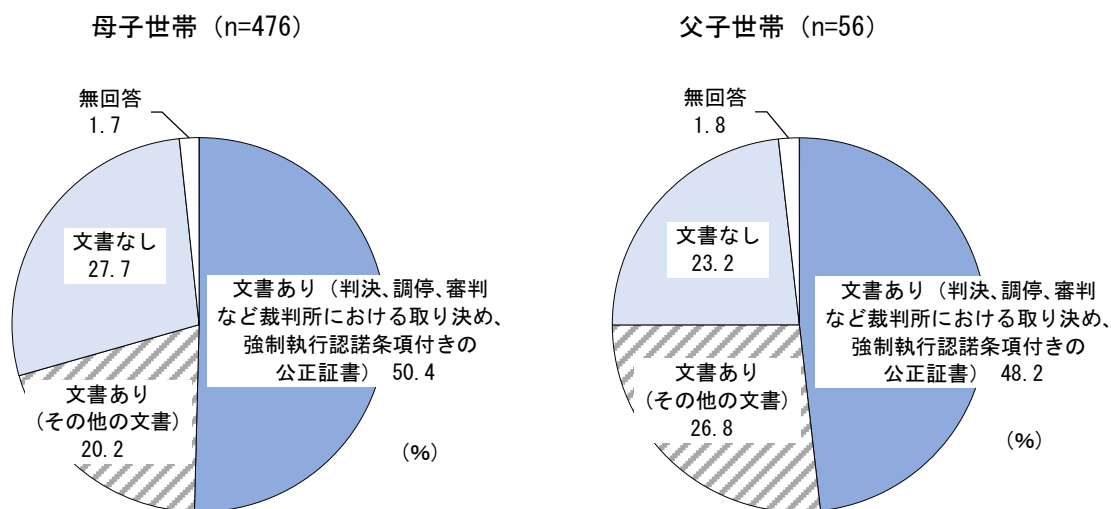
①面会交流の取り決めの有無

面会交流について取り決めをしている割合は、母子世帯で25.7%、父子世帯で27.6%となっている。



②面会交流の取り決め方法

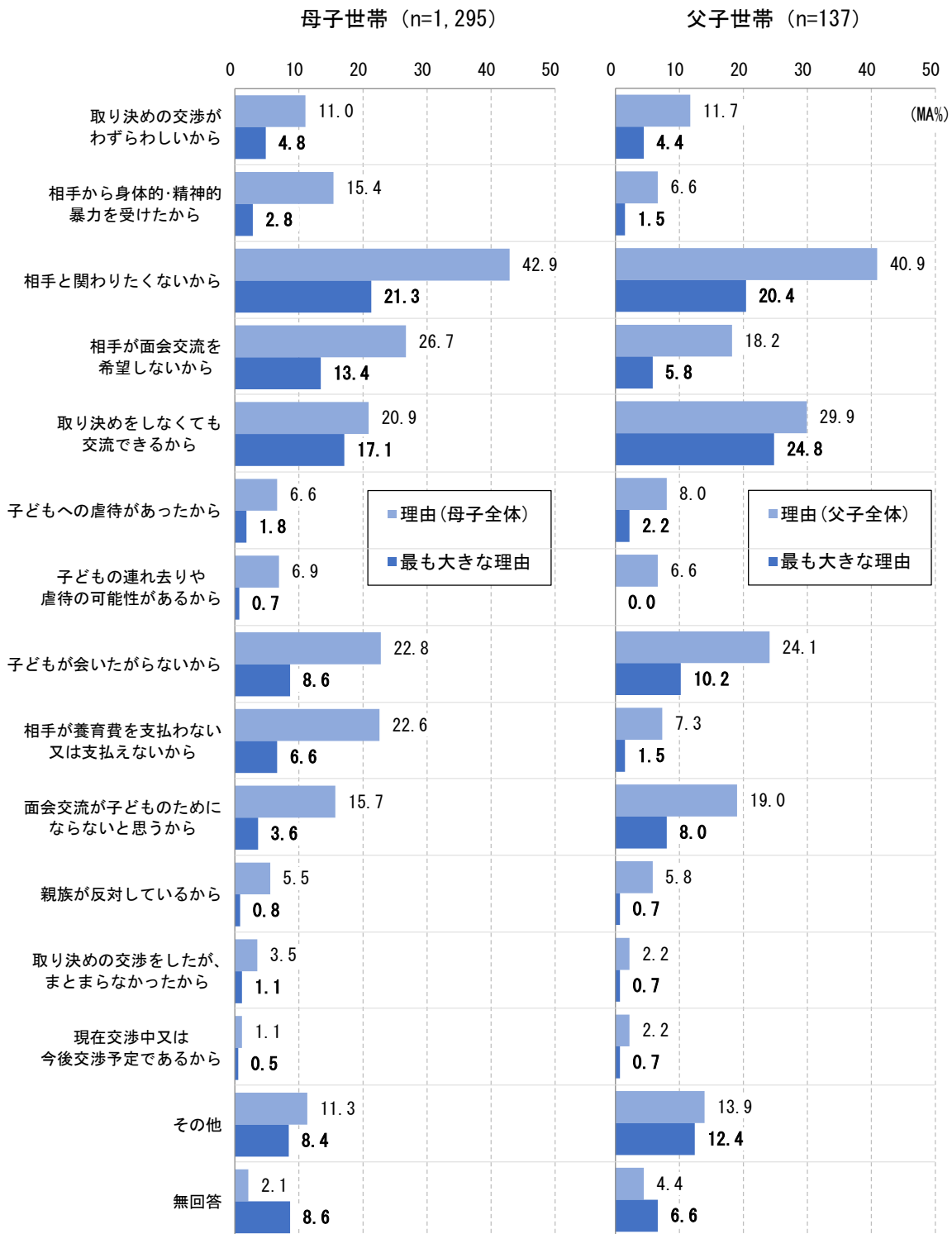
面会交流の取り決め方法は、「文書あり（判決、調停、審判など裁判所における取り決め、強制執行認諾条項付きの公正証書）」が母子世帯で50.4%、父子世帯で48.2%を占めている。



③面会交流の取り決めをしていない理由 [複数回答]

面会交流の取り決めをしていない理由（複数選択合計）は、母子世帯・父子世帯ともに「相手と関わりたくないから」が最も高く、母子世帯で42.9%、父子世帯で40.9%となっている。

また、最も大きな理由（単一選択）でみた場合、母子世帯では「相手と関わりたくないから」が21.3%、父子世帯では「取り決めをしなくても交流できるから」が24.8%と、それぞれ最も高くなっている。



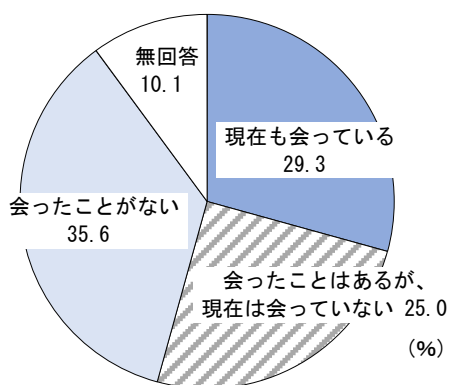
(2) 面会交流の実施状況

①面会交流の実施の有無

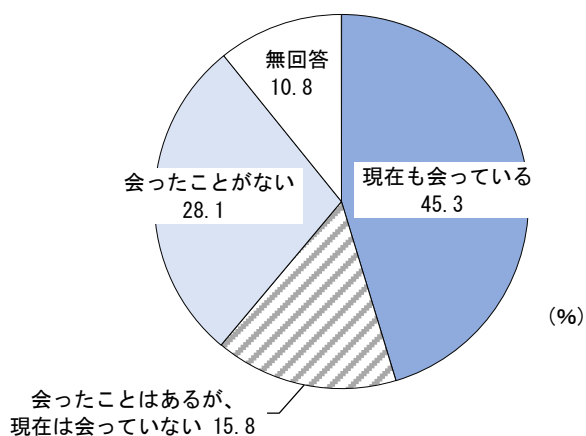
面会交流の実施の有無は、母子世帯では「会ったことがない」が 35.6%、父子世帯では「現在も会っている」が 45.3%と、それぞれ最も高くなっている。

	調査数(人)	現在も会っている	会ったことはあるが、現在は会っていない	会ったことがない	無回答
母子世帯	1,855	29.3	25.0	35.6	10.1
父子世帯	203	45.3	15.8	28.1	10.8

母子世帯 (n=1,855)



父子世帯 (n=203)

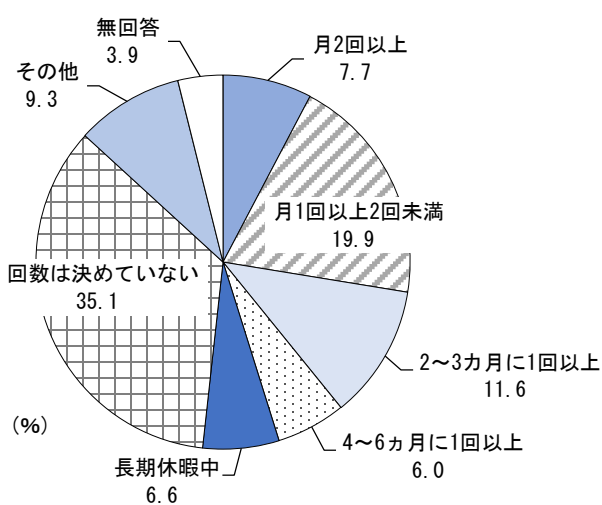


②面会交流の頻度

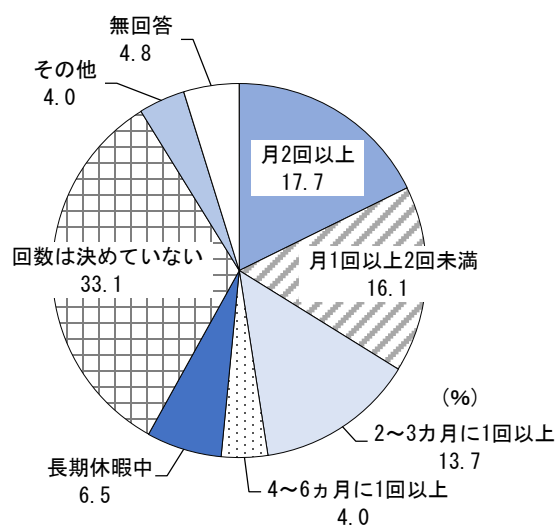
現在も会っている、または過去に会ったことがあると回答した人の面会交流の頻度は、月1回以上の割合が、母子世帯では27.6%、父子世帯では33.8%となっている。また、「回数は決めていない」がともに3割台みられる。

	調査数(人)	月2回以上	月1回以上2回未満	2～3カ月に1回以上	4～6カ月に1回以上	長期休暇中(冬休みなど)	回数は決めていない	その他	無回答
母子世帯	1,007	7.7	19.9	11.6	6.0	6.6	35.1	9.3	3.9
父子世帯	124	17.7	16.1	13.7	4.0	6.5	33.1	4.0	4.8

母子世帯 (n=1,007)

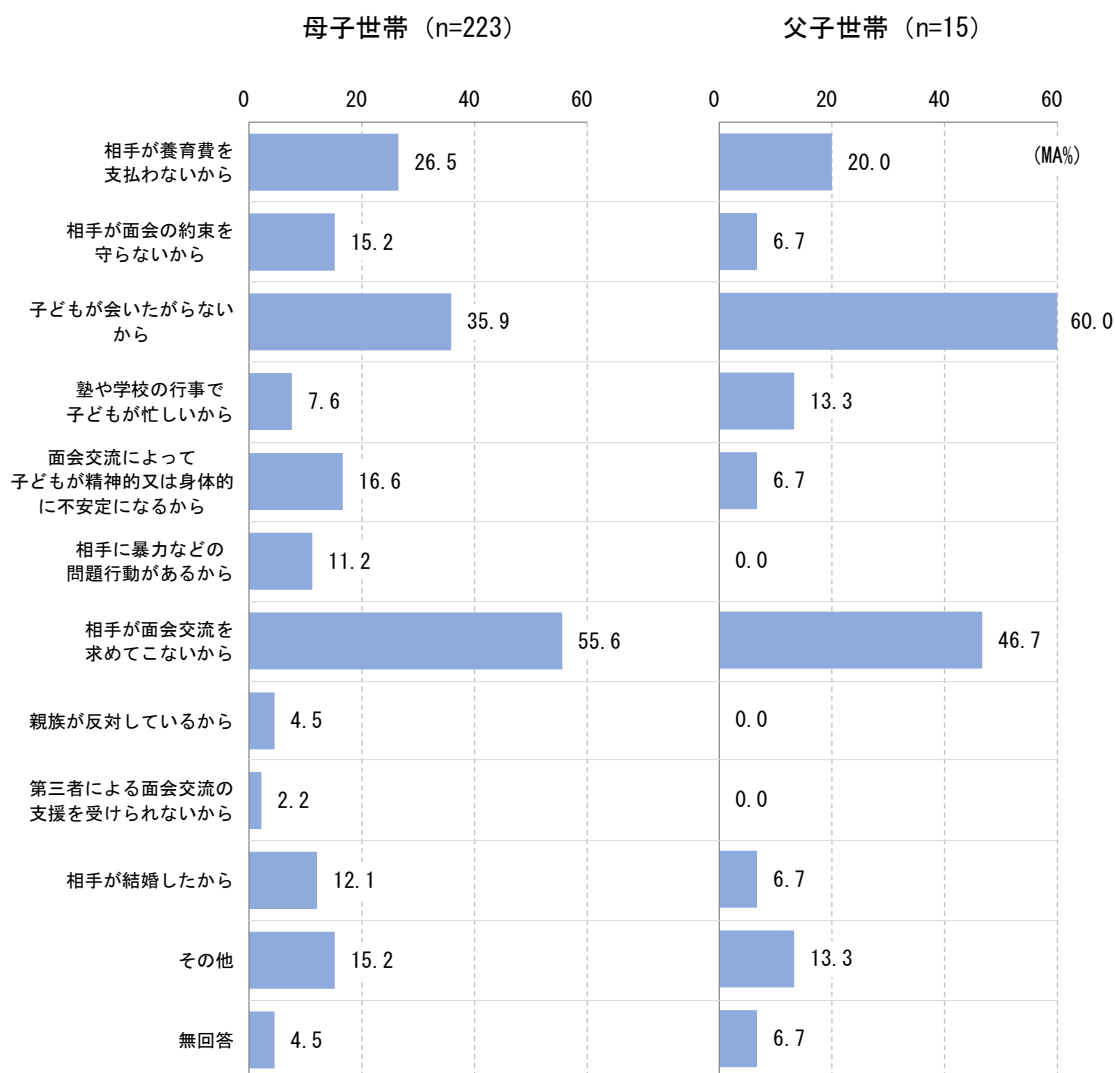


父子世帯 (n=124)



③面会交流を行っていない理由 [複数回答]

面会交流の取り決めをしているが、現在行っていない理由は、母子世帯では「相手が面会交流を求めてこないから」が55.6%、父子世帯では「子どもが会いたがらないから」が60.0%と、それぞれ最も高くなっている。



資料編

平成 30 年度 神戸市ひとり親家庭等実態調査 調査票

(母子世帯用)

【調査への協力をお願いします】

この調査は、神戸市におけるひとり親家庭の方への総合的な支援策を推進するにあたって、対象となる方の生活実態や生活上の悩み、施策に対するご意見等を把握するために行う大切な調査です。

調査票にご記入いただいた内容は、統計を作成するためにのみ使用しますので、ご記入いただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

この調査の結果は、平成 30 年度中に公表する予定です。

なお、調査票は、「配偶者のない親と、その 20 歳未満の子どもを含む世帯」を住民基本台帳から無作為抽出し、送付しております。そのため、ひとり親家庭ではない世帯の方に送付されている場合もあります。この場合も、お手数ですが、以下の《質問》の「2. 該当しない」に○をつけてご返送ください。

ご記入についてのお願い

- ①宛名のご本人をご記入ください。
- ②ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒で平成 30 年 8 月 31 日(金)までに切手を貼らずに郵便ポストに投入してください。
- ③調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
【調査の趣旨、目的など】 ことども家庭局 ことども企画育成課 ことども家庭支援課
TEL 078-322-0249 (受付時間：平日午前 9 時～午後 5 時まで)
- 【調査票の書き方、返信方法、紛失など】 調査実施本部
TEL 0120-311-207 (受付時間：平日午前 9 時～午後 5 時まで)

《質問》

あなたのご家庭はひとり親家庭に該当しますか。どちらか 1 つに○をつけてください。

「ひとり親家庭」とは
この調査で「ひとり親家庭」とは、死別、離別、非婚などにより、夫や妻（配偶者）のいない方が 20 歳未満の子どもを育てている世帯をいいます。
単身赴任、出張ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居をしている場合は除きます。また、法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も除きます。法律上の離婚に至っていないが離婚に向けて手続きが進んでいる場合などは、「1. 該当する」に○をつけてください。



1 あなたのお住まいの区は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 東灘区
- 2. 灘区
- 3. 中央区
- 4. 兵庫区
- 5. 北区
- 6. 長田区
- 7. 須磨区
- 8. 垂水区
- 9. 西区

2 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 19歳以下
- 2. 20歳～24歳
- 3. 25歳～29歳
- 4. 30歳～34歳
- 5. 35歳～39歳
- 6. 40歳～44歳
- 7. 45歳～49歳
- 8. 50歳～54歳
- 9. 55歳～59歳
- 10. 60歳～69歳
- 11. 70歳～79歳
- 12. 80歳以上

3 あなたの最終学歴は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 中学校卒業
- 2. 高校中退
- 3. 高校卒業
- 4. 短大・専門学校中退
- 5. 短大・専門学校卒業
- 6. 大学中退
- 7. 大学卒業
- 8. その他

4 あなたは現在どの健康保険に加入していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 国民健康保険
- 2. 組合管掌健康保険
- 3. 全国健康保険協会
- 4. 加入していない
- 5. わからない
- 6. その他

5 あなたは現在、年金に加入していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 加入している
- 2. 免除申請している
- 3. 加入していない
- 4. わからない

6 ひとり親家庭になった理由は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 配偶者の病死
- 2. 配偶者の交通事故死
- 3. その他の死別
- 4. 性格の不一致による離婚
- 5. 借金など経済的理由による離婚
- 6. 暴力による離婚
- 7. その他理由による離婚
- 8. 未婚・非婚
- 9. 別居(離婚は成立していない)
- 10. その他()

7 ひとり親家庭になってから現在まで、何年になりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 1. 1年未満
- 2. 1～2年未満
- 3. 2～3年未満
- 4. 3～4年未満
- 5. 4～5年未満
- 6. 5～10年未満
- 7. 10～15年未満
- 8. 15年以上

8 あなたはひとり親家庭になった当時、さしあたりどんなことでお困りでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 9. 退職や転職をしなければならなかった
- 10. 近くに身寄りや相談相手がいなかった
- 11. 子どもを預かってもらえなかった
- 12. 自分の健康状態
- 13. 自分の精神的不安定
- 14. その他()
- 15. 特に関心することはなかった
- 1. さしあてりの生活費
- 2. さしあてり住む住宅
- 3. 適当な仕事が見つからなかった
- 4. 仕事と子育ての両立
- 5. 家事の方法
- 6. 子どもの情緒的不安定
- 7. 子どもの養育・しつけ
- 8. 養育費がもらえない

9 あなたのお子さん(20歳以上の方を含む)について、年齢が上の方から順に、年齢、性別、同・別居を記入してください。就学前のお子さんについては、保育の状況について○をつけてください。学生の場合は学校の種類、公立又は私立に○をつけ、学年を記入してください。学校を卒業している子ども(または中退)の場合は、最終学歴に○をつけ、就職の状況について○をつけてください。

① 年齢	② 性別	③同居・別居	④就学前	⑤学生の場合		⑥卒業または 中退している場合	⑦公立・私立	⑧卒業 (中退) の状況 の有無	⑨現在 の就職 の有無
				⑤学校の種類	⑥学年				
(1人目)	1.男 2.女	1.同居 2.別居	1.保育園 2.幼稚園 3.認定こども園 4.自宅・他	1.小学 2.中学 3.高校 4.短大 5.大学 6.専門学校 7.他()	年	1.中卒 2.高卒 3.高校中退 4.大卒 5.大学中退 6.その他()	1.公立 2.私立	1.有 2.無	1.有 2.無
(2人目)	1.男 2.女	1.同居 2.別居	1.保育園 2.幼稚園 3.認定こども園 4.自宅・他	1.小学 2.中学 3.高校 4.短大 5.大学 6.専門学校 7.他()	年	1.中卒 2.高卒 3.高校中退 4.大卒 5.大学中退 6.その他()	1.公立 2.私立	1.有 2.無	1.有 2.無
(3人目)	1.男 2.女	1.同居 2.別居	1.保育園 2.幼稚園 3.認定こども園 4.自宅・他	1.小学 2.中学 3.高校 4.短大 5.大学 6.専門学校 7.他()	年	1.中卒 2.高卒 3.高校中退 4.大卒 5.大学中退 6.その他()	1.公立 2.私立	1.有 2.無	1.有 2.無
(4人目)	1.男 2.女	1.同居 2.別居	1.保育園 2.幼稚園 3.認定こども園 4.自宅・他	1.小学 2.中学 3.高校 4.短大 5.大学 6.専門学校 7.他()	年	1.中卒 2.高卒 3.高校中退 4.大卒 5.大学中退 6.その他()	1.公立 2.私立	1.有 2.無	1.有 2.無
(5人目)	1.男 2.女	1.同居 2.別居	1.保育園 2.幼稚園 3.認定こども園 4.自宅・他	1.小学 2.中学 3.高校 4.短大 5.大学 6.専門学校 7.他()	年	1.中卒 2.高卒 3.高校中退 4.大卒 5.大学中退 6.その他()	1.公立 2.私立	1.有 2.無	1.有 2.無

10 あなたとあなたのお子さん以外に同居している人はいいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、世帯員がいる場合は人数を()の中にご記入ください。

1. いる 2. いない

①父母 ()人 ②兄弟姉妹 ()人 ③祖父母 ()人 ④その他 ()人

＜仕事について＞

11 あなたは現在仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. している(一つの仕事をしている) 2. していない(複数の仕事をしている) 3. していない
- 1・2の方 ⇒12~23・25へ
■ 3の方 ⇒23~25へ

12 現在の主な仕事は、ひとり親家庭になる前からしていましたが、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ひとり親家庭になる前から継続している 2. ひとり親家庭になる前はしていませんでした
3. ひとり親家庭になる前も仕事はしていましたが、ひとり親家庭になってから転職した

13 (上記「12」で「3. ひとり親家庭になる前も仕事はしていたが、ひとり親家庭になってから転職した」を選択した方)にうかがいます)ひとり親家庭になる前の主な仕事は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自営業主(雇人あり)
2. 自営業主(雇人なし)
3. 家族従業者
4. 正社員・正職員
5. 準社員・臨時社員・派遣社員
6. パート・アルバイト
7. 内職・在宅就労
8. その他()

14 現在のあなたの主な仕事は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自営業主(雇人あり)
2. 自営業主(雇人なし)
3. 家族従業者
4. 正社員・正職員
5. 準社員・臨時社員・派遣社員
6. パート・アルバイト
7. 内職・在宅就労
8. その他()

15 現在の主な仕事の職種は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 管理的職業(会社役員、法人役員、議会議員 など)
2. 専門的・技術的職業(医師、看護師、保育士、保健師、介護福祉士、教員、システムエンジニア など)
3. 事務(一般事務、集金人、電話応対事務(コールセンター) など)
4. 販売(商品の販売、店主、店員、セールス など)
5. サービス職業(調理人、飲食の接客、ビル管理、ヘルパー、美容師 など)
6. 保安(自衛官、警察官、消防員、守衛、ガードマンなど)
7. 生産工程(機械組立、自動車整備、食料品製造、製品検査 など)
8. 輸送・機械運転(電車運転士、貨物自動車運転者、鉄道運送関係業務 など)
9. 建設・採掘(とび職、大工、左官、電気工事 など)
10. 運搬・清掃・包装(配達員、倉庫作業、清掃員 など)
11. その他()

16 現在の主な仕事を始めて(勤め始めて)何年ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 1年未満
- 2. 1~2年未満
- 3. 2~5年未満
- 4. 5~10年未満
- 5. 10~15年未満
- 6. 15~20年未満
- 7. 20年以上

17 現在の主な仕事は、どんな方法で探しましたか。主なものを1つ選んで○をつけてください。

- 1. 公共職業所安定所(ハローワーク)の紹介
- 2. 友人・知人の紹介
- 3. 家族や親族の紹介
- 4. 学校の紹介
- 5. 新聞などの求人広告
- 6. 企業の募集のチラシ
- 7. その他()

18 あなたの就労収入は、平均すると1年間で税込でどのくらいですか。また、世帯全体の収入(児童扶養手当、養育費、同居家族の収入などを含む)はどのくらいですか。それぞれ、あてはまる番号1つを下記に記入してください。

①あなたの就労収入：番号() ②世帯全体の収入：番号()

選択肢【1年間の収入】

- 1. 50万円未満
- 2. 50~100万円未満
- 3. 100~150万円未満
- 4. 150~200万円未満
- 5. 200~250万円未満
- 6. 250~300万円未満
- 7. 300~350万円未満
- 8. 350万~400万円未満
- 9. 400~450万円未満
- 10. 450~500万円未満
- 11. 500~600万円未満
- 12. 600~700万円未満
- 13. 700~800万円未満
- 14. 800~900万円未満
- 15. 900~1000万円未満
- 16. 1000万円以上

19 あなたの平均勤務時間、勤務日数及び通勤時間はどのくらいですか。()に記入してください。

①勤務時間()時間/日 ②勤務日数()日/週 ③通勤時間()時間()分

20 あなたの主な仕事の勤務先では通勤にかかる費用の支給がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、一部支給されている場合はその金額を記入してください。

- 1. 全額支給されている ()円/月
- 2. 一部支給されている ()円/月
- 3. 全く支給されていない
- 4. 通勤費はかからない

21 ひとり親家庭になってから今までの転職回数は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. なし
- 2. 1回
- 3. 2回
- 4. 3~5回
- 5. 6回以上

22 あなたは現在、主な仕事について転職の希望がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 転職したい
- 2. 転職するつもりはない

23 資格や技術についてお尋ねします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

資格・技術	A. 習得したいもの	B. 習得中のもの	C. 現在持っているもの	D. 仕事に役立っているもの
①看護師	1	1	1	1
②准看護師	2	2	2	2
③薬剤師	3	3	3	3
④介護福祉士	4	4	4	4
⑤保育士	5	5	5	5
⑥作業療法士	6	6	6	6
⑦理学療法士	7	7	7	7
⑧社会福祉士	8	8	8	8
⑨教員・幼稚園教諭	9	9	9	9
⑩保健師	10	10	10	10
⑪助産師	11	11	11	11
⑫栄養士	12	12	12	12
⑬社会保険労務士	13	13	13	13
⑭第2種運転免許	14	14	14	14
⑮大型免許	15	15	15	15
⑯調理師	16	16	16	16
⑰美容師・理容師	17	17	17	17
⑱歯科衛生士	18	18	18	18
⑲介護職員初任者研修	19	19	19	19
⑳ケアマネージャー	20	20	20	20
㉑医療事務	21	21	21	21
㉒パソコン・簿記処理	22	22	22	22
㉓簿記・速記など	23	23	23	23
㉔外国語()語	24	24	24	24
㉕その他()	25	25	25	25

24 (転職の方にうかがいます) あなたが今、仕事をしたいのはどんな理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 求職活動をしているが、仕事が決まらないため
- 2. 働かなくても経済的に困らないため
- 3. 自分が障害・病気のため
- 4. 子どもが障害・病気のため
- 5. 子どもが保育所へ入所できないため
- 6. 子どもの世話のために家にいたいため
- 7. 親の介護のため
- 8. 仕事につくための技能・技術の習得のため
- 9. 自分ができる仕事が見つからないため
- 10. 家から近いところに働けることがないため
- 11. 資格や技術がないため
- 12. 年齢制限のため
- 13. ひとり親家庭になったばかりのため
- 14. 小さい子どもがお仕事活動ができないため
- 15. その他()

25 (転職希望の方と無職の方にうかがいます) 仕事を探そううえで、重視する条件はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 正社員としての雇用の安定
- 2. 収入面
- 3. 休日や休暇
- 4. 職場の人間関係
- 5. 家からの通勤時間
- 6. 職種や仕事内容
- 7. 1日の労働時間や勤務時間帯
- 8. 厚生年金や社会保険などの社会保障面
- 9. 在宅でできる仕事
- 10. その他()

＜生活について＞

26 あなたは、今の生活にどの程度満足していますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

①収入	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
②仕事	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
③住宅	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
④子育て	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑤支援してくれる人々	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑥地域の人間関係	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑦生きがい	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑧生活全体	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満

27 あなたは、今の生活の上でどのような不安や悩みを持っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 収入が少ない	10. 元配偶者との関係
2. 仕事が見つかからない	11. 職場の人間関係
3. 就労が不安定	12. 子どもの通学や教育費・就職
4. 借金や負債の返済	13. 近所との人間関係
5. 労働条件が悪い	14. 自分の結婚のこと
6. 子育ての方法(子どもへの接し方やしつけ)	15. ひとり親家庭に対する偏見
7. 子どもの病気や障害	16. 将来のこと
8. 同居の家族との関係	17. その他()
9. 実家や親族との関係	18. 特になし

27-2 「15. ひとり親家庭に対する偏見」に○をつけた場合は、下記に内容を具体的に記入してください。

[]

27-3 「16. 将来のこと」に○をつけた場合は、下記に内容を具体的に記入してください。

[]

28 あなたの世帯の生活費は、何によってまかなわれていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自分の仕事による収入	7. 慰謝料や養育費など
2. 子どもや家族の仕事による収入	8. 家賃・地代・利子・配当・財産 など
3. 遺族年金・障害年金	9. 母子父子寡婦福祉資金
4. 児童扶養手当・児童手当	10. 借金
5. 生活保護	11. 預金の取り崩し
6. 親や兄弟姉妹等からの援助	12. その他

29 生活するために、1ヶ月に総額で最低どのくらいの金額が必要だと考えていますか。

1ヶ月最低 円

30 あなたの住宅は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自分名義の持ち家
2. 自分以外の名義の持ち家
3. 実家や親族の家に同居
4. 都市再生機構(UK)・公社の賃貸住宅
5. 社宅・官舎
6. 市営・県営住宅
7. 民間の賃貸住宅
8. 母子生活支援施設
9. その他

31 現在、転居希望はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 転居を予定している
2. よいところがあれば転居したい
3. 転居したいが転居できない
4. 現在のところ転居の希望はない

31-2 「3. 転居したいが転居できない」を選択された方にうかがいます。

転居できない理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 引越しの費用、敷金・礼金等の工面が難しいから
2. 現在の住居条件(広さ、駅からの距離)よりよい物件は、家賃等が高いから
3. 子どもの通学圏を変えたくない・変えられないから
4. 職場への通勤条件(通勤時間、最寄駅)を変えたくない・変えられないから
5. 市営住宅・県営住宅に応募したが落選したから
6. どこで探してもいいかわからないから
7. 住まいに関する情報が少ないから
8. 連帯保証人がいない・見つけるのが大変だから
9. その他()

32 もし、あなたやお子さんが重い病気にかかったり、入院した場合、身の回りの世話について援助を頼めるのは誰ですか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

1. 親や兄弟姉妹
2. その他の親族
3. 友人・知人
4. ヘルパーを依頼
5. その他()
6. 誰もいない

33 あなたには、何か困ったことが起きた場合に相談する相手はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. いる
2. いないが欲しい
3. いないが必要ない

33-2 「1. いる」を選択された方にうかがいます。その相談相手は誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 同居の子どもや家族
2. 別居の子ども・親・兄弟姉妹
3. その他の親族
4. 友人・知人
5. 近所の人
6. 他の母子・父子世帯の人
7. 職場の人
8. 民生委員・児童委員
9. 民間の支援団体
10. 区役所など公的機関
11. その他()

母子世帯用

34 (小学校低学年までのお子さんの方がいらっしゃいます)
 あなたが仕事などで家を空けている時、そのお子さんを誰がみていますか(みていましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 保育所(保育園)	2. 幼稚園	3. 認定こども園	4. 職場の託児所
5. 認可外(無認可)保育施設	6. 同居の子どもや家族	7. 親や兄弟姉妹	8. その他の親族
9. 近所の人	10. 友人・知人	11. ベビーシッター	
12. 放課後児童クラブ(学童保育)	13. ファミリー・サポート・センター	15. 子どもを置いて家を空けることはない	
14. その他()			

<子どもについて>

35 お子さんに關する次のような悩みはありますか(ありましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. しつけや教育に自信が持てない	9. 病気や健康問題のこと
2. しつけや教育について相談する相手がない	10. いじめ
3. 基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない	11. 不登校
4. 進学や受験のこと	12. 非行・問題行動
5. 教育費のこと	13. 就職のこと
6. 友人関係のこと	14. 結婚のこと
7. 異性関係のこと	15. その他()
8. 発達や障害のこと	16. 特になかった

36 お子さんの進学について、どの段階まで希望されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 中学卒業	2. 高校卒業	3. 短期大学・専門学校卒業
4. 大学卒業	5. 大学院卒業	6. その他

37 (小学生・中学生のお子さんの方がいらっしゃいます)

お子さんは朝ごはんを1週間に何日程度食べていますか。小学生・中学生それぞれで年齢が低い順に3人目までのお子さんについて、下の選択肢ア～オから1つをご記入ください。また、「エ.ほとんど食べない」を選択された場合は、その理由についてあてはまる番号1つをご記入ください。

	①食べる頻度	②食べる頻度	③食べる頻度	④食べる頻度	⑤食べる頻度
A. 小学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()	⑤食べる頻度	⑤食べる頻度
B. 中学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()	⑤食べる頻度	⑤食べる頻度

選択肢【食べる頻度】

ア. 毎日・ほぼ毎日 イ. 週に4～5日 ウ. 週に2～3日 エ. ほとんど食べない オ. わからない

選択肢【「エ.ほとんど食べない」を選択された場合】食べない理由】

1. 時間がない	4. 経済的な理由で用意できない
2. 子どもがおなかが空いていないと言う	5. その他
3. 食べる習慣がない	

母子世帯用

38 (小学生・中学生のお子さんの方がいらっしゃいます)
 お子さんは、放課後や長期休業中の日中、どのように過ごしていますか。小学生・中学生それぞれで年齢が低い順に3人目までのお子さんについて、下の選択肢からあてはまる番号を2つまでご記入ください。

A. 小学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()
B. 中学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()

選択肢【放課後や長期休業中の日中、過ごす場所】

1. 家族や親族と過ごしている	6. 放課後児童クラブ(学童保育)に行っている
2. 友人と過ごしている	7. 塾・習い事に行っている
3. 自宅等で一人で過ごしている	8. 障害児通所支援(放課後デイサービス等)に行っている
4. 学校でクラブ活動をしている	9. わからない
5. 神戸っ子のびのびひろばに行っている	10. その他()

39 (小学生・中学生のお子さんの方がいらっしゃいます)

お子さんは、現在塾や習い事に行っていますか。小学生・中学生それぞれで年齢が低い順に3人目までのお子さんについて○をつけてください。行っている場合、その種類の番号を次頁の選択肢から2つまで選

	①あてはまるものに○	②種類	③1か月あたりの費用
A. 小学生	1人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	2人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	3人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月

	①あてはまるものに○	②種類	③1か月あたりの費用
B. 中学生	1人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	2人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	3人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月

選択肢【塾・習い事の種類】

1. 学習塾	2. 通信教育	3. 家庭教師	4. 英語・英会話
5. 書道・そろばん	6. 音楽・絵画	7. 運動・スポーツ	8. その他

40 (小学生・中学生のお子さんの方がいらっしゃいます)

お子さんの学校での勉強の成績はどうですか。小学生・中学生それぞれで年齢が低いお子さんから3人目までの方について、下の選択肢からあてはまる番号1つをご記入ください。

A. 小学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()
B. 中学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()

選択肢【学校での成績】

1. 成績良好	2. まあまあ良好	3. 普通
4. やや遅れている	5. かなり遅れている	6. わからない



あと1/4です！ よろしくお願ひします！

41 (高校以上の学校に在学しているお子さんがおられる方)にうかがいます
 お子さんの現在の学費・教育費は何によってまかなわれていますか、主なものを3つまで○をつけてください。

- 1. 自分の収入
- 2. 親族からの援助
- 3. 養育費
- 4. 奨学金・貸付制度
- 5. 子どものアルバイト収入
- 6. その他

41-2 (「4. 奨学金・貸付制度」を選択された方にうかがいます)
 その「奨学金・貸付制度」の種類は何ですか、あてはまるものをすべて○をつけてください。

- 1. 日本学生支援機構(旧 日本育英会奨学金)
- 2. 私立高等学校入学資金貸付
- 3. 生活福祉資金
- 4. 母子父子寡婦福祉資金
- 5. 神戸市奨学金
- 6. 兵庫県高等学校教育振興奨励金
- 7. 学校独自の奨学金制度
- 8. 国の教育ローン
- 9. その他

42 (高校等への通学に公共交通機関(電車・バス等)を利用しているお子さんがおられる方にうかがいます)
 お子さんの通学への福祉乗車証の利用有無、通学に利用している交通機関、1ヵ月あたりの通学交通費(実際に負担されている額)について、年齢が低いお子さんから3人目までの方についてお答えください。交通機関については、下の選択肢からあてはまる番号をすべて記入してください。

※高校等：高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程

1人目	①通学への福祉乗車証の利用有無 (あてはまるものに○)		②通学に利用している交通機関		③1ヵ月あたりの交通費 (実際の負担額)
	1. 利用している	2. 利用していない	() () () () ()	() () () () ()	
2人目	1. 利用している	2. 利用していない	() () () () ()	() () () () ()	円/月
3人目	1. 利用している	2. 利用していない	() () () () ()	() () () () ()	円/月

選択肢【交通機関】

- 1. 神戸市営地下鉄
- 2. ポートライナー
- 3. 六甲ライナー
- 4. 神戸市バス
- 5. 神戸交通振興バス
- 6. 神姫バス
- 7. 神姫ゾーンバス
- 8. 山陽バス
- 9. 神鉄バス
- 10. 阪神バス
- 11. 阪急バス
- 12. JR 西日本
- 13. 阪急電鉄
- 14. 阪神電鉄
- 15. 北神急行電鉄
- 16. 神戸電鉄
- 17. 山陽電気鉄道
- 18. 神戸高速鉄道
- 19. 近畿日本鉄道
- 20. その他

<施策について>

43 次の施策について、知っているかどうか、利用状況、利用した感想について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

機関・制度	A. 機関・制度の認知		B. 利用状況・利用した感想			
	知っている	知らない	利用している 利用したこと がある	利用して よかった	あまり よくない	悪かった
①区役所保健福祉部子ども家庭支援課・支所 保健福祉課(母子・父子相談窓口)	1	2	1	1	2	3
②子ども家庭支援	1	2	1	1	2	3
③区役所くらし支援窓口	1	2	1	1	2	3
④民生委員・児童委員	1	2	1	1	2	3
⑤子ども家庭センター(児童相談所)	1	2	1	1	2	3
⑥ひとり親家庭支援センター	1	2	1	1	2	3
⑦母子福祉団体	1	2	1	1	2	3
⑧ハローワーク(公共職業安定所)	1	2	1	1	2	3
⑨児童扶養手当	1	2	1	1	2	3
⑩ひとり親家庭等医療費助成	1	2	1	1	2	3
⑪福祉乗車制度	1	2	1	1	2	3
⑫母子父子福祉資金貸付	1	2	1	1	2	3
⑬ひとり親家庭高等職業訓練給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑭ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑮就職に有利な資格取得支援事業	1	2	1	1	2	3
⑯ひとり親家庭等夜学推進認定講座合辦式読書事業	1	2	1	1	2	3
⑰ひとり親家庭のための無料法律相談	1	2	1	1	2	3
⑱ひとり親家庭のための就業相談	1	2	1	1	2	3
⑲母子生活支援施設	1	2	1	1	2	3
⑳母子・父子世帯向け市営住宅募集	1	2	1	1	2	3
㉑ひとり親世帯家賃補助制度	1	2	1	1	2	3
㉒保育所・一時保育	1	2	1	1	2	3
㉓ひとり親家庭等日常生活支援事業	1	2	1	1	2	3
㉔子育てワレプレッシュユースタイム事業	1	2	1	1	2	3
㉕放課後児童クラブ(学童保育)	1	2	1	1	2	3
㉖子どもの居場所づくり事業	1	2	1	1	2	3
㉗ファミリー・サポート・センター	1	2	1	1	2	3
㉘その他()	1	2	1	1	2	3

各施策の内容は、神戸市ホームページ、子育て応援ウェブサイト「ママフレ」をご参照ください。


 ①神戸市ホームページ
 ②ひとり親家庭支援のページ

 ③ママフレ(子育て応援ウェブサイト)

44 ひとり親家庭や子どものための施策等の情報を得るために、以下のものをどの程度利用していますか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

方法	よく利用する	たまに利用する	あまり利用しない	全く利用しない
①行政機関の広報誌・チラシ	1	2	3	4
②行政機関のホームページ	1	2	3	4
③SNS(LINE やツイッターなど)	1	2	3	4
④インターネット検索	1	2	3	4
⑤学校などからのお便り	1	2	3	4
⑥学校や友人からの情報	1	2	3	4

45 ひとり親家庭等の自立や生活安定をはかるため、あなたが国や県・市の行政に充実してほしいことは何でしょうか。あてはまるものを5つまで選んで○をつけてください。

1. 生活上の不安や悩み相談窓口の充実	14. 児童扶養手当の増額(2人目、3人目の増額)
2. 子育ての相談窓口の充実	15. 年金・手当などの充実
3. ひとり親同士で交流や情報交換ができる機会の提供	16. レクリエーション等の行事の充実
4. 延長保育・休日保育・緊急保育	17. 母子・父子世帯向けの公営住宅を増やす
5. 病児保育の充実	18. 健康診査や医療保障の充実
6. 保育所や学童保育の充実	19. 家事援助ヘルパーの充実
7. 仕事についての相談窓口の充実	20. 各種施策のPRの方法
8. 技能習得講座や職業訓練の実施	21. 養育費確保に向けた支援
9. 技能習得・職業訓練の受講費などの補助	22. 面会交流に関する支援
10. 資金が上がること	23. 福祉乗車制度のような移動支援
11. 職業訓練期間中の生活費の保障	24. その他()
12. 給付型の奨学金制度の充実	25. 特に要望はない
13. 子どもの学習支援の充実	

46 ひとり親家庭の支援や交流など、様々な活動をしている民間の団体があることを知っていますか。

1. 知っており、既に参加している・参加したことがある(団体名:)
2. 知っているが、参加したことはない
3. 知らない

47 ひとり親家庭の方が交流できる場があれば、参加してみたいと思いますか。

1. ぜひ参加したい
2. 内容によっては参加したい
3. 参加したくない

48 (母子家庭のための福祉乗車証を利用されている方にかがいます)どなたが利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 本人	2. 子ども	3. その他()
-------	--------	-----------

49 (母子家庭のための福祉乗車証を利用されている方にかがいます)福祉乗車証をどのような時に利用しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 通勤	2. 通学	3. 塾・習い事に行くとき	4. 資格取得のための講座受講等
5. 就職活動	6. レジャー	7. 買い物	8. その他()

50 (母子家庭のための福祉乗車証を利用されている方にかがいます)福祉乗車証を週又は月に何回利用しますか。あてはまるものに○をつけ、記入してください。

A. 地下鉄		
1. 週に()回程度利用する	2. 月に()回程度利用する	3. ほとんど使わない
B. バス		
1. 週に()回程度利用する	2. 月に()回程度利用する	3. ほとんど使わない
C. ポートライナー等その他交通機関		
1. 週に()回程度利用する	2. 月に()回程度利用する	3. ほとんど使わない

51 ひとり親家庭等の福祉行政に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記入ください。

<養育費・面会交流について> 以下は、離婚の方・非婚の方のみお答えください。

52 養育費について取り決めをしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 取り決めをしている	2. 取り決めをしていない
--------------	---------------

52-2 「1. 取り決めをしている」を選択された方にかがいます)

取り決めの方法について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 文書あり(判決、調停、審判など裁判所における取り決め、強制執行記録添付付きの公正証書)
2. 文書あり(その他の文書)
3. 文書なし

総務省届出済
神戸市 4 号

秘

平成 30 年度 神戸市ひとり親家庭等実態調査 調査票

(父子世帯用)

(調査への協力をお願いします)

この調査は、神戸市におけるひとり親家庭の方への総合的な支援策を推進するために行う大切な調査です。調査票にご記入いただいた内容は、統計を作成するためにのみ使用しますので、ご記入いただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

この調査の結果は、平成 30 年度中に公表する予定です。

なお、調査票は、「配偶者がいない親」と、その 20 歳未満の子どもを含む世帯を住民基本台帳から無作為抽出し、送付しております。そのため、ひとり親家庭ではない世帯の方に送付されている場合もあります。この場合も、お手数ですが、以下の《質問》の「2. 該当しない」に○をつけてご返送ください。

ご記入についてのおお願い

- ①宛名のご本人がご記入ください。
- ②ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒で平成 30 年 8 月 31 日(金)までに切手を貼らずに郵便ポストに投入してください。
- ③調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査の趣旨、目的など】 ことども家庭局 ことども企画育成部 ことども家庭支援課

TEL 078-322-0249 (受付時間：平日午前 9 時～午後 5 時まで)

【調査票の書き方、返信方法、返信など】 調査実施本部

TEL 0120-311-207 (受付時間：平日午前 9 時～午後 5 時まで)

《質問》

あなたのご家庭はひとり親家庭に該当しますか。どちらか 1 つに○をつけてください。

「ひとり親家庭」とは

この調査で「ひとり親家庭」とは、死別、離別、非婚などにより、夫や妻(配偶者)のいない方が 20 歳未満の子どもを育てている世帯をいいます。

単身赴任、出張ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居をしている場合は除きます。また、法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も除きます。法律上の離婚に至っていないが離婚に向けて手続きが進んでいる場合は、「1. 該当する」に○をつけてください。

1. 該当する



2. 該当しない

これで調査は終わりです。

同封の返信用封筒でご返送ください。

ご協力ありがとうございました。

父子世帯用

1 あなたのお住まいの区は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 東灘区
2. 灘区
3. 中央区
4. 兵庫区
5. 長田区
6. 須磨区
7. 垂水区
8. 北区
9. 西区

2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 19歳以下
2. 20歳～24歳
3. 25歳～29歳
4. 30歳～34歳
5. 35歳～39歳
6. 40歳～44歳
7. 45歳～49歳
8. 50歳～54歳
9. 55歳～59歳
10. 60歳～69歳
11. 70歳～79歳
12. 80歳以上

3 あなたの最終学歴は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 中学校卒業
2. 高校中退
3. 高校卒業
4. 短大・専門学校中退
5. 短大・専門学校卒業
6. 大学中退
7. 大学卒業
8. その他

4 あなたは現在の健康保険に加入していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 国民健康保険
2. 組合管掌健康保険
3. 全国健康保険協会
4. 加入していない
5. わからない
6. その他

5 あなたは現在、年金に加入していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 加入している
2. 免除申請している
3. 加入していない
4. わからない

6 ひとり親家庭になった理由は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者の病死
2. 配偶者の交通事故死
3. その他の死別
4. 性格の不一致による離婚
5. 借金など経済的理由による離婚
6. 暴力による離婚
7. その他理由による離婚
8. 未婚・非婚
9. 別居(離婚は成立していない)
10. その他()

7 ひとり親家庭になってから現在まで、何年になりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 1年未満
2. 1～2年未満
3. 2～3年未満
4. 3～4年未満
5. 4～5年未満
6. 5～10年未満
7. 10～15年未満
8. 15年以上

8 あなたはひとり親家庭になった当時、さしあたりどんなことでお困りでしたか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

1. さしあたるりの生活費
2. さしあたるり住む住宅
3. 適当な仕事が見つからなかった
4. 仕事と子育ての両立
5. 家事の方法
6. 子どもの情緒的不安定
7. 子どもの養育・しつけ
8. 養育費がもらえない
9. 退職や転職をしなければならなかった
10. 近くに身寄りや相談相手がいなかった
11. 子どもを預かってもらう先
12. 自分の健康状態
13. 自分の精神的不安定
14. その他()
15. 特に関心することはなかった

16 現在の主な仕事を始めて(勤め始めて)何年ですか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 1年未満 2. 1~2年未満 3. 2~5年未満 4. 5~10年未満
 5. 10~15年未満 6. 15~20年未満 7. 20年以上

17 現在の主な仕事は、どんな方法で探しましたか、主なものを1つ選んで○をつけてください。

1. 公共職業所安定所(ハローワーク)の紹介
 2. 友人・知人の紹介
 3. 家族や親族の紹介
 4. 学校の紹介
 5. 新聞などの求人広告
 6. 企業の募集のチラシ
 7. その他()

18 あなたの就労収入は、平均すると1年間で税込でどのくらいですか。また、世帯全体の収入(児童扶養手当、養育費、同居家族の収入などを含む)はどのくらいですか。それぞれ、あてはまる番号1つを下記に記入してください。

①あなたの就労収入 : 番号 () ②世帯全体の収入 : 番号 ()

選択肢【1年間の収入】

1. 50万円未満 2. 50~100万円未満 3. 100~150万円未満 4. 150~200万円未満
 5. 200~250万円未満 6. 250~300万円未満 7. 300~350万円未満 8. 350万~400万円未満
 9. 400~450万円未満 10. 450~500万円未満 11. 500~600万円未満 12. 600~700万円未満
 13. 700~800万円未満 14. 800~900万円未満 15. 900~1000万円未満 16. 1000万円以上

19 あなたの平均勤務時間、勤務日数及び通勤時間はどのくらいですか。()に記入してください。

①勤務時間()時間/日 ②勤務日数()日/週 ③通勤時間()時間()分

20 あなたの主な仕事の勤務先では通勤にかかる費用の支給がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、一部支給されている場合はその金額を記入してください。

1. 全額支給されている 2. 一部支給されている()円/月
 3. 全く支給されていない 4. 通勤費はかからない

21 ひとり親家庭になつてから今までの転職回数、次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. なし 2. 1回 3. 2回 4. 3~5回 5. 6回以上

22 あなたは現在、主な仕事について転職の希望がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 転職したい 2. 転職するつもりはない

23 資格や技術についてお尋ねします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

資格・技術	A. 習得したもの	B. 習得中のもの	C. 現在持っているもの	D. 仕事に役立っているもの
① 看護師	1	1	1	1
② 准看護師	2	2	2	2
③ 薬剤師	3	3	3	3
④ 介護福祉士	4	4	4	4
⑤ 保育士	5	5	5	5
⑥ 作業療法士	6	6	6	6
⑦ 理学療法士	7	7	7	7
⑧ 社会福祉士	8	8	8	8
⑨ 教員・幼稚園教諭	9	9	9	9
⑩ 保健師	10	10	10	10
⑪ 助産師	11	11	11	11
⑫ 栄養士	12	12	12	12
⑬ 社会保険労務士	13	13	13	13
⑭ 第2種運転免許	14	14	14	14
⑮ 大型免許	15	15	15	15
⑯ 調理師	16	16	16	16
⑰ 美容師・理容師	17	17	17	17
⑱ 歯科衛生士	18	18	18	18
⑲ 介護職員初任者研修	19	19	19	19
⑳ アマチュージャー	20	20	20	20
㉑ 医療事務	21	21	21	21
㉒ パソコン・情報処理	22	22	22	22
㉓ 簿記・速記など	23	23	23	23
㉔ 外国語()	24	24	24	24
㉕ その他()	25	25	25	25

24 (無職の方にうかがいます) あなたが今、仕事をしていないのはどんな理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 求職活動をしているが、仕事が決まらないため 9. 自分ができる仕事が見つからないため
 2. 働かなくても経済的に困らないため 10. 家から近いところに働ける場所がないため
 3. 自分が障害・病気のため 11. 資格や技術がないため
 4. 子どもが障害・病気のため 12. 年齢制限のため
 5. 子どもが保育所・入所できないため 13. ひとり親家庭になつたばかりのため
 6. 子どもの世話のために家にいたいため 14. 小さい子どもがお仕事活動ができないため
 7. 親の介護のため 15. その他()
 8. 仕事につくための技能・技術の習得中のため

25 (転職希望の方と無職の方にうかがいます) 仕事を探そううえで、重視する条件はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 正社員としての雇用の安定 6. 職種や仕事内容
 2. 収入面 7. 1日の労働時間や勤務時間
 3. 休日や休暇 8. 厚生年金や社会保険などの社会保障面
 4. 職場の人間関係 9. 在宅でできる仕事
 5. 家からの通勤時間 10. その他()

父子世帯用

34 (小学校低学年までのお子さんの方がいる方がいます)
 あなたが仕事などで家を空けている時、そのお子さんを誰がみていますか(みていましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 保育所(保育園)	2. 幼稚園	3. 認定こども園	4. 職場の託児所
5. 認可外(無認可)保育施設	6. 同居の子どもや家族	7. 親や兄弟姉妹	8. その他の親族
9. 近所の人	10. 友人・知人	11. ペピーシッター	
12. 放課後児童クラブ(学童保育)	13. ファミリー・サポート・センター	15. 子どもを置いて家を空けることはない	
14. その他()			

＜子どもについて＞

35 お子さんに關する次のような悩みはありますか(ありましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. しつけや教育に自信が持てない	9. 病気や健康問題のこと
2. しつけや教育について相談する相手がない	10. いじめ
3. 基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない	11. 不登校
4. 進学や受験のこと	12. 非行・問題行動
5. 教育費のこと	13. 就労のこと
6. 友人関係のこと	14. 結婚のこと
7. 異性関係のこと	15. その他()
8. 発達や障害のこと	16. 特になかった

36 お子さんの進学について、どの段階まで希望されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 中学卒業	2. 高校卒業	3. 短期大学・専門学校卒業
4. 大学卒業	5. 大学院卒業	6. その他

37 (小学生・中学生のお子さんがおられる方がいます)
 お子さんは朝ごはんを1週間に何日程度食べていますか。小学生・中学生それぞれで年齢が低い順に3人目までのお子さんについて、下の選択肢ア～オから1つをご記入ください。また、「エ.ほとんど食べない」を選択された場合は、その理由についてあてはまる番号1つをご記入ください。

	①食べる頻度	②食べる理由	③食べる頻度	④食べる理由	⑤食べる頻度	⑥食べる理由
A. 小学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()	エの場合のみ	エの場合のみ	エの場合のみ
B. 中学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()	⑤食べない理由	⑥食べない理由	

選択肢「食べる頻度」
 ア. 毎日・ほぼ毎日 イ. 週に4～5日 ウ. 週に2～3日 エ. ほとんど食べない オ. わからない

選択肢「(「エ. ほとんど食べない」を選択された場合) 食べない理由」
 1. 時間がない
 2. 子どもがおなかを空いていないと言う
 3. 食べる習慣がない
 4. 経済的な理由で用意できない
 5. その他

父子世帯用

38 (小学生・中学生のお子さんがおられる方がいます)
 お子さんは、放課後や長期休業中の日中、どのように過ごしていますか。小学生・中学生それぞれで年齢が低い順に3人目までのお子さんについて、下の選択肢からあてはまる番号を2つまでご記入ください。

A. 小学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()
B. 中学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()

選択肢「放課後や長期休業中の日中、過ごす場所」
 6. 放課後児童クラブ(学童保育)に行っている
 7. 塾・習い事に行っている
 8. 隣接児童通所支援(放課後デイサービス等)に行っている
 9. わからない
 10. その他()

39 (小学生・中学生のお子さんがおられる方がいます)
 お子さんは、現在塾や習い事に行っていますか。小学生・中学生それぞれで年齢が低い順に3人目までのお子さんについて○をつけてください。行っている場合、その種類の番号を次頁の選択肢から2つまで選び、1ヵ月あたりの費用を記入してください。

	①あてはまるものに○	②種類	(行っている場合)③1ヵ月あたりの費用
A. 小学生	1人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	2人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	3人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月

	①あてはまるものに○	②種類	(行っている場合)③1ヵ月あたりの費用
B. 中学生	1人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	2人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月
	3人目 1.行っている 2.行っていない () ()	() ()	円/月

選択肢「塾・習い事の種類」
 1. 学習塾 2. 通信教育 3. 家庭教師 4. 英語・英会話
 5. 書道・そろばん 6. 音楽・絵画 7. 運動・スポーツ 8. その他

40 (小学生・中学生のお子さんがおられる方がいます)
 お子さんの学校での勉強の成績はどうですか。小学生・中学生それぞれで年齢が低いお子さんから3人目までの方について、下の選択肢からあてはまる番号1つをご記入ください。

A. 小学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()
B. 中学生	1人目 () () ()	2人目 () () ()	3人目 () () ()

選択肢「学校での成績」
 1. 成績良好 2. まあまあ良好 3. 普通
 4. やや遅れている 5. かなり遅れている 6. わからない



あと1/4です！ よろしくお願ひします！

41 (高校以上の学校に在学しているお子さんがおられる方にうかがいます)
 お子さんの現在の学費・教育費は何によってまかなわれていますか、主なものを3つまで○をつけてください。

- 1. 自分の収入
- 2. 親族からの援助
- 3. 養育費
- 4. 奨学金・貸付制度
- 5. 子どものアルバイト収入
- 6. その他

41-2 (「4. 奨学金・貸付制度」を選択された方にうかがいます)
 その「奨学金・貸付制度」の種類は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 日本学生支援機構(旧 日本育英会奨学金)
- 2. 私立高等学校入学資金貸付
- 3. 生活福祉資金
- 4. 神戸市奨学金
- 5. 兵庫県高等学校教育振興会奨学金
- 6. 学校独自の奨学金制度
- 7. 国の教育ローン
- 8. 母子父子寡婦福祉資金
- 9. その他

42 (高校等への通学に公共交通機関(電車・バス等)を利用していらっしゃるお子さんがおられる方にうかがいます)
 お子さんの通学に利用している交通機関、1ヵ月あたりの通学交通費(実際に負担されている額)について、年齢が低いお子さんから3人目までの方についてお答えください。交通機関については、下の選択肢からあてはまる番号をすべて記入してください。

※高校等：高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程

①通学に利用している交通機関		②1ヵ月あたりの交通費 (実際の負担額)	
1人目	() () () () () ()	円/月	
2人目	() () () () () ()	円/月	
3人目	() () () () () ()	円/月	

選択肢 [交通機関]

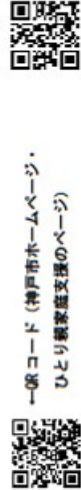
- 1. 神戸市営地下鉄
- 2. ポートライナー
- 3. 六甲ライナー
- 4. 神戸市バス
- 5. 神戸交通振興バス
- 6. 神姫バス
- 7. 神姫ソーンバス
- 8. 山陽バス
- 9. 神鉄バス
- 10. 阪神バス
- 11. 阪急バス
- 12. JR西日本
- 13. 阪急電鉄
- 14. 阪神電鉄
- 15. 北神急行電鉄
- 16. 神戸電鉄
- 17. 山陽電気鉄道
- 18. 神戸高速鉄道
- 19. 近畿日本鉄道
- 20. その他

<施策について>

43 次の施策について、知っているかどうか、利用状況、利用した感想について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

機関・制度	A. 機関・制度の認知		B. 利用状況・利用した感想			
	知っている	知らない	利用している・利用したことある	利用してよかつた	あまりよくない	悪かつた
①区役所保健福祉部子ども家庭支援課・支所 保健福祉課(母子・父子相談窓口)	1	2	1	1	2	3
②子ども家庭支援室	1	2	1	1	2	3
③区役所くらし支援窓口	1	2	1	1	2	3
④民生委員・児童委員	1	2	1	1	2	3
⑤子ども家庭センター(児童相談所)	1	2	1	1	2	3
⑥ひとり親家庭支援センター	1	2	1	1	2	3
⑦母子福祉団体	1	2	1	1	2	3
⑧ハローワーク(公共職業安定所)	1	2	1	1	2	3
⑨児童扶養手当	1	2	1	1	2	3
⑩ひとり親家庭等医療費助成	1	2	1	1	2	3
⑪母子父子福祉資金貸付	1	2	1	1	2	3
⑫ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑬ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑭職歴に有利な資格取得支援事業	1	2	1	1	2	3
⑮ひとり親家庭等学校卒業後修得型職業訓練給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑯ひとり親家庭のための無料法律相談	1	2	1	1	2	3
⑰ひとり親家庭のための就業相談	1	2	1	1	2	3
⑱母子生活支援施設	1	2	1	1	2	3
⑲母子・父子世帯向け市営住宅募集	1	2	1	1	2	3
⑳ひとり親世帯家賃補助制度	1	2	1	1	2	3
㉑保育所・一時保育	1	2	1	1	2	3
㉒ひとり親家庭等日常生活支援事業	1	2	1	1	2	3
㉓子育てプレジデンステイ事業	1	2	1	1	2	3
㉔放課後児童クラブ(学童保育)	1	2	1	1	2	3
㉕子どもの居場所づくり事業	1	2	1	1	2	3
㉖ファミリーサポートセンター	1	2	1	1	2	3
㉗その他()	1	2	1	1	2	3

各施策の内容は、神戸市ホームページ、子育て応援ウェブサイト「ママフレ」をご参照ください。



一級コード(神戸市ホームページ、ひとり親家庭支援のページ)

一級コード(子育て応援ウェブサイト「ママフレ」)

44 ひとり親家庭や子どものための施策等の情報を得るために、以下のものをどの程度利用していますか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。

方法	よく利用する	たまに利用する	あまり利用しない	全く利用しない
①行政機関の広報誌・チラシ	1	2	3	4
②行政機関のホームページ	1	2	3	4
③SNS(LINE やツイッターなど)	1	2	3	4
④インターネット検索	1	2	3	4
⑤学校などからのお便り	1	2	3	4
⑥学校や友人からの情報	1	2	3	4

45 ひとり親家庭等の自立や生活安定をはかるため、あなたが国や県・市の行政に充実してほしいことは何でしょうか。あてはまるものを5つまで選んで○をつけてください。

1. 生活上の不安や悩み相談窓口の充実	14. 児童扶養手当の増額(2人目、3人目の増額)
2. 子育ての相談窓口の充実	15. 年金・手当などの充実
3. ひとり親同士で交流や情報交換ができる機会の提供	16. レクリエーション等の行事の充実
4. 延長保育・休日保育・緊急保育	17. 母子・父子世帯向けの公営住宅を増やす
5. 病児保育の充実	18. 健康診査や医療保障の充実
6. 保育所や学童保育の充実	19. 家事援助ヘルパーの充実
7. 仕事についての相談窓口の充実	20. 各種施策のPRの方法
8. 技能習得講座や職業訓練の実施	21. 養育費確保に向けた支援
9. 技能習得・職業訓練の受講費などの補助	22. 面会交流に関する支援
10. 賃金が上がること	23. 福祉乗車制度のような移動支援
11. 職業訓練期間中の生活費の保障	24. その他()
12. 給付型の奨学金制度の充実	25. 特に要望はない
13. 子どもの学習支援の充実	

46 ひとり親家庭の支援や交流など、様々な活動をしている民間の団体があることを知っていますか。

1. 知っており、既に参加している。参加したことがある(団体名:)
2. 知っているが、参加したことはない
3. 知らない

47 ひとり親家庭の方が交流できる場があれば、参加してみたいと思いますか。

1. ぜひ参加したい
2. 内容によっては参加したい
3. 参加したくない

48 ひとり親家庭等の福祉行政に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記入ください。

＜養育費・面会交流について＞ 以下は、離婚の方・非婚の方のみお答えください。

49 養育費について取り決めをしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 取り決めをしている

49-2 「1. 取り決めをしている」を選択された方にうかがいます

取り決めの方法について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 文書あり(判決、調停、審判など裁判所における取り決め、強制執行記録発付付きの公正証書)
2. 文書あり(その他の文書)
3. 文書なし

49-3 「2. 取り決めをしていない」を選択された方にうかがいます

あなたが養育費の取り決めをしていない理由は何かですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自分の収入等で経済的に問題ないから
2. 取り決めの交渉がむずかしいから
3. 相手に支払う能力がないと思ったから
4. 相手に支払う意思がないと思ったから
5. 相手に養育費を請求できることを知らなかったから
6. 子どもを引き取った方が負担するものと思っていたから
7. 取り決めの交渉をしたが、まとまらなかったから
8. 現在交渉中又は今後交渉予定であるから
9. 相手から身体的・精神的暴力を受けたから
10. 相手と関わりたくないから
11. その他()

49-3-2 取り決めをしていない理由のうち、最も大きな理由の番号を右の欄に

記入してください。

番号 ()

49-4 「1. 取り決めをしている」を選択された方にうかがいます

養育費の支払いについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在も受けている
2. 受けたことはあるが、現在は受けていない
3. 受けたことがない

49-4-2 (「1. 現在も受けている」「2. 受けたことはあるが、現在は受けていない」を選択された方)にうかがいます) 養育費の月の平均総額 (子どもすべてに支払われる総額) を記入してください。

1. 月額	約	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円	2. 決まっていない
-------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---	------------

50 面会交流 (お子さんがもう一方の親と会うこと) について取り決めをしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 取り決めをしている	2. 取り決めをしていない
--------------	---------------

50-2 (「1. 取り決めをしている」を選択された方)にうかがいます)

取り決めの方法について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 文書あり(調停、審判など裁判所における取り決め)
2. 文書あり(その他の文書)
3. 文書なし

50-3 (「2. 取り決めをしていない」を選択された方)にうかがいます)

あなたが面会交流の取り決めをしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 取り決めの交渉がすすまないから	8. 子どもが会いたがらないから
2. 相手から身体的・精神的暴力を受けたから	9. 相手が養育費を支払わない又は支払えないから
3. 相手と関わりたくないから	10. 面会交流が子どものためにならないと思うから
4. 相手が面会交流を希望しないから	11. 親族が反対しているから
5. 取り決めをしながらも交流できるから	12. 取り決めの交渉をしたが、まだまらなかつたから
6. 子どもへの虐待があったから	13. 現在交渉中又は今後交渉予定であるから
7. 子どもの連れ去りや虐待の可能性があるから	14. その他()

50-3-2 取り決めをしていない理由のうち、最も大きな理由の番号を右の欄に

番号 ()

記入してください。

51 面会交流の実施状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 現在も受けている	3. 会ったことがない
2. 会ったことはあるが、現在は会っていない	

51-2 (「1. 現在も受けている」「2. 会ったことはあるが、現在は会っていない」を選択された方)にうかがいます)

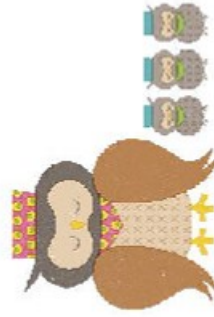
面会交流の頻度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 月2回以上	2. 月1回以上2回未満	3. 2～3か月に1回以上
4. 4～6か月に1回以上	5. 長期休暇中(夏休み・冬休みなど)	6. 回数は決めていない
7. その他()		

51-3 (50で「1. 取り決めをしている」を選択し、51で「2. 会ったことはあるが、現在は会っていない」「3. 会ったことがない」を選択された方)にうかがいます)

現在、面会交流を行っていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相手が養育費を支払わないから
2. 相手が面会の約束を守らないから
3. 子どもが会いたがらないから
4. 塾や学校の行事で子どもが忙しいから
5. 面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になるから
6. 相手に暴力などの問題行動があるから
7. 相手が面会交流を求めてこないから
8. 親族が反対しているから
9. 第三者による面会交流の支援を受けられないから
10. 相手が結婚したから
11. その他()



賑わります！おつかれさまでした！

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、8月31日(金)までにご返送ください。



平成30年度 神戸市ひとり親家庭等実態調査 調査票

(専断世帯用)

(調査への協力をお願い)

この調査は、神戸市におけるひとり親家庭の方への総合的な支援策を推進するにあたって、対象となる方の生活実態や生活上の悩み、施策に対するご意見等を把握するために行う大切な調査です。

なお、調査票にご記入いただいた内容は、統計を作成するためにのみ使用しますので、ご記入いただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

この調査の結果は、平成30年度中に公表する予定です。

ご記入についてお願い

①宛名のご本人がご記入ください。

②ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒で平成30年8月31日(金)までに切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

③調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査の趣旨、目的など】 ことば家庭局 ことば企画育成部 ことば家庭支援課

TEL 078-322-0249 (受付時間：平日午前9時～午後5時まで)

【調査票の書き方、返信方法、紛失など】 調査実施本部

TEL 0120-311-207 (受付時間：平日午前9時～午後5時まで)

1 あなたのお住まいの区は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 東灘区
- 2. 灘区
- 3. 中央区
- 4. 兵庫区
- 5. 北区
- 6. 長田区
- 7. 須磨区
- 8. 垂水区
- 9. 西区

2 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 19歳以下
- 2. 20歳～24歳
- 3. 25歳～29歳
- 4. 30歳～34歳
- 5. 35歳～39歳
- 6. 40歳～44歳
- 7. 45歳～49歳
- 8. 50歳～54歳
- 9. 55歳～59歳
- 10. 60歳～69歳
- 11. 70歳～79歳
- 12. 80歳以上

3 あなたの最終学歴は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 中学校卒業
- 2. 高校中退
- 3. 高校卒業
- 4. 短大・専門学校中退
- 5. 短大・専門学校卒業
- 6. 大学中退
- 7. 大学卒業
- 8. その他()

4 あなたは現在どの健康保険に加入していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 国民健康保険
- 2. 組合管掌健康保険
- 3. 全国健康保険協会
- 4. 加入していない
- 5. わからない
- 6. その他

5 あなたは現在、年金に加入していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 加入している
- 2. 免除申請している
- 3. 加入していない
- 4. わからない

6 ひとり親家庭になった理由は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 配偶者の病死
- 2. 配偶者の交通事故死
- 3. その他の死別
- 4. 性格の不一致による離婚
- 5. 借金など経済的理由による離婚
- 6. 暴力による離婚
- 7. その他理由による離婚
- 8. 未婚・非婚
- 9. 別居(離婚は成立していない)
- 10. その他()

7 あなたはひとり親家庭になった当時、さしあたりどんなことでお困りでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. さしあたりの生活費
- 2. さしあたり住居
- 3. 適当な仕事が見つからなかった
- 4. 仕事と子育ての両立
- 5. 家事の方法
- 6. 子どもの情緒的不安定
- 7. 子どもの養育・しつけ
- 8. 養育費がもらえない
- 9. 退職や転職をしなければならなかった
- 10. 近くに身寄りや相談相手がいなかった
- 11. 子どもを預かってもらえなかった
- 12. 自分の健康状態
- 13. 自分の精神的不安定
- 14. その他()
- 15. 特に困ることはなかった

＜仕事について＞

10 あなたは現在仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. している(一つの仕事をしている) 2. している(複数の仕事をしている) 3. していない

■ 1・2の方 ⇒11～21へ

■ 3の方 ⇒21～23へ

11 現在の主な仕事は、ひとり親家庭になる前からしていませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ひとり親家庭になる前から継続している 2. ひとり親家庭になる前はしていませんが
3. ひとり親家庭になる前も仕事はしていましたが、ひとり親家庭になってから転職した

12 (上記「11」)で「3. ひとり親家庭になる前も仕事はしていたが、ひとり親家庭になってから転職した」を選択した方にうかがいます)ひとり親家庭になる前の主な仕事は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自営業主(雇人あり) 5. 準社員・臨時社員・派遣社員
2. 自営業主(雇人なし) 6. パート・アルバイト
3. 家族従業者 7. 内職・在宅就労
4. 正社員・正職員 8. その他()

13 現在のあなたの主な仕事は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自営業主(雇人あり) 5. 準社員・臨時社員・派遣社員
2. 自営業主(雇人なし) 6. パート・アルバイト
3. 家族従業者 7. 内職・在宅就労
4. 正社員・正職員 8. その他()

14 現在の主な仕事の職種は次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 管理的職業(会社役員、法人役員、議会議員 など)
2. 専門的・技術的職業(医師、看護師、保育士、保健師、介護福祉士、教員、システムエンジニア など)
3. 事務(一般事務、集金人、電話応対事務(コールセンター) など)
4. 販売(商品の販売、店主、店員、セールス など)
5. サービス職業(調理人、飲食の接客、ビル管理、ヘルパー、美容師 など)
6. 保安(自衛官、警察官、消防員、守衛、ガードマンなど)
7. 生産工程(機械組立、自動車整備、食料品製造、製品検査 など)
8. 輸送・機械運転(電車運転士、貨物自動車運転者、鉄道運輸関係業務 など)
9. 建設・採掘(土石工、大工、左官、電気工事 など)
10. 運搬・清掃・包装(配達員、倉庫作業、清掃員 など)
11. その他()

8 あなたのお子さん(20歳以上の方を含む)について、年齢が上の方から順に、年齢、性別、同・別居を記入してください。就学前のお子さんについては、保育の状況について○をつけてください。学生の場合は学校の種類、公立又は私立に○をつけ、学年を記入してください。学校を卒業している子ども(または中退)の場合は、最終学歴に○をつけ、就職の状況について○をつけてください。

① 年齢	② 性別	③ 同居・別居	④ 就学前	⑤ 学生の場合			⑥ 卒業または中退している場合	⑦ 現在の職業の有無
				⑧ 学校の種類	⑨ 学年	⑩ 公立・私立		
(1人目)	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 自宅・他	1. 小学 2. 中学 3. 高校 4. 短大 5. 大学 6. 専門学校 7. 他()	年	1. 中卒 2. 高卒 3. 高校中退 4. 大卒 5. 大学中退 6. その他()	1. 有 2. 無	
(2人目)	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 自宅・他	1. 小学 2. 中学 3. 高校 4. 短大 5. 大学 6. 専門学校 7. 他()	年	1. 中卒 2. 高卒 3. 高校中退 4. 大卒 5. 大学中退 6. その他()	1. 有 2. 無	
(3人目)	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 自宅・他	1. 小学 2. 中学 3. 高校 4. 短大 5. 大学 6. 専門学校 7. 他()	年	1. 中卒 2. 高卒 3. 高校中退 4. 大卒 5. 大学中退 6. その他()	1. 有 2. 無	
(4人目)	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 自宅・他	1. 小学 2. 中学 3. 高校 4. 短大 5. 大学 6. 専門学校 7. 他()	年	1. 中卒 2. 高卒 3. 高校中退 4. 大卒 5. 大学中退 6. その他()	1. 有 2. 無	
(5人目)	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 自宅・他	1. 小学 2. 中学 3. 高校 4. 短大 5. 大学 6. 専門学校 7. 他()	年	1. 中卒 2. 高卒 3. 高校中退 4. 大卒 5. 大学中退 6. その他()	1. 有 2. 無	

9 あなたとあなたのお子さん以外に同居している人はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、世帯員がいる場合は人数を()の中にご記入ください。

1. いる 2. いない

① 父母 ()人 ② 兄弟姉妹 ()人 ③ 祖父母 ()人 ④ その他 ()人

15 現在の主な仕事を始めて(勤め始めて)何年ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 1年未満 2. 1~2年未満 3. 2~5年未満 4. 5~10年未満
 5. 10~15年未満 6. 15~20年未満 7. 20年以上

16 現在の主な仕事は、どんな方法で探しましたか。主なものを1つ選んで○をつけてください。

1. 公共職業安定所(ハローワーク)の紹介
 2. 友人・知人の紹介
 3. 家族や親族の紹介
 4. 学校の紹介
 5. 新聞などの求人広告
 6. 企業の募集のチラシ
 7. その他()

17 あなたの就労収入は、平均すると1年間で税込でどのくらいですか。また、世帯全体の収入(児童扶養手当、養育費、同居家族の収入などを含む)はどのくらいですか。それぞれ、あてはまる番号1つを下記に記入してください。

①あなたの就労収入：番号() ②世帯全体の収入：番号()

選択肢【1年間の収入】

1. 50万円未満 2. 50~100万円未満 3. 100~150万円未満 4. 150~200万円未満
 5. 200~250万円未満 6. 250~300万円未満 7. 300~350万円未満 8. 350万~400万円未満
 9. 400~450万円未満 10. 450~500万円未満 11. 500~600万円未満 12. 600~700万円未満
 13. 700~800万円未満 14. 800~900万円未満 15. 900~1000万円未満 16. 1000万円以上

18 あなたの平均勤務時間、勤務日数及び通勤時間はどのくらいですか。()に記入してください。

①勤務時間()時間/日 ②勤務日数()日/週 ③通勤時間()時間()分

19 あなたの主な仕事の勤務先では通勤にかかる費用の支給がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、一部支給されている場合はその金額を記入してください。

1. 全額支給されている 2. 一部支給されている(円/月)
 3. 全く支給されていない 4. 通勤費はかからない

20 あなたは現在、主な仕事について転職の希望がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 転職したい 2. 転職するつもりはない

21 資格や技術についてお尋ねします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

資格・技術	A. 習得したいもの	B. 習得中のもの	C. 現在持っているもの	D. 仕事に役立っているもの
①看護師	1	1	1	1
②准看護師	2	2	2	2
③薬剤師	3	3	3	3
④介護福祉士	4	4	4	4
⑤保育士	5	5	5	5
⑥作業療法士	6	6	6	6
⑦理学療法士	7	7	7	7
⑧社会福祉士	8	8	8	8
⑨教員・幼稚園教諭	9	9	9	9
⑩保健師	10	10	10	10
⑪助産師	11	11	11	11
⑫栄養士	12	12	12	12
⑬社会保険労務士	13	13	13	13
⑭第2種運転免許	14	14	14	14
⑮大型免許	15	15	15	15
⑯調理師	16	16	16	16
⑰美容師・理容師	17	17	17	17
⑱歯科衛生士	18	18	18	18
⑳介護職員初任者研修	19	19	19	19
㉑ケアマネージャー	20	20	20	20
㉒医療事務	21	21	21	21
㉓パソコン・情報処理	22	22	22	22
㉔簿記・速記など	23	23	23	23
㉕外国語(語)	24	24	24	24
㉖その他()	25	25	25	25

22 (無職の方にうかがいます)

あなたが今、仕事をしていないのはどんな理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 求職活動をしているが、仕事が決まらないため 9. 自分ができる仕事が見つからないため
 2. 働かなくても経済的に困らないため 10. 家から近いところに働ける場所がないため
 3. 自分が障害・病気のため 11. 資格や技術がないため
 4. 子どもが障害・病気のため 12. 年齢制限のため
 5. 子どもが保育所へ入所できないため 13. ひどい親家庭になったばかりのため
 6. 子どもの世話のために家にいたい 14. 小さい子どもがお仕事活動できないため
 7. 親の介護のため 15. その他()
 8. 仕事につくための技能・技術の習得のため

23 (転職希望の方と無職の方)にうかがいます) 仕事を探そうえ、重視する条件はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 正社員としての雇用の安定	6. 職種や仕事内容
2. 収入面	7. 1日の労働時間や勤務時間帯
3. 休日や休暇	8. 厚生年金や社会保険などの社会保障面
4. 職場の人間関係	9. 在宅でできる仕事
5. 家からの通勤時間	10. その他()



<生活について>

24 あなたは、今の生活にどの程度満足していますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

①収入	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
②仕事	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
③住宅	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
④子育て	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑤支援してくれる人々	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑥地域の人間関係	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑦生きがい	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
⑧生活全体	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満

25 あなたは、今の生活の上でどのような不安や悩みを持っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 収入が少ない	10. 元配偶者との関係
2. 仕事が見つからない	11. 職場の人間関係
3. 就労が不安定	12. 子どもの進学や教育費・就職
4. 借金や負債の返済	13. 近所との人間関係
5. 労働条件が悪い	14. 自分の結婚のこと
6. 子育ての方法(子どもへの接し方やしつけ)	15. ひとり親家庭に対する偏見
7. 子どもの病気や障害	16. 将来のこと
8. 同居の家族との関係	17. その他()
9. 実家や親戚との関係	18. 特にない

25-2 「15. ひとり親家庭に対する偏見」に○をつけた場合は、下記に内容を具体的に記入してください。

[]

25-3 「16. 将来のこと」に○をつけた場合は、下記に内容を具体的に記入してください。

[]

26 あなたの世帯の生活費は、何によってまかなわれていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自分の仕事による収入	7. 慰謝料や養育費など
2. 子どもや家族の仕事による収入	8. 家賃・地代・利子・配当・財産 など
3. 遺族年金・障害年金	9. 母子父子寡婦福祉資金
4. 児童扶養手当・児童手当	10. 借金
5. 生活保護	11. 預金の取り崩し
6. 親や兄弟姉妹等からの援助	12. その他()

27 生活するために、1ヶ月に総額で最低どのくらいの金額が必要だと考えていますか。

1ヶ月最低 円

28 あなたの住宅は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自分名義の持ち家	6. 市営・県営住宅
2. 自分以外の名義の持ち家	7. 民間の賃貸住宅
3. 実家や親族の家と同居	8. 母子生活支援施設
4. 都市再生機構(UK)・公社の賃貸住宅	9. その他()
5. 社宅・官舎	

29 現在、転居希望はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 転居を予定している	3. 転居したいが転居できない
2. よいところがあれば転居したい	4. 現在のところ転居の希望はない

29-2 「3. 転居したいが転居できない」を選択された方にうかがいます。

転居できない理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 引越しの費用、敷金・礼金等の工面が難しいから
2. 現在の住居条件(広さ、駅からの距離)よりよい物件は、家賃等が高いから
3. 子どもの通学圏を変えたくない・変えられないから
4. 職場への通勤条件(通勤時間、最寄駅)を変えたくない・変えられないから
5. 市営住宅・県営住宅に応募したが落選したから
6. どこで探してもいい物件が見つからないから
7. 住まいに関する情報が少ないから
8. 連帯保証人がいない・見つけるのが大変だから
9. その他()

30 もし、あなたやお子さんが重い病気にかかったり、入院した場合、身の回りの世話について援助を頼めるのは誰ですか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

1. 親や兄弟姉妹	2. その他の親族	3. 友人・知人	4. ヘルパーを依頼
5. その他()			

31 あなたには、何か困ったことが起きた場合に相談する相手はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. いる
- 2. いないが欲しい
- 3. いないが必要ない

31-2 (「1. いる」を選択された方にうかがいます) その相談相手は誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 同居の子どもや家族
- 2. 別居の子ども・親・兄弟姉妹
- 3. その他の親族
- 4. 友人・知人
- 5. 近所の人
- 6. 他の母子・父子世帯の人
- 7. 職場の人
- 8. 民生委員・児童委員
- 9. 民間の支援団体
- 10. 区役所などの公的機関
- 11. その他()

<子どもについて>

32 お子さんに關する次のような悩みはありますか (ありましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. しつけや教育に自信が持てない
- 2. しつけや教育について相談する相手がいない
- 3. 基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない
- 4. 進学や受験のこと
- 5. 教育費のこと
- 6. 友人関係のこと
- 7. 異性関係のこと
- 8. 発達や障害のこと
- 9. 病気や健康問題のこと
- 10. いじめ
- 11. 不登校
- 12. 非行・問題行動
- 13. 就職のこと
- 14. 結婚のこと
- 15. その他()
- 16. 特にない・なかった

33 お子さんの進学について、どの段階まで希望されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 中学卒業
- 2. 高校卒業
- 3. 短期大学・専門学校卒業
- 4. 大学卒業
- 5. 大学院卒業
- 6. その他

34 (高校以上の学校に在学しているお子さんがおられる方にうかがいます) お子さんの現在の学費・教育費は何によっていますか。主なものを3つまで○をつけてください。

- 1. 自分の収入
- 2. 親族からの援助
- 3. 養育費
- 4. 奨学金・貸付制度
- 5. 子どものアルバイト収入
- 6. その他

34-2 (「4. 奨学金・貸付制度」を選択された方にうかがいます) その「奨学金・貸付制度」の種類は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 日本学生支援機構(旧 日本育英会奨学金)
- 2. 生活福祉資金
- 3. 母子父子寡婦福祉資金
- 4. 神戸市奨学金
- 5. 兵庫県高等学校教育振興会奨学金
- 6. 私立高等学校入学資金貸付
- 7. 学校独自の奨学金制度
- 8. 国の教育ローン
- 9. その他()

<施策について>

35 次の施策について、知っているかどうか、利用状況、利用した感想について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

機関・制度	機関・制度の認知		利用状況		利用した感想	
	知っている	知らない	利用している 利用したこと がある	利用して よかった	(○をつけた場合のみ)利用した感想 あまり よくない	悪かった
①区役所保健福祉部子ども家庭支援課・支所 保健福祉課(母子・父子相談窓口)	1	2	1	1	2	3
②子ども家庭支援室	1	2	1	1	2	3
③区役所くらし支援窓口	1	2	1	1	2	3
④民生委員・児童委員	1	2	1	1	2	3
⑤子ども家庭センター(児童相談所)	1	2	1	1	2	3
⑥ひとり親家庭支援センター	1	2	1	1	2	3
⑦母子福祉団体	1	2	1	1	2	3
⑧ハローワーク(公共職業安定所)	1	2	1	1	2	3
⑨児童扶養手当	1	2	1	1	2	3
⑩ひとり親家庭等医療費助成	1	2	1	1	2	3
⑪福祉乗車制度	1	2	1	1	2	3
⑫母子父子福祉資金貸付	1	2	1	1	2	3
⑬ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑭ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑮就業に有利な資格取得支援事業	1	2	1	1	2	3
⑯ひとり親家庭等学校卒業後支援給付金事業	1	2	1	1	2	3
⑰ひとり親家庭のための無料法律相談	1	2	1	1	2	3
⑱ひとり親家庭生活支援施設	1	2	1	1	2	3
⑲母子・父子世帯向け市営住宅募集	1	2	1	1	2	3
⑳ひとり親世帯家賃補助制度	1	2	1	1	2	3
㉑保育所・一時保育	1	2	1	1	2	3
㉒ひとり親家庭等日常生活支援事業	1	2	1	1	2	3
㉓子育てプレッジャスティ事業	1	2	1	1	2	3
㉔放課後児童クラブ(学童保育)	1	2	1	1	2	3
㉕子どもの居場所づくり事業	1	2	1	1	2	3
㉖ファミリーサポートセンター	1	2	1	1	2	3
㉗その他()	1	2	1	1	2	3

各施策の内容は、神戸市ホームページ、子育て応援ウェブサイト「ママフレ」をご参照ください。


 ①QRコード (神戸市ホームページ)
 ひとり親家庭支援のページ


 ②QRコード (子育て応援ウェブサイト「ママフレ」)

基通世帯用

36 ひとり親家庭や子どものための施策等の情報を得るために、以下のものをどの程度利用していますか。
それぞれあてはまるものに○をつけてください。

方法	よく利用する	たまに利用する	あまり利用しない	全く利用しない
①行政機関の広報誌・チラシ	1	2	3	4
②行政機関のホームページ	1	2	3	4
③SNS(LINE やツイッターなど)	1	2	3	4
④インターネット検索	1	2	3	4
⑤学校などからのお便り	1	2	3	4
⑥学校や友人からの情報	1	2	3	4

37 ひとり親家庭等の自立や生活安定をはかるため、あなたが国や県・市の行政に充実に充実にしてほしいことは何でしょうか。あてはまるものを5つまで選んで○をつけてください。

1. 生活上の不安や悩み相談窓口の充実	14. 児童扶養手当の増額(2人目、3人目の増額)
2. 子育ての相談窓口の充実	15. 年金・手当などの充実
3. ひとり親同士で交流や情報交換ができる機会の提供	16. レクリエーション等の行事の充実
4. 延長保育・休日保育・緊急保育	17. 母子・父子世帯向けの公営住宅を増やす
5. 病児保育の充実	18. 検診診室や医療保障の充実
6. 保育所や学童保育の充実	19. 家事援助ヘルパーの充実
7. 仕事についての相談窓口の充実	20. 各種施策のPRの方法
8. 技能習得講座や職業訓練の実施	21. 養育費確保に向けた支援
9. 技能習得・職業訓練の受講費などの補助	22. 面会交流に関する支援
10. 賃金が上がること	23. 福祉乗車制度のような移動支援
11. 職業訓練期間中の生活費の保障	24. その他()
12. 給付型の奨学金制度の充実	25. 特に要望はない
13. 子どもの学習支援の充実	

38 ひとり親家庭等の福祉行政に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**8月31日(金)まで**にご返送ください。

神戸市ひとり親家庭等実態調査
報告書

発行 神戸市こども家庭局 こども企画育成部 こども家庭支援課

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

電話 078-322-0249

FAX 078-322-6119

平成 31 年 3 月

こうべ人づくりメッセージ
3つの合言葉

笑顔 あいさつ ありがとう
助けあい ゆずりあい 高めあい
ほめよう 伸ばそう 育もう

KOBE 
UNESCO City of Design

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。